

（ 平 の ）
決 裁 ・ 供 覧

件名	「2013年度グッドデザイン賞」に対する経済産業省後援名義の使用承認及び経済産業大臣賞の交付の承認について				文書番号 20130327情第10号	
伺い文	引能の審判 審					
起案	起案日	平成25年03月27日		受付日	平成25年03月27日	
	部署	商務情報政策局 生活文化創造産業課 デザイン政策室		決裁	決裁処理期限日	
					決裁日	平成25年4月3日
					施行処理期限日	
分類名称	起案者	外山 雅暁		施行	施行日	25.12.-6
	連絡先				施行先	公益財団法人日本産業デザイン振興会 理事長 飯塚 和
	大分類	クリエイティブ産業（生活文化			施行者	経済産業大臣 名
	中分類	デザイン			取扱上の注意	部分施行
取扱区分	名称（小分類）	平成24年度 大臣賞関係（デ				
	秘密区分			格付け	機密性格付け	2
	秘密期間終了日				取扱制限	
	指定事由			保存	行政文書保存期間	10年
決裁・供覧欄					保存期間満了時期	平成35年03月31日
	商務情報政策局 局長 商務情報政策局 政策調整官 商務情報政策局 生活文化創造産業課 商務情報政策局 生活文化創造産業課 デザイン政策室					
	田中 高橋 山本 桑本					
備考欄	文書取扱規程第13条第3項 完結					

別 紙

伺 い

上記（件名）について、平成2⁵~~4~~年3月27日付け24日デ振G発第126号をもって公益財団法人日本デザイン振興会 理事長 飯塚 和憲から別添のとおり申請があり、審査の結果、「経済産業省名義等の使用等に関する規程（平成21年6月9日付け平成21・06・03総第1号）」第4条（1）のハ、ニ、ホ及びヘに該当し、（2）不承認の場合のいずれにも該当しないと認められ、第5条のいずれにも該当すると認められるので、案の1により、後援名義の使用及び経済産業大臣賞の交付を承認し、案の2により経済産業大臣賞（20点）を交付してよろしいか伺います。

なお、本件は昭和32年に設立された「グッドデザイン選定制度」を継承し、平成10年度から毎回、後援名義の使用承認及び経済産業大臣賞（当時は通商産業大臣賞）の交付を行っており、また、平成19年度より内閣総理大臣賞を交付している事を申し添えます。

25. 4. 3 施行

(案の1)

番 号
年 月 日

公益財団法人日本デザイン振興会

理事長 飯塚 和憲 宛て

経済産業大臣 名

「2013年度グッドデザイン賞」に対する経済産業省後援名義の使用及び経済産業大臣賞の交付の承認について

平成2⁵~~4~~年3月27日付け24日デ振G発第126号をもって申請がありました上記の件については、下記の事項を条件として、承認します。

記

1. 開催要領を変更したときは、遅滞なくこれを報告すること。
2. 貴殿の行為が、「2013年度グッドデザイン賞」に対する経済産業省後援名義の使用及び経済産業大臣賞の交付の趣旨に反すると認めたときは、その是正のため勧告することができること。
3. 貴殿が2. の勧告に従わないときは、「2013年度グッドデザイン賞」に対する経済産業省後援名義の使用及び経済産業大臣賞の交付の承認を取り消すことができること。
4. 開催後、遅滞なく、事業報告書及び収支決算書を提出すること。
5. 経済産業大臣賞の対象者が決定した場合には、速やかに、受賞者名、交付年月日、選考経緯その他参考となる事項を記載した書類を提出すること。

(案の2)



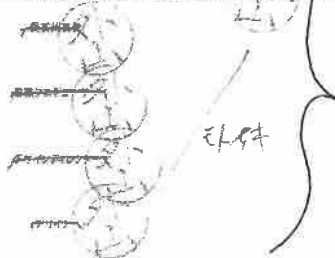
GOOD DESIGN AWARD 2013

2013年度グッドデザイン金賞

下記対象は2013年度グッドデザイン賞において
特に優れたデザインと認められるのでこれを賞します

対象名(施設名、テーマ名、対象名)/形式(所在地)

別紙参照



25.12.-6

平成 年 月 日
経済産業大臣

名 印

2013 年度グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）

受賞対象

受賞者

受賞デザイナー

1.

No.100 ブルーム [防災用折り畳み式ヘルメット]

東洋物産工業株式会社

（兵庫県）

2.

ドライカーボン松葉杖 [松葉杖]

株式会社メディカルチャープラス（東京都）

株式会社アールディエス 杉原行里

3.

サイレントプラス SB7X / SB5X / SB3X [金管楽器用消音機]

ヤマハ株式会社（静岡県）

ヤマハ株式会社 デザイン研究所 辰巳恵三

4.

P.G.C.D. ロシオン エクラ [化粧品]

株式会社ペー・ジェー・セー・デー・ジャパン（東京都）

株式会社佐藤卓デザイン事務所 佐藤 卓、日下部昌子、鈴木文女

5.

陰翳（いんえい） IN-EI ISSEY MIYAKE [照明器具]

株式会社三宅デザイン事務所（東京都）

三宅一生、リアリティ ラボ

6.

HIROSHIMA フォールディングチェア [椅子]

株式会社マルニ木工（広島県）

有限会社ナオト フカサワ デザイン 深澤 直人

7.

デジタルスチルカメラ DSC-RX1、レンズ交換式デジタルカメラ α99、レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダー EX-VG900[フルサイズイメージセンサー搭載カメラ群]
ソニー株式会社（東京都）
ソニー株式会社 UX・商品戦略・クリエイティブプラットフォーム クリエイティブセンター
ー 高木紀明、小幡伸一、中村貴俊

8.

UN55S9C [テレビ]
Samsung Electronics Co., Ltd. (Korea)
Sung-il Bang Senior Designer, Hae-sung Park Designer, VD Design Group, Samsung Electronics Co., Ltd.

9.

TOYOTA i-ROAD [超小型2人乗り電気自動車]
トヨタ自動車株式会社（愛知県）
トヨタ自動車株式会社 デザイン本部 グローバルデザイン企画部

10.

ダイハツ タント [軽自動車]
ダイハツ工業株式会社（大阪府）
ダイハツ工業株式会社技術本部、デザイン部

11.

efWING
[鉄道車両用台車] 川崎重工業株式会社（兵庫県）
車両カンパニー台車設計部台車設計課 楠武宜、中尾俊一、安藤慎太郎、奥村泰史、白崎潤、
森口栄志、鴻池梢
デザイン課 濱田秀之
知的財産部 井上忠之、
株式会社ケイテック企画営業部 天辰祐介

12.

イプシロン [ロケット]
独立行政法人宇宙航空研究開発機構（東京都）
独立行政法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系 助教 羽生宏人

13.

SKWID（スクイッド）[浮体式潮流・風力ハイブリッド発電]

三井海洋開発株式会社（東京都）

三井海洋開発株式会社 中村拓樹、湯沢典弘、井迫雄次郎、岡安優、陶山由利子、和田真理子

14.

アルマ望遠鏡モリタアレイ [電波望遠鏡]

自然科学研究機構国立天文台（東京都）

自然科学研究機構国立天文台

15.

コアハウス・牡鹿半島のための地域再生最小限住宅板倉の家・[住宅]

アーキエイド半島支援勉強会コアハウスワーキンググループ(宮城県)

アーキエイド半島支援勉強会 コアハウスワーキンググループ

16.

あさひ幼稚園 [幼稚園]

株式会社手塚建築研究所（東京都）

株式会社手塚建築研究所 手塚貴晴、手塚由比

17.

NEXTAGE（ネクステージ）[次世代産業用ロボット]

川田工業株式会社（東京都）

T・D・F 園山隆輔

18.

心臓シミュレーター・プロジェクト [医療用 3D 臓器シミュレーター]

株式会社クロスエフェクト（京都府）

株式会社クロスエフェクト

デザインチームリーダー 亀川和義

19.

ヤマハクリーンウォーターシステム [新興国向け小型浄水装置]

ヤマハ発動機株式会社（静岡県）

ヤマハ発動機 デザイン本部

20.

武雄市図書館・歴史資料館〔図書館〕

武雄市(佐賀県)、

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(東京都)

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

図書館カンパニー



**GOOD
DESIGN
AWARD**

Japan Institute of Design Promotion
5th floor, Midtown Tower, 9-7-1 Akasaka, Minato-ku, Tokyo, 107-6205 Japan
Tel +81-(0)3-6743-3777 Fax +81-(0)3-6743-3775 E-mail info-e@g-mark.org

24日デ振G発第126号

平成25年3月27日

経済産業大臣
茂木 敏充 様

公益財団法人日本デザイン振興会
理事長 飯塚 孝

**「2013年度グッドデザイン賞」事業に対する
後援名義使用承諾および経済産業大臣賞の下付申請について**

拝 啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当会諸事業に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

2013年度グッドデザイン賞事業を別添事業計画により実施することとしましたので、本事業について後援名義の使用承諾および経済産業大臣賞のご下付を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

添付資料

1. 平成25年度日本産業デザイン振興会事業計画及び収支予算書
2. 日本デザイン振興会 定款
3. 日本デザイン振興会 評議員名簿、理事・監事名簿
4. 2013年度グッドデザイン賞事業計画書
5. 2013年度グッドデザイン賞事業収支予算
6. 特別賞・グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）概要
7. 賞 状（案）
8. 2013年度グッドデザイン賞審査委員（予定）
9. 2012年度グッドデザイン賞事業報告（イヤープック抜粋）
10. 2012年度グッドデザイン賞事業収支決算

2012年度グッドデザイン賞 事業収支決算

(収入)

(単位：千円)

項目	金額	備考
審査料収入	379,661	
自己負担	0	
合 計	379,661	

(支出)

項目	金額	備考
1. 事業費	299,288	
a. 募集費	4,299	
b. 審査費	87,635	審査委員謝金 他
c. EXPO開催費	139,323	二次審査会場費、設営費、運営費 他
d. 表彰費	19,676	賞状作成費、表彰式費 他
e. 出版費	30,735	イヤープック制作費 他
h. 事業管理費	17,620	印刷費、会議費、通信費 他
2. 事業運用費	80,373	人件費
合 計	379,661	

平成25年度事業計画書

公益財団法人 日本デザイン振興会

基本方針

公益財団法人日本デザイン振興会は、デザインを通じて人々の生活を豊かにする活動を推進してきた。この実績をもとに、国内ばかりでなくアジアを中心とした諸外国へのデザインプロモーション活動に注力し、アジアにおける牽引役となることを目指す。

公益事業を安定的に進められるよう平成24年度より開始した事業の再構築を更に進め、経営基盤の強化をはかる。基本財産・特定資産の運用収益および賛助会員費等の収益は、その目的に応じて公益目的の3事業に案分し、事業を通じて社会に還元することとする。

個別事業

1. グッドデザイン賞事業

グッドデザイン賞は、3年後に創設60年目を迎える。その節目に向けて、次のフェーズに移行する準備を平成25年度から本格的に着手する。60年目に対する中期目標は、平成24年度に掲げた「アジアを代表するデザイン評価推奨制度としてステイタスを確立する」であり、その達成のために、次の3点を主軸にした改革を行う。

(1) 応募者と審査委員会との回路拡充

グッドデザイン賞は、デザインのクオリティスタンダードを社会に提示することで、生活の質を高めていく運動であるが、今後は「生活の質の向上」という観点をより強化して審査を行う。そのために、応募者と審査委員会との回路を拡充し、的確な審査情報をもって審査に臨める体制をとる。具体的には昨年度以前から実施している口頭発表審査、現地審査を拡張し、二次審査会の1日を応募者から直接ヒヤリングを行う機会とし、対話型を重視した審査を行う。

また、受賞後も審査を通じて浮き彫りとなったテーマに関する研究会なども設置し、様々な機会に応募者とともに思考する場を設ける。特に平成24年度掲げた新たな視点「インタラクションと仕組み」や、「経営とデザイン」などを主要なテーマとする。

このことで、審査精度を高め、同時に現在における「クオリティスタンダード」を応募者と審査委員会が相互に考え見極めることを、審査を通じて行い、信頼性を高め評価制度として地位を向上させる。

(2) 受賞発表プロモーションの拡張

平成24年度改善した「グッドデザイン賞」と「金賞等特別賞」の二段階分離策は、理念の区別は図れたが、プロモーションとしてはまだ緒に就いたばかりの状態である。平成25年度は「未来を示唆するデザイン」として選出した「ベスト100」の牽引力を一層高め、かつ約1000件の受賞対象のひとつひとつが持つ「クオリティスタンダード」を広範囲にわかりやすく伝えることに注力する。

そのために、平成25年度より受賞発表の場を見本市会場から都心にある東京ミッドタウンに移行し、ミッドタウンが持つ高品質性や求心性、界索性などを最大限活用し、市民に直接アピールする。また同時に、六本木を中心に受賞企業の関連施設やメディアなどとも連携し、情報発信力を高め多面的なプロモーション活動を展開する。

これにより、グッドデザイン賞の社会的有用性とブランドロイヤリティを高め、そして海外、特にアジア諸国からのプレス関係者を招致し、アジアを代表するアワードとしての認知をステイタス感とともに浸透させていく。

(3) アジア諸国との協力関係構築拡充

平成24年度は「グッドデザイン賞を、デザインを通じて生活の質を構築していくベンチマーク」として機能させるために、創設以来初めてとなる海外審査会を、韓国、台湾で実施したほか、特別賞審査会では海外審査委員と制度連携に基づく委員も招聘し、アジアワイドな視点の導入を図った。また、有力な各国メディアを受賞展に招き情報発信にも注力し、受賞発表後は台湾、タイ、香港、インドでグッドデザイン賞の展示会を各国のパートナー機関と連携して開催し賞の認知を図った。

平成25年度もこれらの活動は継続し、各国からの応募数増に努めるほか、特に各国が実施しているアワードと将来的な相互認証など具体的な連携方策のシステム化に取り組み、また優先順位をつけパートナー機関と各種の協力事業を行う。

さらに東京ミッドタウンを活用したプロモーションによる情報発信を通して、グッドデザイン賞がアジアを代表する賞として位置づけられるようにし、その結果、日本のデザインのプレゼンスを諸外国に示すことに尽力する。

2. デザインハブ事業

東京ミッドタウンにデザインハブを設立し平成25年の春で満5年となる。この間、約40件の企画展を中心に様々な展示会、フォーラム、ワークショップ、プレス発表会などの基幹事業を繰り広げ、当会単独では展開できなかったプロモーション活動を、日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）、デザイン教育機関（九州大学、武蔵野美術大学）と連携して実施してきた。5年間の経験値から集客力が高まるなど、各プログラムの水準は上がり安定化、定着化してきたが、まだ独自の共感者を獲得するまでには至っていない。

平成25年度は、展示スペースとセミナースペースの一体的な活用をさらに強化し、デザインハブならではの自主プログラムを、先見性のあるテーマ設定や運用方法で提示していく。特に「つなげる」という設立当初の役割に立ち返り、「+デザイン」といった視点をもった企画や、これまで接点が薄かった領域で活動している人たちと場の共有を図ることで、デザイン分野を拡張し、最前線にあるデザインを見出し、そして社会化していく。

そうした日本のデザインにおけるラボ的な活動を、レポート化しアーカイブ化を含め内外に発信することは、国内だけでなく海外でも注目され、支持を得ることになる。

なお、グッドデザイン賞の秋のプロモーションにおいてデザインハブは一翼を担うが、一時だけでなく、定款的にグッドデザイン賞の情報発信をしている場として認知されるような活動も検討する。

3. 国際広報事業

平成24年度は、韓国、インド（更新）、シンガポール（経済産業省マター）の3国とMemorandum of Understanding (MOU)を締結した。それ以前の、タイ、香港、台湾を含め、現在は6つの国と地域と連携協定を結び相互の交流事業を展開しているが、平成25年度は、フィリピンやオーストラリアなどと協力関係を結ぶ可能性があり、アジア諸国を中心としたネットワーク化を一層築いていく。

このネットワークを、日本企業や日本人デザイナーの海外進出の契機に、またアジアから日本市場への進出支援に活用するなど、相互に乗り入れて実のある交流事業を展開する。

デザイン・リーダーの国際的コミュニケーションプラットフォームを構築していくことを目的として平成24年度に始動した「Design Ambassador Project」は、年間6人前後のリーダーを招聘し日本発のイニシアチブとして浸透させていく。

また、平成25年秋にInternational Design Alliance Congress (IDA) 総会がイスタンブールで開催されるため、国内加入機関の連絡調整をするとともに、諸外国とのコネクションの拡大を図る。また7月開催のInternational Federation of Interior Architects/Designers (IFI) 日本総会を共催する。

4. 地域振興事業

東日本大震災直後に発足した「復興支援デザインセンター」は、3年目を迎え、グッドデザイン賞という枠組みを使った被災地域の支援活動を中心とし、デザインハブの一部を広報拠点に提供する支援などを引き続き実施する。

また、復興支援をすることで明らかになったことの一つに、中小企業の支援策は日本の各地で急務となっていることがあげられる。どこの産地も厳しい状況であるが、オリジナリティ育成のためのデザイン導入や輸出促進のためのディレクション、販路を見定めたコーディネート、価格競争に陥らないための全体価値創造など、従来にない取組みを始め一定の成果を出している地域もある。そうした地域はまずデザインが何らかの方法で参画しており、そうした事例の収集と各地のキーマンとのネットワーク化などを行い、より広範囲に広げる事業を平成25年度からが実施する。

また、2年目となる東京都から委託を受け実施している「東京ビジネスデザインアワード」については、内容の充実と効率化を追求するが、あわせて板橋区や関東経済産業局の委託事業で会得した中小企業とデザイナーを結びつけるマッチングのノウハウを、広く各地域にも応用し、ビジネスと地域振興に寄与する事業に拡大する。

公益事業であるグッドデザイン賞、人材育成及び展示に係る諸事業は、事業効果を図る観点から、以上の各事業の中において、それぞれの事業と整合性をもって取り組むこととする。また、国際広報事業に係る諸事業は、グッドデザイン賞事業、デザインハブ事業、地域振興事業に含まれる事業であり、それぞれの事業と整合性をもって取り組むとともに、また、事業効果を高める観

点から総合的に取組むこととする。

平成25年度収支予算書

公益財団法人 日本デザイン振興会

収支予算書（損益ベース）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	18,000,000	3,000,000	15,000,000	為替 USD=93、AUD=96
② 特定資産運用益	30,000,000	18,000,000	12,000,000	
人材開発基金運用益	25,000,000	10,000,000	15,000,000	
国際事業基金運用益	5,000,000	8,000,000	△ 3,000,000	
③ 賛助会費等収益	13,500,000	15,000,000	△ 1,500,000	
④ 事業収益	718,750,000	694,850,000	23,900,000	
Gマーク事業収益	408,750,000	402,150,000	6,600,000	
使用促進事業収益	270,000,000	264,000,000	6,000,000	
展示事業収益	10,000,000	5,000,000	5,000,000	
受託事業等収益	30,000,000	23,700,000	6,300,000	
経常収益計	780,250,000	730,850,000	49,400,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
事業部門負担人件費	155,925,000	157,338,792	8,586,208	
Gマーク事業費	331,100,000	308,950,000	22,150,000	
使用促進事業費	25,000,000	27,700,000	△ 2,700,000	
展示事業費	69,150,000	53,000,000	16,150,000	
人材育成事業費	5,000,000	7,000,000	△ 2,000,000	
新事業開拓事業費	-	30,000,000	△ 30,000,000	
受託事業等事業費	10,000,000	13,000,000	△ 3,000,000	
管理費配賦事業費	90,481,700	97,541,419	△ 7,059,719	
退職給付費用	13,500,000	13,787,880	△ 287,880	
福利厚生費	2,720,000	1,642,857	1,077,143	
什器備品費	-	142,857	△ 142,857	
消耗品費	340,000	642,857	△ 302,857	
光熱水料費	2,040,000	2,000,000	40,000	
地代家賃	33,380,000	32,783,168	596,832	
賃借料	6,790,000	14,000,000	△ 7,210,000	
修繕費	2,050,000	3,500,000	△ 1,450,000	
租税公課	12,800,000	12,743,244	56,756	
減価償却費	4,241,300	4,298,556	△ 57,256	
利息費用	426,400	-	426,400	
支払利息	194,000	-	194,000	
賞与引当金繰入額	11,000,000	10,000,000	1,000,000	
貸倒引当金繰入額	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
事業費計	696,656,700	694,530,211	2,126,489	
② 管理費				
役員員給料手当	10,075,000	13,049,111	△ 2,974,111	
退職給付費用	1,500,000	1,212,121	287,879	
福利厚生費	1,280,000	657,143	622,857	
会議費	800,000	500,000	300,000	
旅費交通費	6,500,000	3,300,000	3,200,000	
業務委託費	850,000	900,000	△ 50,000	
通信運搬費	2,100,000	1,600,000	500,000	
什器備品費	-	57,143	△ 57,143	
消耗品費	160,000	257,143	△ 97,143	
印刷製本費	1,500,000	1,500,000	-	
光熱水料費	950,000	800,000	160,000	
地代家賃	6,120,000	5,916,832	203,168	
賃借料	210,000	4,000,000	△ 3,790,000	
修繕費	450,000	-	450,000	
租税公課	-	756,757	△ 756,757	
雑費	12,500,000	10,612,097	1,887,903	
減価償却費	758,700	1,201,442	△ 442,742	
利息費用	93,600	-	93,600	
支払利息	6,000	-	6,000	
管理費計	45,863,300	46,319,789	△ 456,489	
経常費用計	742,520,000	740,850,000	1,670,000	
当期経常増減額	37,730,000	△ 10,000,000	47,730,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取補償金	10,000,000	-	10,000,000	
経常外収益計	10,000,000	-	10,000,000	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	-	-	-	
当期経常外増減額	10,000,000	-	10,000,000	
税引前当期一般正味財産増減額	47,730,000	△ 10,000,000	57,730,000	
法人税等	35,000,000	11,000,000	24,000,000	
当期一般正味財産増減額	12,730,000	△ 21,000,000	33,730,000	

定 款

公益財団法人 日本デザイン振興会

公益財団法人日本デザイン振興会 定款

制定：平成23年6月1日

最終改正：平成24年3月28日

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人日本デザイン振興会（英文名 Japan Institute of Design Promotion。略称「JDP」）と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都港区に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、デザインの向上を図ることによって、産業活動のさらなる推進と生活の文化的向上及び社会全般の健全な発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) デザインを通じて青少年の育成を図る事業
- (2) デザインを通じて高齢化社会の福祉を推進する事業
- (3) デザインを通じて生活の安全を推進する事業
- (4) デザインを通じて一般消費者の利益を推進する事業
- (5) デザインを通じて産業の健全な発展を図る事業
- (6) デザインを通じて地域経済社会の健全な発展を導く事業
- (7) デザインを通じて国際相互理解の促進を図る事業
- (8) デザインを通じて地球環境の保全保護を図る事業
- (9) その他前各号に定める事業に関連する事業

2 前項の事業を円滑に行うため、デザインの評価推奨、調査研究、人材育成及び普及啓発に関する事業を行う。

3 前2項の事業については、本邦及び海外にて行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、評議員会において別に定めるところによりこの法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類は、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経た上で、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の供覧に供するものとする。

3 第1項の書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに行政庁に提出しなければならない。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 正味財産増減計算書

(5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第4章 評議員

(評議員の定数)

第10条 この法人に、評議員5名以上8名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第179条から第195条の規定に従い、評議員会において行う。

2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。

(1) 各評議員について、次のイからへに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。

イ 当該評議員及びその配偶者又は3親等内の親族

ロ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者

ハ 当該評議員の使用人

ニ ロ又はハに掲げる者以外の者であつて、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持しているもの

ホ ハ又はニに掲げる者の配偶者

ヘ ロからニまでに掲げる者の3親等内の親族であつて、これらの者と生計を一にするもの

(2) 他の同一の団体（公益法人を除く。）の次のイからニに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。

イ 理事

ロ 使用人

ハ 当該他の同一の団体の理事以外の役員（法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものにあつては、その代表者又は管理人）又は業務を執行する社員である者

ニ 次に掲げる団体においてその職員である者（国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く。）

① 国の機関

② 地方公共団体

③ 独立行政法人通則法第2条第1項に規定する独立行政法人

④ 国立大学法人法第2条第1項に規定する国立大学法人又は同条第3項に規定する大学共同利用機関法人

⑤ 地方独立行政法人法第2条第1項に規定する地方独立行政法人

⑥ 特殊法人（特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人であつて、総務省設置法第4条第15号の規定の適用を受けるものをいう。）又は認可法人（特別の法律により設立され、かつ、その設立に関し行政官庁の認可を要する法人をいう。）

（任期）

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

（評議員の報酬等）

第13条 評議員に対して、1事業年度の総額が50万円を超えない範囲で、報酬を支給することができる。

2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前2項に関し必要な事項は、評議員会の議決により別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の支給基準
- (3) 評議員に対する報酬等の支給基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年事業年度終了後3ヶ月以内に1回開催するほか、3月及び必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき、理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

3 前項による請求があったときは、理事長は遅滞なく評議員会を招集しなければならない。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、その評議員会において出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行われなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した評議員及び理事は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員設置)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 6名以上12名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち、1名を理事長、1名を専務理事、2名以内を常務理事とする。

3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、専務理事及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(選任等)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 監事は、この法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

4 各理事について、当該理事及びその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係があるものの理事の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。

5 他の同一の団体（公益法人を除く。）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして法令で定める者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款の定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款の定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、専務理事及び常務理事は、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務・権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

3 任期の満了前に退任した理事又は監事の補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することが

できる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第27条 理事及び監事に対して、報酬を支給することができる。

2 理事及び監事には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前2項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める。

(取引の制限)

第28条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにするこの法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにするこの法人との取引

(3) この法人がその理事の債務を保証すること、その他理事以外の者との間におけるこの法人とその理事との利益が相反する取引

2 前項の取引をした理事は、その取引の重要な事実を遅滞なく、理事会に報告しなければならない。

3 前2項の取扱いについては、別に定める理事会運営規程によるものとする。

(責任の免除)

第29条 この法人は、役員的一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用される第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

(会長)

第30条 この法人に、任意の機関として、会長1名をおくことができる。

2 会長は、この法人の象徴としての任務を行う。

3 会長の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 会長の報酬は、無報酬とする。

5 会長には、その職務を行うために要する費用の支払をすることができる。

第7章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第32条 理事会は、次の職務を行う。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第33条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、専務理事が理事会を招集する。さらに、専務

理事が欠けたとき又は専務理事に事故あるときは、常務理事が理事会を招集する。

(議長)

第34条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、出席した理事の中から選出する。

(決議)

第35条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第36条 理事会の議事については、法令に定めるところにより議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 賛助会員

(賛助会員)

第37条 この法人の目的に賛同し、その事業に協力しようとする個人又は団体を賛助会員とすることができる。

2 賛助会員に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める賛助会員に関する規程による。

第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第38条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第39条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定取消し等に伴う贈与)

第40条 この法人が、公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第41条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第10章 公告の方法

(公告)

第42条 この法人の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由により前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

第11章 事務局

(事務局)

第43条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

3 事務局長は、理事会の決議によって理事長が任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議により、別に定める。

附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の代表理事は、飯塚 和憲とする。

4 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

石島辰太郎、井出亜夫、稲葉賀恵、内藤廣、松尾慶一、宮崎修二

別表 基本財産（公益目的事業を行うために不可欠な特定な財産以外のもの）（第5条関係）

国債、投資有価証券及び定期預金 440,000,000円（※）

※取得金額

公益財団法人日本デザイン振興会評議員名簿

〔評議員〕 6 名

平成23年6月1日現在

役職名	氏 名	所属団体・会社・役職名	備 考
評議員 (非常勤)	石 島 辰太郎	産業技術大学院大学 学長	
〃	井 出 亜 夫	日本大学大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授	
〃	稲 葉 賀 恵	服飾デザイナー	
〃	内 藤 廣	建築家 内藤廣建築設計事務所 代表取締役	
〃	松 尾 慶 一	白山陶器㈱ 代表取締役社長	
〃	宮 崎 修 二	東邦ガス（株）執行役員	

公益財団法人日本デザイン振興会理事・監事名簿

平成24年7月1日現在

【理事】

役職名	氏 名	所属団体・会社・役職名	備考
理 事 長 (常勤)	飯 塚 和 憲	公益財団法人 日本デザイン振興会	元国土庁計画・調整局総務課長 (平7.6) 元通商産業省大臣官 房付 (平10.6)
常務理事 (常勤)	青 木 史 郎	公益財団法人 日本デザイン振興会	
常務理事 (常勤)	方波見 重 美	公益財団法人 日本デザイン振興会	元経済産業省産業技術環境局 基準認証政策課 基準認証広報室 (平17.6)
理 事 (非常勤)	植 松 豊 行	東北芸術工科大学 教授	
〃	キュー・リーメイ ・ジュリヤ	武蔵野美術大学 教授	
〃	九 戸 眞 樹	公益社団法人 青森県観光連盟 専務理事	
〃	田 中 一 雄	(株) GKデザイン機構 相談役	
〃	西 山 浩 平	エレファントデザイン(株) 代表取締役会長	
〃	福光 松太郎	(株) 福光屋 代表取締役社長	
〃	益 田 文 和	東京造形大学 教授	
〃	御 園 秀 一	(株) テクノアートリサーチ 顧問	
〃	森 山 明 子	武蔵野美術大学 教授	

【監事】

役職名	氏 名	所属団体・会社・役職名	備考
監 事 (非常勤)	平 野 弘 道	平野弘道税理士事務所 所長	
〃	渡 部 行 光	渡部会計事務所 所長	

2013年度グッドデザイン賞 事業計画

■ 主 旨：

デザインは、より魅力的な「もの」や「こと」を創造し、私たちを取りまく環境へと働きかけることによって、私たち自身の成長を育み、より健全な社会へと導いていきます。

「グッドデザイン賞」は、1957年に旧通商産業省によって創設された「グッドデザイン商品選定制度」を継承する、世界でも類をみない歴史と規模を有する総合的なデザイン評価・推奨制度です。

2013年度の「グッドデザイン賞」は、この50余年にわたる成果を踏まえ、人間への愛を基調に、生活価値と社会・文化的な価値の創造という見地から公正な審査を行うことによって、豊かさと持続可能な生活、産業、社会の実現を目指します。

■ 名 称：2013年度グッドデザイン賞

■ 主 催：公益財団法人日本デザイン振興会

■ 事業期間：2013年4月3日から2014年3月31日まで

■ 後 援（予定）：

経済産業省／中小企業庁／東京都／日本商工会議所／日本貿易振興機構(JETRO)／日本放送協会／日本経済新聞社／読売新聞社／朝日新聞社

■ 応募対象：

2014年3月31日までに、ユーザーが購入または利用できるものごとで、2013年10月1日のグッドデザイン賞受賞発表日に公表でき、10月31日から開催される「グッドデザイン賞受賞展」において公開展示できるものとします。

なお、受賞発表日に公表できない場合は、「受賞展」開催日まで公表を延期することができます。

■ 審査方法：

応募された対象ごとに、総合的な見地から「グッドデザイン賞」を確定します。審査は一次審査（書類審査）、二次審査（現品審査）、特別賞審査の3つの段階で実施します。

■ 審査委員：別紙を添付いたします。

■ 日 程（予定）：

応募受付期間	4月17日～6月12日
一次審査期間	6月20日～7月11日
一次審査結果通知	7月12日
二次審査期間	7月12日～9月9日
二次審査結果通知（受賞内定通知）	9月10日

受賞発表	10月1日
特別賞審査会	10月30日
グッドデザイン賞表彰式	11月1日
特別賞発表	11月1日
受賞発表展	10月31日～11月4日
グッドデザイン特別賞表彰式	12月6日
受賞年鑑発刊	2014年3月

■ 賞：

グッドデザイン賞は、「グッドデザイン賞」、および受賞対象の中から選出される「グッドデザイン特別賞」で構成されます。

主催者は、すべてのグッドデザイン賞審査対象の中で、デザインが優れていると認められるものに「グッドデザイン賞」を贈呈します。

「グッドデザイン特別賞」は、「グッドデザイン大賞」「グッドデザイン金賞」、「グッドデザイン未来づくりデザイン賞」、「グッドデザインものづくりデザイン賞」、「グッドデザイン・地域づくりデザイン賞」により構成されます。下記以外の特別賞を新設する場合もあります。

<グッドデザイン特別賞>

グッドデザイン大賞（表彰主体：内閣総理大臣）

審査対象：2013年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象

表彰対象：グッドデザイン賞受賞対象の中で、最も優れたデザインと認めるもの

グッドデザイン金賞（表彰主体：経済産業大臣）

審査対象：2013年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象

表彰対象：グッドデザイン賞受賞対象の中で、特に優れたデザインと認めるもの

グッドデザイン・未来づくりデザイン賞（表彰主体：経済産業省商務情報政策局長）

審査対象：2013年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象

表彰対象：情報産業・サービス産業・システム型産業など、生活者と経済の双方の視点で21世紀の豊かな社会を構築する「新産業」を生み出すデザインを選び、奨励する。

グッドデザイン・ものづくりデザイン賞（表彰主体：中小企業庁長官）

審査対象：2013年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象

表彰対象：中小企業のグッドデザイン賞受賞対象の中で、特に優れていると認めるもの

グッドデザイン・地域づくりデザイン賞（表彰主体：日本商工会議所会頭）

審査対象：2013年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象

表彰対象：豊かでゆとりのある国民生活の実現、地域経済の活性化、社会一般の福祉の増進等、わが国経済・社会の発展に寄与すると認めるもの

2013年度グッドデザイン賞 事業収支予算

(収入)

(単位：千円)

項目	金額	備考
審査料収入	408,750	
自己負担	0	
合 計	408,750	

(支出)

項目	金額	備考
1. 事業費	331,100	
a. 募集費	4,000	
b. 審査費	96,000	審査委員謝金 他
c. 受賞展開催費	157,500	受賞展会場費、設営費、運営費 他
d. 表彰費	23,900	賞状作成費、表彰式費 他
e. 出版費	31,000	イヤーズブック制作費 他
h. 事業管理費	18,700	印刷費、会議費、通信費 他
2. 事業運用費	77,650	人件費 他
合 計	408,750	

特別賞・グッドデザイン金賞 概要

2013年度グッドデザイン特別賞のうち、「グッドデザイン金賞」は以下概要にて選定し、表彰することとする。

1) 目的

「優れたデザイン」を社会に普及させていくことで、私たちの生活をより豊かにすることと、産業の発展とを同時に後押しし、生活の質的向上と産業活動のさらなる高度化に寄与する。

2) 名称・表彰主体

名称：グッドデザイン金賞

表彰主体：経済産業大臣

3) 対象

2013 年度グッドデザイン賞を受賞した全てのデザインの中で、特に優れていると認められたデザイン

4) 審査

グッドデザイン賞審査会は、2013 年度グッドデザイン賞受賞デザインの中から「未来を示唆するデザインである」と認めた 100 件を「グッドデザイン・ベスト 100」として選出する。グッドデザイン金賞は、この「グッドデザイン・ベスト 100」の中からグッドデザイン賞審査委員およびゲスト審査委員が参加する特別賞審査会において審査、選出される。選出される最大件数は 20 件とする。

5) 表彰

主催者は、選出された対象（以下、受賞対象）に表彰状とトロフィーを贈呈する。
またこの対象を、「グッドデザイン賞年鑑」に掲載する。

6) 受賞者の義務と権利

受賞対象の主催者・提供者・実施者等を受賞者と呼ぶ。
受賞者は以下の義務と権利を有するものとする。

受賞対象について主催者が行う広報等に必要な情報の提供義務
グッドデザイン金賞受賞の証である「G マーク」を使用できる権利
G マークの使用については「G マーク使用要領」に準じる。

7) スケジュール

10 月 1 日	「2013 年度グッドデザイン賞」および「グッドデザイン・ベスト 100」発表
10 月 30 日	特別賞審査会
11 月 1 日	グッドデザイン特別賞発表
12 月初旬	グッドデザイン特別賞表彰式
2014 年 3 月	受賞年鑑発刊

2013年度グッドデザイン賞審査委員（予定）

2013年3月21日現在

審査委員長

深澤 直人

プロダクトデザイナー NAOTO FUKASAWA DESIGN 代表

審査副委員長

佐藤 卓

グラフィックデザイナー 株式会社 佐藤卓デザイン事務所 代表取締役

審査委員（敬称略・50音順）

朝倉 重徳	プロダクトデザイナー	羽藤 英二	交通工学研究者
安積 朋子	プロダクトデザイナー	原 研哉	グラフィックデザイナー
五十嵐 久枝	インテリアデザイナー	日高 一樹	デザインと知的財産権に関するコンサルティング
乾 久美子	建築家	廣田 尚子	プロダクトデザイナー
川島 蓉子	マーケティングマネジャー	廣村 正彰	アートディレクター
櫛 勝彦	プロダクトデザイナー	松井 龍哉	ロボットデザイナー
紺野 登	デザインマネジメント	松下 計	グラフィックデザイナー
左合 ひとみ	グラフィックデザイナー	宮崎 光弘	アートディレクター
佐々木 千穂	エクスペリエンス デザイン	村上 存	工学研究者
篠原 聡子	建築家	ムラタ・チアキ	プロダクトデザイナー
柴田 文江	プロダクトデザイナー	安田 幸一	建築家
須藤 玲子	テキスタイルデザイナー	山田 晃三	プロダクトデザイナー
田川 欣哉	デザイン・エンジニア	山本 秀夫	プロダクトデザイナー
田子 學	アートディレクター	吉田 順一	マーケティング・生活文化デザイン研究者
千葉 学	建築家	暦本 純一	ヒューマン・コンピュータ・インタラクション研究者
手塚 由比	建築家	渡辺 弘明	プロダクトデザイナー
中村 勇吾	インターフェースデザイナー	渡邊 誠	プロダクトデザイナー
中谷日出	映像アートディレクター		
永井 一史	アートディレクター	Apex Lin, Pang-soong	グラフィックデザイナー
南雲 勝志	デザイナー	Do-sung Chung	インダストリアルデザイナー
難波 和彦	建築家	Jung sik Yun	プロダクトデザイナー
橋田 規子	建築家	Wenlong Chen	プロダクトデザイナー

2012年度グッドデザイン賞 事業経緯

Outline and Schedule

審査に関わるおもな施策・措置

2012年度のグッドデザイン賞審査においては、社会情勢やグッドデザイン賞を取り巻く状況などをふまえて、よりの確かつ波及効果の高い審査を実施するべく、下記の新しい施策を取り入れました。

グッドデザイン・ベスト100の創設

本年度から制定されたグッドデザイン・ベスト100は、2012年度のグッドデザイン賞受賞対象の中で、審査ユニットにおける討論を経て審査委員長が決定した、とくに高い評価を得た100件です。さまざまな分野の受賞対象の中でも、“明日を切り拓く力をもったデザイン、未来を示唆するデザイン”として位置づけられています。ロングライフデザイン賞を除くグッドデザイン特別賞各賞は、このグッドデザイン・ベスト100の中から決定されました。

特別審査ユニットの設置

審査に際し、具体的ななかたちをとまなうもののデザインの視点だけでなく、ものや人や周辺環境との関係である「インタラクション」の視点や、「仕組み」の視点から複眼的に評価を行うため、領域別の審査ユニットに加え「インタラクション」と「仕組み」について領域横断的に審査を行う特別審査ユニットを設けて審査を実施しました。

ヒアリングを伴う審査体制の強化

とくに専門性が高いとされる分野の審査対象について、応募者からのヒアリングを伴ったプレゼンテーション審査体制を強化したことにより、審査における理解度を深めるとともに、グッドデザイン賞の審査手法の構築をめざしました。本年度はおもに、産業機器分野や医療関連機器分野などを中心にプレゼンテーション審査を実施しました。

海外審査の実施

グッドデザイン賞の一般審査として初めて、海外での現地審査を行いました。本年度は、近年グッドデザイン賞への応募が急増しているアジア圏のうち、台湾と韓国で現地審査を実施しました。本施策により、グッドデザイン賞の評価の視点を積極的に広げていくとともに、各地でのグッドデザイン賞に対する理解を高めました。

賞の種類

グッドデザイン賞

すべての審査対象の中で、優れていると認められるもの。

グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）

グッドデザイン賞受賞対象の中で、審査委員会、グッドデザイン賞受賞者、グッドデザイン賞受賞展来場者の総意によって選出する、その年を象徴するデザインと呼べるもの。

グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）

社会の課題に対する取り組みとしての内容、将来に向けた提案性や完成度の高さなど、総合的な観点から、審査委員会が今年度もっとも優れたデザインと認めるもの。

グッドデザイン・サステナブルデザイン賞（経済産業大臣賞）

地球環境や社会・地域環境の持続可能な発展に資するデザインと認められるもの。

グッドデザイン・ものづくりデザイン賞（中小企業庁長官賞）

全国の中小企業による製品開発の中から、特に優れた内容が認められるもの。

グッドデザイン・地域づくりデザイン賞（日本商工会議所会頭賞）

地域文化や風土に根差し、地域活性化に資するデザインと認められるもの。

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞（経済産業省商務情報政策局長賞）

ユーザーやデザイナーなどから推薦された対象の中で、長年にわたり製造販売され生活者に支持され続け優れたものと認められるもの。

復興デザイン賞（日本デザイン振興会会長賞）

東日本大震災被災地の復興支援に寄与すると認めるもの。

グッドデザイン大賞の位置づけ

2011年度より、グッドデザイン大賞はその年を象徴する「デザイン・オブ・ザ・イヤー」として、審査委員会、グッドデザイン賞受賞者、グッドデザイン賞受賞展来場者の投票を通じて選出し、より社会に開かれた受賞対象として位置づけられています。

2012年度グッドデザイン大賞の選出について

2012年度は、グッドデザイン・ベスト100の中から「人とのごととの新たな関わり方」や「新しい仕組みづくり」といった視点に基づき、はじめに正副審査委員長が大賞候補15点を選出しました。それら15点に対して、グッドデザイン賞審査委員、グッドデザイン賞受賞者、および受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2012」来場者による投票を実施し、得票総数が最多であった1点をグッドデザイン大賞として決定しました。

投票について

グッドデザイン賞審査委員：大賞候補の中から1委員につき持ち票1票としました。審査委員は自身がデザインまたはコンサルティングした候補には投票することができないこととしました。グッドデザイン賞受賞者：1受賞対象につき、持ち票を1票としました。受賞者用の専用ページから投票を受け付けました（該当なしも選択可）。受賞展来場者：東京ビッグサイトで開催された受賞展会場に投票所を併設。大賞候補の中から（該当なしも選択可）重複投票は無効、期間中1人1回限りとして、1点に投票を受け付けました。

なお、投票に際しては各投票対象者からのウエートを均等にするため、以下の比率を設定しています。審査委員：受賞者：受賞展来場者＝100：5：1

投票結果

1位　2248票
テレビ番組【デザインあ】
日本放送協会

2位　1373票
モバイルアプリケーション【ライン】
NHN Japan株式会社

3位　1192票
乗用車【新型軽乗用車「N」シリーズ】
本田技研工業株式会社

4位　1031票
被災地支援活動の建築プロジェクト【みんなの家】
帰心の会＋仙台市＋釜石市＋特定非営利法人＠リラスNPOサポートセンター

5位　825票
レンズ交換式デジタルカメラ【“α” NEX-7（with UI）】
ソニー株式会社

6位　783票
仮設住宅【木造仮設住宅群】
株式会社芳賀沼製作＋株式会社ダイテック＋共力株式会社＋株式会社グリーンライフ＋株式会社はりゅうウッドスタジオ＋日本大学工学部浦部智義研究室＋株式会社難波和彦・界工作舎

7位　757票
OLED 3D TV【ES9500】
Samsung electronics Co., Ltd.

8位　681票
サージカルティシューマネジメントシステム【サンダービート、ソニックビート、USG-400、ESG-400、TC-E400】
オリンパスイメージング株式会社

9位　627票
Measuring device【FuelBand】
Nike, Inc.

10位　606票
再生材利用家電商品【Panasonic 資源循環型商品群】
パナソニック株式会社

11位　477票
オペレーティングシステム【Windows 8】
日本マイクロソフト株式会社

12位　467票
健康作りのための食のソリューション【タニタ食堂】
株式会社タニタ

13位　344票
OLED TV【EM9700】
LG Electronics

14位　252票
デジタルカメラ【EOS M 商品群】
キヤノン株式会社

15位　134票
仮設住宅団地【釜石・平田地区コミュニティケア型仮設住宅団地】
岩手県＋岩手県釜石市＋東京大学高齢社会総合研究機構

156票　該当なし

2012年度グッドデザイン金賞の選出について

グッドデザイン金賞は、審査委員会により選ばれる最高賞として、グッドデザイン・ベスト100の中から決定されます。グッドデザイン金賞の決定に際しては、全ての審査委員に加えて、より客観的な判断を得るため、前年度にグッドデザイン大賞・グッドデザイン金賞を受賞したデザイナーや開発者がゲスト審査委員として招聘されるほか、制度連携に基づく海外のデザイン賞関係者も招聘したうえで、特別賞審査会を実施しました。

ゲスト審査委員の招聘

2011年度のグッドデザイン大賞とグッドデザイン金賞を受賞した国内外の企業などから、デザイナー・開発者12名をゲスト審査委員として迎えました。さらに、今年度はグッドデザイン賞と事業連携を結んでいるタイ王国商務省主催「デザインエクセレンス賞」とインドデザインカウンシル主催「インディアデザインマーク」から4名の関係者を招きゲスト審査委員に迎えました。これらのゲスト審査委員は、本年度の特別賞審査会に参加しました。

2012 年度ゲスト審査委員

今井 武（本田技研工業株式会社 グローバルテレマティクス部）
采尾 治彦（パナソニック株式会社 デザインカンパニー）
金子 みどり（GEヘルスケア・ジャパン株式会社 コミュニケーション本部）
菊池 寛（スリーエム ヘルスケア株式会社 医療用製品事業部）
衣川 佳孝（山田医療照明株式会社 開発部）
酒井 裕典（シャープ株式会社 デザインセンター）
関 将之（シスメックス株式会社 技術情報部）
高橋 正泰（株式会社日本設計 医療施設設計部）
原野 守弘（株式会社パーティー）
道脇 裕（株式会社NejiLaw 代表取締役社長）
安北 和郎（株式会社LIXIL 住設・建材カンパニー 商品本部）
Kook hyun Chung（Samsung Electronics Co., Ltd. デザインセンター）
Opas Limpi-Angkanan（タイ王国「デザインエクセレンス賞」審査委員、グラフィックデザイナー）
Pongsuk Hiranprueck（タイ王国「デザインエクセレンス賞」審査委員、映像プロデューサー）
Pradyumna Vyas（インドデザインカウンシル事務局長、National Institute of Design 教授）
Hrridaysh Deshpande（インド「インディアデザインマーク」事務長）

※氏名50音順・敬称略

復興支援を目的とした特例措置について

東日本大震災からの復興を支援するため、2011年度に引き続き東北6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）および茨城県に本社（個人事業主の場合は主な拠点）を置く事業者からの応募については、応募要領に定めるすべての費用を免除して実施しました。2012年度にこの措置の対象となった受賞件数は78件です。また、すべてのグッドデザイン賞受賞対象の中から、東日本大震災被災地の復興支援に取り組むデザインとして、とくに優れているものを「復興デザイン賞（日本デザイン振興会会長賞）」として評価しました。

タイ王国「デザインエクセレンス賞」との連携について

2008年よりタイ王国「デザインエクセレンス賞」との連携に基づき、グッドデザイン賞審査委員の現地派遣や日本での展示会の開催、同賞受賞対象のグッドデザイン賞での審査などの共同事業を進めています。2012年度は同賞を通じて応募された対象のうち43件がグッドデザイン賞を受賞しました。

インド「インディアデザインマーク」との連携について

インド国内でグッドデザイン賞をモデルとした新しいデザイン賞「インディアデザインマーク（India Design Mark / I Mark）」が創設され、2012年度に第1回の審査が行われました。審査には日本からグッドデザイン賞審査委員も参加し、2012年5月に第1回受賞結果が現地で発表されました。

おもなプロモーション施策

受賞発表

グッドデザイン賞は例年10月初旬に受賞発表を行います。発表はグッドデザイン賞のウェブサイトでおこなったほか、報道関係者向けにプレスリリースを配信し、国内外に向けて受賞結果を幅広く告知しています。

グッドデザイン・ベスト100 デザイナーズプレゼンテーション

グッドデザイン・ベスト100に選ばれた対象を手がけた、企業に所属するデザイナーやフリーランスで活躍するデザイナーなど、様々なキャリアとバックボーン、ビジョンを持つデザイナーが登場し、自らの想いと評価されたポイントなどについてプレゼンテーションするイベントです。2012年度は東京ミッドタウンのデザインイベントである「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」の一環として3日間にわたって開催されました。

グッドデザインエキシビション

グッドデザイン・ベスト100を中心とした全受賞対象の展示、グッドデザイン大賞への来場者投票、審査委員を交えてのトークイベントなど多彩なステージプログラムを実施しました。また、会期中には深澤直人審査委員長、佐藤卓審査副委員長がプレゼンターとなり、グッドデザイン特別賞の発表も行われました。

表彰式

グッドデザインエキシビションの一般公開開始に先立ち、会場に受賞者と関係者を招待して、表彰式を開催しました。当日は全受賞者に対する表彰状の授与も行われました。さらに、グッドデザイン特別賞受賞者を対象とする特別賞表彰式も別日程で開催しました。

グッドデザインファインダー

すべての受賞対象の名称、受賞者名、特徴をはじめ、審査委員による評価点など各種の情報を閲覧できるページをグッドデザイン賞のウェブサイトで公開しています。

GOOD DESIGN AWARD(年鑑)

グッドデザイン賞の年鑑「GOOD DESIGN AWARD」を刊行します。この年鑑には、その年のすべての受賞対象に関する情報が掲載されます。

Gマークを活用したプロモーション

グッドデザイン賞受賞者には、受賞のシンボルである「Gマーク」を使用する権利が生じます。Gマークはグッドデザイン賞の受賞を通じて、社会に優れたデザインをアピールするためのコミュニケーションのツールです。Gマークを用いてグッドデザイン賞受賞をアピールすることで、生活者からの支持を得ることに貢献します。

2012年度グッドデザイン賞 年間スケジュール

2012.4.2

2012年度グッドデザイン賞開催要綱などを公開

グッドデザイン賞のウェブサイトを通じて、2012年度の実施概要を公表しました。

4.27～6.1

応募受付期間

グッドデザイン賞のウェブサイトを通じて、グッドデザイン賞の応募受付、グッドデザイン・ロングライフデザイン賞の推薦受付を行いました。

6.7～25

一次審査期間

応募者から登録された情報をもとに、一次審査を実施しました。

6.20

一次審査判定会議

審査委員が集合し、一次審査の結果を確定し、二次審査に向けた方針の協議などを実施しました。

6.26

一次審査結果通知

応募者へ一次審査結果を通知しました。

7.7-9.14

二次審査期間

幕張メッセでの二次審査会のほか現地審査、プレゼンテーション審査などを実施しました。

7.24～26

二次審査会

幕張メッセを会場に、一次審査を通過した対象現品やパネル等資料を用いた審査を実施しました。
審査1・2日目で領域別審査ユニットによる審査を行い、3日目は特別審査ユニットにより「インタラクション」と「仕組み」の視点から、領域横断的に討議を行いました。
期間中に未発表対象審査およびプレゼンテーション審査を実施しました。
タイ・デザインエクセレンス賞との連携に基づく応募について、担当チームにより審査を実施しました。
領域別審査ユニット・特別審査ユニットで、「グッドデザイン・ベスト100」の候補を検討しました。



8.21～22

韓国二次審査会

韓国デザイン振興院の協力のもと、韓国から応募された対象について現地での二次審査会を実施しました。

8.23～24

台湾二次審査会

台湾デザインセンターの協力のもと、台湾から応募された対象について現地での二次審査会を実施しました。
深澤直人審査委員長の同席のもと、24日午後に記者レクチャー、一般を対象とした深澤直人審査委員長の講演会を実施しました。

9.10

グッドデザイン賞確定会

正副委員長および、領域別ユニット、韓国・台湾ユニット、特別審査ユニットのユニット長により、二次審査結果の確定を行いました。
グッドデザイン・ベスト100について、ユニットで検討した対象に討議を行った上、審査委員長によって決定しました。
ロングライフデザイン賞審査委員により、候補の現品を審査の上、ロングライフデザイン賞を決定しました。

9.14

二次審査結果通知

グッドデザイン賞、ロングライフデザイン賞の各賞について、エントリーサイトを通じて受賞内定を応募者に通知しました。

10.1

受賞発表

2012年度グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100、ロングライフデザイン賞を、グッドデザイン賞のウェブサイトで発表しました(同日の発表ができない一部対象を除きました)。さらに、プレスリリースを国内外の報道機関に配信しました。
受賞件数:1,108件(受賞企業数:702件)
審査対象数:3,112件
ロングライフデザイン賞受賞件数:33件

10.15

グッドデザイン大賞候補発表

グッドデザイン大賞候補15件を発表しました。

11.2～4

グッドデザイン・ベスト100 デザイナーズプレゼンテーション

グッドデザイン・ベスト100に選ばれた100件について、デザイナーによる公開プレゼンテーションを東京ミッドタウンアトリウムで実施しました。このプレゼンテーションはインターネットのストリーミング生放送も行われました。

11.2～11.25

グッドデザイン大賞投票

審査委員、本年度グッドデザイン賞受賞者および受賞発表展来場者によるグッドデザイン大賞への投票を実施しました。

11.22

特別賞審査会・表彰式

東京ビッグサイトで審査委員およびゲスト審査委員を招集し、特別賞審査会を実施、グッドデザイン大賞を除く特別賞を確定しました。
グッドデザイン賞表彰式を開催しました。

11.23～25

グッドデザイン賞受賞発表展「グッドデザインエキシビション2012」

東京ビッグサイトを会場に、2012年度グッドデザイン賞全受賞対象を展示しました。
会期中に企業と大学によるブース出展とステージイベントなどを行ったほか、会場でグッドデザイン大賞候補への来場者投票を行いました。
入場者数:40,804名



11.25

グッドデザイン特別賞発表

グッドデザイン金賞14件をはじめとする特別賞の発表を行いました。

11.26

グッドデザイン大賞発表

グッドデザイン大賞1件の発表を行いました。

12.18

グッドデザイン特別賞表彰式

ザ・リッツ・カールトン東京を会場に特別賞表彰式を開催しました。



2013.3

受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2012」刊行

経 済 産 業 省

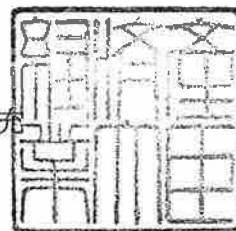
20130327情第10号

平成 25 年 4 月 3 日

公益財団法人日本デザイン振興会

理事長 飯塚 和憲 殿

経済産業大臣 茂木 敏充



「2013年度グッドデザイン賞」に対する経済産業省後援名義の使用及
び経済産業大臣賞の交付の承認について

平成25年3月27日付け24日デ振G発第126号をもって申請がありました上記
の件については、下記の事項を条件として、承認します。

記

1. 開催要領を変更したときは、遅滞なくこれを報告すること。
2. 貴殿の行為が、「2013年度グッドデザイン賞」に対する経済産業省後援名義の使用及び経済産業大臣賞の交付の趣旨に反すると認めたときは、その是正のため勧告することができること。
3. 貴殿が2. の勧告に従わないときは、「2013年度グッドデザイン賞」に対する経済産業省後援名義の使用及び経済産業大臣賞の交付の承認を取り消すことができること。
4. 開催後、遅滞なく、事業報告書及び収支決算書を提出すること。
5. 経済産業大臣賞の対象者が決定した場合には、速やかに、受賞者名、交付年月日、選考経緯その他参考となる事項を記載した書類を提出すること。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G010002

腕時計 [G-SHOCK GW-9400]

カシオ計算機株式会社（東京都）

概要：30周年を迎えたG-SHOCKブランドが新たに送り出すタフネスウォッチ。高度／気圧、温度、方位の3つのセンサーを搭載し、過酷な使用環境でユーザーをサポートしてくれるオールラウンドG-SHOCKである。すべてのボタンに新構造「シリンドーガード構造」を採用。ボタンシャフトをシリンドー形状で守ることで衝撃を軽減しつつ、ボタンストロークを制御することで抜群の操作性を実現させた。ワイドフェイスと高輝度LEDにより昼夜を通し高い視認性を確保。柔らかなウレタンを使用したカーボンインサートバンドにより、強さと高い装着性を両立した。過酷な環境での使用に耐えるG-SHOCKである。

評価：30周年を迎える確立されたG-SHOCKのブランドコンセプトをもとに、最先端のセンサー技術を用い、素材や機能のディテールにこだわることで、他にはない独自性を強固な物にしている。その明快なデザインのディレクションと結果として生まれた完成度を高く評価したい。



13G010015

老眼鏡 [ペーパーグラス]

株式会社西村金属（福井県）

概要：機能的で美しい老眼鏡。そんなコンセプトから開発されたペーパーグラス。収納時には薄さ2mm。開くとダイナミックな曲線が現れ、やさしく顔にフィットします。テンプルの回転軸を傾けるというシンプルな解決策で、老眼鏡として、独自の機能性、堅牢性、使い勝手、そして美しさを実現しました。すっと収まり、すっと取り出せ、しかも美しい。この一連の動きさえもデザインしたペーパーグラスは、あなたの周りに驚きを与え、心地よい喜びを広げていきます。

評価：明快なコンセプト、大胆な発想を現実化してしまうものづくりへの執着と愛情、技術力の高さはまさに日本的なデザインだとして魅了された。メガネとして使用するフォルムも独特で、オリジナリティあるコンセプトは、新しい形を生むという好例である。エポック・メイキングな優れたデザインが、新たな掛け心地や持ち運び方を生み、愛着といった心の豊かさをもたらした。



13G010045

防災用折り畳み式ヘルメット [No100 ブルーム]

東洋物産工業株式会社（兵庫県）

概要：災害発生時の避難時に使用する防災用折りたたみヘルメットです。通常は折りたたんでコンパクトなスペースで収納出来、使用時にはヒモを引くだけでヘルメットの形状に組み立てることが出来ます。災害発生に備えた緊急避難用品の一つとしてヘルメットは欠かせないアイテムになります。しかし、通常のヘルメットサイズでは家庭、オフィス、各企業、学校等で保管する際に大きなスペースを必要とします。この折りたたみヘルメットはコンパクトなサイズに折りたためるのでコンパクトなスペースで収納が可能です。そして、使用時には通常のヘルメットと同じ様な球体形状に組み立てる事が出来るので、装着感も抜群です。

評価：防災用ヘルメットの収納スペースという課題に対し、現時においてベストな設計がされている。折りたたみ式ヘルメットのアイディア自体は先行する製品があるが、それを踏まえてもこの完成度は十分に評価に値する。組み立てはヒモを引っ張るだけというシンプルさで使いやすく、通常のヘルメットに近い形状で装着感も良く、安全性も高い。



13G010058

子供用パンツ紙おむつ [ムーニーマンエアフィット]

ユニ・チャーム株式会社（香川県）

概要：「ムーニーマンエアフィット」は、ママが紙おむつに対して重視する「モレない」「カブレない」ニーズに応えるために、赤ちゃんの肌を「しめつけない」のに、モレの原因となる「スキマをつくらない」といった相反する機能を実現した子ども用パンツ紙おむつ。

評価：業界をリードする企業の商品開発チームが、総力を結集し、大きく改良を加えたパンツ式の紙おむつ。赤ちゃんの肌に対する満足度を追求するだけでなく、フィットする面積を倍増させることで、モレなどの問題を解消した。一見すると旧商品と大きな違いは見えないが、革新的構造を持つ非常に知的なデザインの一例である。

13G010059

ベビー用紙おむつ [ムーニーエアフィット]

ユニ・チャーム株式会社（香川県）

概要：乳児のあるべき姿勢はC字で、お腹の中にいた状況に近づけることで赤ちゃんは安心してよく眠ります。従来の紙オムツはまっすぐ仰向けに寝た状態を基準に形状設計されていました。ムーニーエアフィットは乳児のC字骨格にあわせて立体的な構造をとり、締め付けずモレにくい紙オムツを実現しました。素材については赤ちゃんの身体に最も近い「肌着」として、全ての素材を生地のような質感になるよう、1つ1つにこだわりました。また、新生児の赤ちゃんがいる『柔らかな生活空間』になじむカラーと育児で疲れたママの気分を上げるデザインを追求しました。

評価：業界をリードする企業の商品開発チームが、長年の研究結果を元に開発した改良型の紙おむつ。乳児特有のC字骨格から形状設計し直し、世界ではじめて立体構造を実現、モレや締め付けに対する機能性を格段に向上させた。赤ちゃんのことをきちんと見つめ直すことで生まれたデザインは、着けたときの心地よさにもつながっており、進化を目指し続ける姿勢を高く評価したい。

Legend:

- 100%
- 75%
- 50%
- 25%
- 0%

評価：ドライカーボンの特徴を巧みに使用して、スタイリッシュでミニマルな佇まいを実現している。一般的な松葉杖は、使用期間が短期であることが多く、病院等で貸し出す状況が多いため、アジャスト機構が不可欠で形状を複雑に見せているが、この松葉杖は個人所有を想定し、質の高いデザイン性で所有する喜びとQOLの向上に繋がるとしている。デザイン性が乏しい医療補助用具の中で新しい視点に立った積極的なアプローチを評価した。



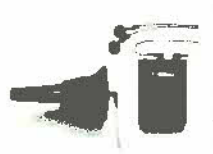
評価：専門知識を必要せずにテーピングの性能を発揮させるような形が最適化されていることが画期的。ランニング人口が増え、一般化することで起るニーズを的確に製品へ落とし込んだ着眼点が素晴らしい。身体を補強する機能をわかりやすい形状にまとめたデザイン性との両立も高く評価した。



評価：野球のヘルメットは長い間大きな変革がないアイテムのひとつだった。強度を上げることと軽量化は相反するとされていたが、それを製法から見直すことで実現化したことは、野球のプレーヤーでなくとも驚きと喜びに心が湧く。他分野のヘルメットでは以前より自転車用などで、真空成形と発泡素材との組み合わせた商品が出ているが、野球のヘルメットとしては新しい。複雑な機能形状をスピード感ある美しいフォルムにまとめている。性能が上がるだけでなく、プレーヤーの佇まいや心理作用が大きく変化したことを、高く評価した。



評価: 実際に装着すると身体にフィットして首まわりと肩に乗るため、重さを意識しにくい。長時間装着することが苦にならない立体裁断による工夫が匠に施され高い信頼感を感じる。スタイリングはスポーティかつスタイリッシュに仕上がりが、ファッション性が高い。ライフジャケットは、装着の煩わしさから使用率が低い。煩わしさから開放されスタイリッシュで信頼出来る製品によって、人命を守ることに直接繋がる。この分野においてデザインが貢献する価値は大きい。



評価：日本の特殊な住環境での需要から生まれた「サイレントプラスシステム」は、ヤマハが独自に開発した、無音・弱音システム。機能や構造に重点が置かれがちな分野でありながら、デザインにもきっちり取り組んだ姿勢に評価が集まった。花のような波形の形状にもつかみやすさへの工夫がある。また、ヘッドフォンで聞く際の音響の精度を高める独自の信号処理技術への取り組みは、今後の開発の広がりが楽しみである。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G020140

カッターナイフ [オルファカッター A プラス]

オルファ株式会社 (大阪府)

概要: 細部に至るまで使いやすさを追求したスタンダードな小型カッターナイフです。オルファの小型カッターナイフ発売以来40年以上の経験を活かし、オートロックスライダー、ホールドしやすい本体形状、左右両用、抜け止め付きクリップなど「使いやすい小型カッターナイフ」に求められるすべての要素を盛り込みました。

評価: 発売から40年以上、既に多くのユーザーを持つカッターナイフは、今やオフィスの定番となった製品である。本製品は中でも代表格であるA型の使いやすさをさらに追求し、極めてシンプルな美しいフォルムに結晶させた。ピッチが細くなったスライダーにより操作感が向上し、先端角度の薄い細工用刃も使えるようになった。黄色と黒の樹脂、ステンレスの強いコントラストはそのままに、ボディを適度な滑り止めを持つ握りやすいテーパー型に、クリップは材料特性を活かした不用意に外れない安全な設計に変更している。そして刃の向きを入れ替えればどちらの利き手でも使いやすい左右対象形のフォルム。成熟した製品でも進化の可能性があることを示してくれた製品である。



13G020141

蛍光ペン [プロマーク ビュー]

三菱鉛筆株式会社 (東京都)

概要: プロマーク ビューは2001年にグッドデザイン賞を受賞したプロバスウインドウの机上用として開発された蛍光ペンとなる。ペン芯は側面がすべて透明になった新開発の窓空きペン芯を採用、窓から文字が確認できるので、「ラインの引きすぎ」といったミスも防ぎ、きれいにマーキングすることが可能。使用シーンは社会人のデスクワークを想定し、オフィスに似合うシンプルで上質な形状となっている。また、ペンを自立させることにより、机上ですぐに手に取れる利便性とスマートな保管方法を兼ねた、「据え置きタイプの蛍光ペン」という新しい商品提案をおこなった。手になじむ扁平形状や軽くひねると開くキャップなど、ユーザビリティも考慮した。

評価: 卓上用として開発された蛍光ペン。使いやすさを徹底的に迫り、美しいフォルムに到達させた好ましい事例である。オフィスでの使用を前提に、生産性を向上させるアイデアが数多く盛り込まれている。ライン引き過ぎを防ぐ透明の軸、手に馴染む楕円の断面形状、自立するボディ、ひねるだけで外しやすいキャップ、手に持つ向きを示唆する口ゴの配置など、小さな工夫を積み重ね、絶妙に編集して仕上げられた製品である。



13G020169

イマバリレスキュータオル [イマバリレスキュータオル]

宮崎タオル株式会社 (愛媛県)

概要: ホテルで避難する実体験から火災避難用に濡れタオルがワンタッチで手に入る様デザインしました。清潔な精製水の入った濡れタオルです。筒状になっていますので、手を入れてお使い頂けます。火災時に開封して頂き、煙を吸わないように鼻と口を被い、素早い退避を補助するプロダクトです。

評価: 濡れタオルを密閉パックした非常用製品である。建物の火災に遭遇したとき、煙にまかれよう濡れタオルで鼻と口を被い避難するように言われているが、パニック状態のときに落ち着いてこれを実行できるかどうか疑問である。本製品はワンアクションで濡れタオルを取り出せるよう考案された製品であり、アルミレトルトパウチの中に、筒状に縫製され、精製水を含んだタオルが入っている。目立つ鮮やかな色に誰にでも分かりやすいグラフィックスが施されたパッケージ、8カ所に設けたパウチの切れ目、手の甲を火傷から守るだけでなく慌てても落としくなく設計された筒形状、気持ちを落ち着かせる柑橘系の香りなど、非常時における使用者への配慮が隅々にまで行き届いている。施設の常備品としても個人の携行品としても使え、今後防災用品のスタンダードとなるべき優れた製品である。



13G020190

Foldable and reusable tumbler / cup. [FoFoCup (8oz, 16oz, 20oz)]

FOLDnFOLD Engeneering (Taiwan)

概要: Ancient Chinese believed "the heaven is round, the earth is square". This makes FoFoCup can be folded, while the mouthpiece remains in round and ergonomic. FoFoCup is made by PP (Polypropylene), reusable 10,000 times, safe up to 120°C. With a cup can be folded to a slice, more people will be willing to bring reusable cups, and reduce trillions paper cups wasted every year. Lid of the cap keeps beverage from spilling. A parking device holds the lid from swing. The valve for straw makes FoFoCup good from both hot and iced beverage. The shape of drink hole is ergonomic to fit your lips.

評価: 全球毎年消耗掉上百億個紙杯。如果有一個杯子讓我們每個人都能輕便地隨身攜帶的話，不但可以少砍很多樹、也減少很多垃圾。FoFoCup是一個圓口的杯子，不用的時候只要折一下，就變成薄薄的一片了。小的，可以放在口袋裡，大的，塞進包包裡一點也不佔空間。要用的時候，拉回圓形，蓋上蓋子，就可以跟一般咖啡店裡提供的紙杯一樣使用，解決人們想要在移動過程中享用咖啡等飲品的需求。這個設計讓人們可以把美味"隨身攜帶"，FoFoCup也可以做成環保碗來使用，取代現在泡麵的紙碗或者保麗龍碗，不但更衛生安全、更環保，且可以使碗裝泡麵的運送成本降低45-65%，因而大幅降低CO2的排放。FoFoCup使用聚丙烯(PP-Polypropylene)製造，耐熱至120°C。正確地使用，可重複使用數千次。即使丟棄，也可完全回收再利用。FoFoCup用設計改變人們的生活方式。更難得的是，它有對自然對地球的關懷，從小處著手，保護生態環境。而"天圓地方"的概念亦非常符合東方生活哲學。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G020264

化粧品 [P.G.C.D. ロシオン エクラ]

株式会社ベー・ジェー・シー・デー・ジャパン（東京都）

概要：西洋的な合理性ではなく、日本の合理性を追求したデザイン。「P.G.C.D. ロシオン エクラ」は3ヶ月サイズの化粧品である。近年PET樹脂が多い化粧品。美しいボトルも使い終わるとゴミになり捨てられるという固定概念があるからだ。わたし達は、使い切るリフィルというアイデアで、サステナブルなガラスボトルをデザインした。壊れず、簡単・便利なデザインは時として人を惹き寄せ、本来日本人が大事にしている、「手間」「ひま（時間）」というプロセスの重要性を見失わせる。このデザインの目的は、スキンケアに手間ひまをかけ、美しくなる習慣を手に入れてもらうこと。そのために愛着の湧く使い続けられるボトルをデザインした。

評価：化粧品容器のリフィルという課題には、高颜值においても取り組みがなされてきている昨今であるが、衛生上、中身の詰め替えに適さない分野であるだけに、これといった解決策が見られないのが現実であった。ところが、この「P.G.C.D. ロシオン エクラ」は、ボトルをはじめとする容器をすべて残し、中身入りの薄い袋のみを交換するという画期的なシステムで解決にあたっている。ガラスボトルに中の袋をびったり収めるために底蓋を考案したところも出色で、メーカーとデザイナーの強い意志が感じられる。化粧品容器におけるサステナブルなパッケージづくりという課題に対する優れた答えがここにあり、高い評価に値する。



13G020265

水性塗料 [マスキングカラー]

太洋塗料株式会社（東京都）

概要：「マスキングカラー/Masking Color」は、塗ったあとから“はがせる”水性塗料。好きな場所に自由に使い剥がせば元に戻せるので、屋内外などへのディスプレイやイベント装飾、剥がすことを利用した作品制作など様々な用途で利用できる。溶剤を含まない水系塗料で匂いも少なく子どもでも安全に使える。他の道具を必要とせずすぐに使うことができるように握りやすいペンタイプのパッケージとしている。

評価：店舗のウィンドーなどに絵や文字を描き、後で簡単に剥がすことができる画期的な水性塗料である。もともとB to Bの工業製品だったのをB to Cにも発展させた商品で、ユーザーのアイデア次第で用途は無限に広がる。一番に想定される壁や窓などの垂直面への使用に対応するべく、液ダレしにくい塗料に調節してあるところも良い。これまでにないカテゴリーの商品だが、ほかの道具を必要としないペンタイプのボトルであり、剥がせる水性塗料であることを表すシンボルや、何色かがわかりやすいグラフィックにより、初めてのユーザーでも使いやすい。水性塗料のため人体への影響が少ないこと、剥がした塗料が有害ガスなどを排出しないため一般ゴミとして処理できる点なども含めて高い評価に値する。



13G030267

Lighting [D'light : Kinetic lighting]

ID+IM, KAIST (Korea)

概要：D'LIGHT is a kinetic lighting which has a transformable lampshade using flexible honey comb structure. By simply rotating the lampshade on its pivot with its small handle, you can easily change its shape in diverse styles. It will provide a different mood in every steps of rotation angle. Intensity and direction of light emitted from the lamp also varies as the shape of the lampshade changes. It has been designed for the "Nanum" project to fund educational scholarships to needy children.

評価：「機構ひとつでランプシェードの形状は如何様にも変化する」、ほんの些細なアイデアであるが、中々思いつかないものである。この製品は、製品としてのアイデアもさることながら、収益の一部が貧しい子供たちへの奨学金になるような仕組みも持ち合わせており、仕組みとしても高く評価できる。本製品はデスクライトであるが、ペンダントライトにした方がさらに多くの需要を得られるであろうと推測される。このように「さらにこうした方が」というアイデアが想起されるのも、この製品がもつ魅力の一つではなからうかと思う。



13G030276

空気清浄機 [エア エンジン]

バルミューダ株式会社（東京都）

概要：圧力的な吸引力で部屋中の浮遊物を除去する空気清浄機です。従来の空気清浄機は一つのファンでフィルターからの吸引と、送風を行っているのに対し、AirEngine は吸引専用、送風専用の2つのファンを搭載。これにより、部屋中の空気を循環させ速く重い粒子も引き寄せることが可能になりました。吸引された空気は、独自形状の360°酵素フィルターで除去されます。

評価：360度全方向から空気を吸って上方に強く送風することで部屋全体の空気を清浄するというシンプルで合理的な考え方の製品。それを実現するために吸引用と送風用の二つのファンを配置するという大胆な発想を採用するなど、製品開発に対するこだわりが強く感じられる。大手家電メーカーにとって空気清浄機は微に入り細に入りの技術開発を付加価値にしていく成熟商品だが、ベンチャー企業の新規参入に際し同じ土俵で勝負するのではなく、そもそも空気清浄機とは、というところから新たな視点で開発を進めていったところは高く評価できる。角にRがある四角柱の原型を崩さないためにコストを惜しまず、背面に至るまで高い品質で仕上げられている。価格競争に巻き込まれ、コスト削減を優先するために外観仕様に妥協を余儀なくされる大手メーカー製品に対して、部品点数が増えても美しさを追求する姿勢は、新しい市場を開拓するには正しい選択だろう。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G030286

電気掃除機【Panasonic MC-HS700G シリーズ】

パナソニック株式会社（大阪府）

概要：コード付／コードレス両方の使い分けが出来るサイクロン式掃除機・コードレスで使えるので、さっと手軽にお掃除でき、コンセントの抜き差しやコードが絡む・届かないといった不満も解消。・しっかり掃除の時はコード式で対応。万が一の電池切れも安心。・狭い部屋も安心な小回りの効くコンパクトボディと、持ち運びが容易な大型ハンドルを採用。・くびれ形状の独自サイクロン構造で、パワーの持続性とごみの捨てやすさが向上。・地震などの災害時に、身近にあってサッと非常用電源として使える、大容量充電電池とUSBソケットを搭載。

評価：コンパクトで軽量のコード付きのサイクロン式掃除機にしか見えないが、デタッチャブルの大容量充電電池によりパワフルなコードレスでの使用を可能としている。大口径の車輪部分にセットされた非常用電源として使える充電電池は、ドアの開閉、電池の抜き差しもストレス無く行える。掃除機としての基本性能、使い勝手を犠牲にすること無く秀逸なパッケージングを実現させた高レベルのエンジニアリング、デザインを高く評価したい。



13G030295

ドラム式洗濯乾燥機【Panasonic NA-VX9300L】

パナソニック株式会社（大阪府）

概要：・日本国内向けドラム式洗濯乾燥機・衣類の汚れ具合や種類を見分けるエコナビ機能で省エネになる最適な運転をする。微粒子イオン（ナノイオン）で頑固な皮脂汚れを分解除菌／消臭し、高濃度の洗剤による泡と温水機能で高い洗浄能力を発揮。・カラータッチ液晶GUIで直感的に操作が可能。使い方やお手入れ、エラーの対処方法など取扱説明書なしでも簡単に理解でき、時刻に合わせた起動メッセージで省エネ運転を喚起する等、画面切換えを色やアニメーションで表現し分かりやすさを向上。・スマートフォンと連携し、洗剤の銘柄に合わせた運転設定、目的に合わせたコース設定、エコ情報の確認等ができ、動画による取扱説明の閲覧が可能。

評価：ボディ、投入口、ドア、操作パネル等外観のみならず、洗濯槽内部、ドア開閉時の感触に至るまで神経が行き届いた秀逸なデザイン。ドラム式洗濯乾燥機としてモデルチェンジの度に進化するハードウェアの完成度、色やアニメーションを駆使し直感的な操作を可能とするカラータッチ液晶GUIなど、飽くなき探究を続ける開発者、デザイナーの細やかなユーザー目線の物作りに、讃辞を贈りたい。



13G030297

ドラム式洗濯乾燥機【東芝 TW-Z96X1】

東芝ホームアプライアンス株式会社（東京都）＋株式会社東芝（東京都）

概要：ドラム式洗乾ヒートポンプタイプ9.0kg/6.0kg最上位モデル。東芝独自の防汚処理洗濯槽、Ag+抗菌水、振動低減機構の搭載で、より清潔で静かな洗濯環境と、業界トップクラスの洗濯スピードと省エネを実現。ITアダプタの追加で、故障予知診断、家事ナビ、HEMSに対応する。デザインは東芝家電商品群の共通コンセプトである「簡潔な美」をテーマに、明快な面構成とカラースキーム、操作に応じた表示だけが浮き出る静電タッチパネルの採用により、設置空間・インテリアと調和し、多機能を分かりやすく使える「操作と出し入れ」の要素以外を主張しないリーンなデザインを実現。

評価：最大の特徴は他の同社製品にも見られる操作に応じた表示だけが浮き出る静電タッチパネルコンパネ。高機能化により複雑になりがちな操作パネルのノイズを打ち消し、「簡潔な美」をテーマにしたという意図を十分感じ取ることが出来る。操作感も心地良く、整然と整理されたグラフィックも美しい。ドアを本体と同色にしたバージョンには1ルームマンションなどで訪問者に洗濯物を見られないよう配慮した開発者の気配りが感じられる。

13G030306

冷凍冷蔵庫【東芝 GR-G XV シリーズ】

東芝ホームアプライアンス株式会社（東京都）＋株式会社東芝（東京都）

概要：ガラスを扉面材に用いた冷凍冷蔵庫XVシリーズ（12年度上市）を、大容量の600Lクラス・省スペースで片開きの400Lクラスに展開。キッチン空間への調和を配慮して扉面材にガラスを用いたフラットで凹凸の無い端正な佇まいの冷凍冷蔵庫は、操作部に静電タッチパネルを採用し段差を無くすることで使いやすさと清掃性も向上している。いづれも主婦の調理導線を考慮し、使いやすいまんなかに野菜室をレイアウト。取り出しやすいだけでなく、高湿度を保つことで野菜の保存性能にも優れている。また、高性能真空断熱材の採用やセンサーでの最適運転により、無理なく快適に省エネを実現できるecoモードも搭載している。

評価：同社の洗濯機など他製品にも共通するタッチパネルの操作表示部を、ガラスドアの特性を活かし美しくまとめている。操作系のインターフェイスは分かりやすく、ハンドルなどの使用感にも配慮がなされており、清掃性も高い。単に他製品とシリーズ化し外観を合わせるといったアプローチではなく、家電製品として共通する操作の形をそれぞれの製品に落とし込み、ブランドとして製品に横の繋がりを作る方法は、総合家電メーカーならではの大きく評価できる。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G040324

照明器具 [陰翳 IN-EI ISSEY MIYAKE]

株式会社三宅デザイン事務所（東京都）

概要：三宅一生が率いるReality Lab.が着想・開発し、アルテミアダ社から製品化された「陰翳IN-EI ISSEY MIYAKE」。未来を見据え、環境や資源の問題を始めとする社会の課題に向き合いながらものづくりに取り組むReality Lab.が、「再生素材をいかに魅力的なものとして生かせるか」をテーマの一つに掲げたプロジェクトです。ペットボトル再生繊維から成る不織布に独自の改良を加えてシェードに使用。折りを生かしたシェードは精緻な手仕事で形づくられています。谷崎潤一郎の『陰翳礼讃』にも記される陰翳の濃淡や明かりのニュアンスを大切に、現代の生活空間を照らす光の質を探索しました。

評価：世界の照明デザインの歴史に新たな概念を刻むような現代照明のエポックの製品となっている。日本の伝統文化を背景として生み出された伝統照明の存在を継承し、さらに高度な設計と加工技術によって生み出された製品としての完成度の高さにおいても、服飾の立体造形の設計技術と経験を駆使し、複雑な造形を精度の高い手仕事によって可能とし、彫刻のような美しい光の造形作品として完成させている。また、谷口潤一郎の陰翳礼賛と言う文学的文脈の光と影による陰翳と言う繊細な光のニュアンスを意識して製品の存在に内包するような光の質を採った照明器具として、また単体としての光の美術作品としても高い完成度を実現している。そのような様々な意味で、世界の照明の歴史に新しい照明の在り方の概念を提示した製品となっている。素材は和紙の表情のような再生ポリエステル繊維に改良を加えた生地の開発を行い、表情は柔らかいが、立体にした際の形状保持ができるように適度な固さと和紙のような透明感を備えている。また、立体造形の数理を生かした立体造形の折りたたみ手法によって、竹ヒゴなどの構造体をもつことなくシェードが自立し、フラットに折りたためることやマグネットで灯具とシェードの取り付けも簡単にできるように配慮もなされている。そのような点も含めて、照明製品としてだけでなく、服飾デザインの立体造形の美意識や光と影の陰翳が作り出す彫刻作品としての美しさ、そして谷崎文学的文脈になぞらえた詩的な光のニュアンスなど深い思考と様々な方向からのアプローチによるプロセスは、日本の目指すべき物作りを示唆するものとなっている。



13G040327

椅子 [HIROSHIMA フォールディングチェア]

株式会社マルニ木工（広島県）

概要：従来の木製家具製品に合わせて使える木製折りたたみ椅子。座り心地が良く、使わない時でも美しい。金具を最小限に抑え、木材の木目、色を揃えて選定し、全体のバランスを大切にした。

評価：必要な時にすぐ使えて、座り心地が良く、立てかけておいても美しく、場所をとらない、強度と耐久性を求められる折りたたみ椅子は従来はスチールパイプなどの金属で作られてきた。木製品によってそのような高い強度や耐久性を克服する製品化へのハードルの高さはメーカーの開発力と製造力、そしてデザイナーの高い設計力が問われる製品開発となる。椅子の使用時と折りたたみ時の背板と座板の構造上の治まりの関係性と意匠上の美しい治まりと強度を保ちながら両立させることは構造と強度確保の上で高い壁であったことが伺える。折りたたみ椅子の持つ軽快感を表現する為に計算された各部材の太さと強度の限界を探り、見い出された各部材の限界値とバランスによって強度と美しさがバランス良く担保されている。また、木製で折りたたみ椅子を作る為に必要な強度を確保する為と美しさを実現する為の金属パーツを開発することによって独自の機構と意匠性を実現している。また、椅子としての座り心地としては、3次元成形した背板と座面の適正なサイズと角度の関係性により、折りたたみ椅子とは思えないような快適な座り心地を実現している点も特筆すべき点である。また、左右の脚は木目、色を揃えて選定されており、突板をブックマッチで貼り合わせた背板、座板と組み合わせたときの全体の表情のバランスに細やかに配慮されている。また、折りたたむと厚みは13cmになりコンパクトに収納、保管できる点は、製品の使用範囲を広げ、木製折りたたみ椅子の可能性を示唆している。木製折りたたみ椅子と言う新たな概念の創出に加えて、椅子としての座り心地の高さと強度、耐久性を確保した上で実現された意匠性の高さは今後の日本の木工製品の方向性を示唆するものである。



13G040347

ヒュー [ヒュー]

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン（東京都）

概要：Philips hueは、家庭用照明に対する私たちの考え方と体験の両面で、新時代の到来を告げるものです。Philips hueは、スマートフォンやタブレットを利用して、自分好みの照明を作り出したり、コントロールしたりできます。クリエイティビティを心ゆくまで発揮し、自分や家族のライフスタイルに合わせて自宅の照明をパーソナライズすることを可能にするものです。スターターセットには、これまでの照明器具でそのまま使えるLED電球が3個と、家庭のWi-Fiルーターに接続するブリッジが入っています。あとはPhilips hueアプリをダウンロードすれば、全く新しい照明体験が実現できます。

評価：電球とコントローラーによって室内環境をコントロールする新しい考え方のシステム。施工性に優れ照明に対する新しい付加価値を提案している。タブレット端末やスマートフォンをWiFiに接続しリモコンとしてソフトとハードの両面から「あかり」に対する意識を促しているようにも思う。ライティングコントロールはスイッチパネルを新たに施工しなくてはならないが、電球の新たな考え方によって、この商品は可能にした。例えばリビングソファに座りながらタブレットに触れ、流れる時間を光で演出する、次の料理を準備しながらキッチンで照明演出を同時に行うなど、住空間を感覚的に演出することができる。また、端末のアプリケーションによって光の演出を楽しみながら学ぶことが出来たり、ビジュアルスキャンによって色味を再現し、今まで出来なかった照明情報の可視化をタブレットから再現する。身体的に感じ取っている居心地を指先から体感へと、感覚を空間に伝える装置である。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G040352

LED照明器具【Panasonic 面発光LED照明 パネルミナ】

パナソニック株式会社（大阪府）

概要：「まぶしさ」の抑制の研究から生まれた明るくやさしい面発光LED照明器具点光源であるLEDの光を、当社独自の導光技術により、均一な面発光にすることで、明るくやさしい光を実現。同一の導光板をダウンライト、ペンダント、ブラケットといった照明器具に展開し、暮らしの様々なシーンに応じて、快適なあかり環境を実現する。

評価：「薄く優しい光」が具現化されている。従来のLED照明では点光源となり、下から覗くと眩しく強い光となっていた。この製品は、導光技術による面発光のLED照明、均一なムラのない発光面を実現している。その光は明るく優しい光白熱球のような暖かい光である。同一の導光板によるダウンライトとペンダントとブラケットといった照明器具が展開され、LEDによる新しい試みとなっている。ダウンライトは天井内の器具の埋め込みがなくなり、ブラケット照明としては壁面からの突出が薄くなり、ペンダント照明としても従来にない薄い小径型が実現された。それぞれ従来の「光源+ソケット+α」という構成を「光源=器具」という新しい概念を薄型化し作り出していることで、今後の使用範囲や価値を広げ、新しい快適なあかりの環境をつくりだすことに寄与する。照明器具としてフォルムとディテールまで周到に検討され、美しい器具になっている。LEDの問題点から美しく優しい光が生み出されている。



13G050429

デジタルカメラ【GR】

株式会社リコー（東京都）

概要：一般的な一眼レフカメラと同じAPS-Cサイズセンサーを搭載しつつポケットに収まるボディサイズを実現した、プロカメラマン/ハイアマチュアなど写真撮影にこだわる人たちのためのサブコンパクトデジタルカメラ■周辺までシャープな描写と美しいボケ表現でGR史上最高の写りを実現した新設計GR LENS■堅牢で軽量のマグネシウムダイキャスト製ボディ■卓越した操作性とカスタマイズ性を誇るファンクションボタンとマイセッティングモード■撮影の幅を広げるAFファンクションレバー、絞りレビュー&エフェクトボタン■直感的に操作できるアナログインジケータと電子水準器■見やすさ、わかりやすさ、操作感を向上させた操作画面

評価：この新製品のデザインは、機能の大きなりニューアルにも関わらずボディサイズや印象をほぼ変えずにGRブランドを見事に継承する事に成功している。（APS-C型の大型撮像素子を搭載しつつ従来モデルと同等の本体サイズであることはとても素晴らしいデザインといえる） マグネシウム合金の表面仕上げと握りやすいゴム貼りグリップが特徴的である。また液晶モニターを覆うカバーがボディとがフラットな一体感で設計されている。スマートフォンの気軽な撮影に対して一眼デジタルカメラの高度な撮影。この中間に位置し日常で使えるコンパクト高画質カメラの機能を貫いているのは優れた技術であるが、デザインとしてここまでまとめた事は大きく評価された。



13G050442

デジタルカメラ【PowerShot N】

キヤノン株式会社（東京都）

概要：ユーザーに新しい写真の楽しみ方を提供するコンパクトデジタルカメラ。今までのコンパクトデジタルカメラの撮影スタイルからユーザーを開放し、自由な姿勢で思いのまま写真が撮れる新機構のズーム&シャッターリングとチルト液晶が最大の特徴である。一回のシャッターで異なる6枚のアーティスティックな写真が撮れるクリエイティブショット、2ステップでスマートフォンに簡単に写真を転送できるワンタッチスマフォボタンを搭載。

評価：大変ユニークなデジタルカメラである。スマートフォンのアプリアイコンのような形状はネットワークやSNSとの連動を意識させる。実際にUSB充電が出来る点もモバイルやPCとの相性がよい。使いやすさの特筆はシャッターボタンもズームレバーもレンズの周りのリングで操作が可能になっている点である。そしてこの形状は片手に収まり、かつモニタを開いて撮影が出来るので撮影自体に自由を与え、アングルを確認して撮影がしやすい。そしてクリエイティブショットの機能も面白い着想である。従来のカメラアプリのフィルタ機能とは違っており、カメラが5つのバリエーションを自動に生成してそこから1カット選ぶというスタイルである。そこもこのカメラ独自の面白さであろう。



13G050448

フルサイズイメージセンサー搭載カメラ群【デジタルスチルカメラ DSC-RX1、レンズ交換式デジタルカメラ α99、レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダー NEX-VG900】

ソニー株式会社（東京都）

概要：圧倒的な高画質を実現する35mmフルサイズCMOSイメージセンサーと高速画像処理エンジンの組み合わせで、被写体の持つ魅力を最大限に表現するカメラ商品群です。RX1は、ボディと大口径単焦点レンズを一体型で設計し大幅に小型化し、フルサイズ画質カメラの機動性を飛躍的に高めたコンパクトデジタルカメラです。A99は、被写体を3次元的に捉える世界初のデュアルAFセンサーを搭載し、これまで捉えにくかった瞬間をも身近にして作品の幅を広げるデジタル一眼カメラです。VG900は、レンズ交換による表現力の拡張に加え、フルサイズ画質化により動画の魅力を裏打ちする実力を持つデジタルビデオカメラです。

評価：映像の高付加価値戦略を位置づけた本製品シリーズは、フルサイズCMOSセンサーや画像処理エンジンデバイス、さらに独自のレンズ光学技術によって大変コンパクトなボディ設計を実現し、独創的な存在感を出す事に成功している。3製品とも独自の機能性を発揮させたデザインとして終始完結しているが、全体的に「黒に印象的な赤いライン」が入っている事で共通コンセプトの製品である事が伝わる。この赤いラインはUIデザインにも活かされており、デザインによる統一感が生かされている。3製品を同時に評価する事は大変難しかったが、このような「高品質撮影という目的は同じだが機能の違う製品を総合的にコンセプトデザインとして統一する」というチャレンジは評価に値する。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G050474

スマートフォン [INFOBAR A02 / iidaUI 2.0]

KDDI株式会社（東京都）

概要：INFOBAR A02は、Android 4.1をベースに開発されたユーザーインターフェイスiidaUI 2.0による、ユニークなインタラクションデザインを特徴とするスマートフォン。

評価：INFOBARシリーズの特徴的であったタイル状の物理キーがなくなり、画面内にマルチタスクキーを配置した事で「物と情報のデザインによる融合化」をより意図したデザインである。例えば左側側面のサイドキーの高さと、UI Homeのパネルの高さが揃えられるなど、UIデザインとの一体感を強く感じる。Home画面では上下にスクロールすると、横3列の配置されているアイコンがゼリー状のような表現をしながら動くのも独創的な表現であり、このシリーズがまだまだ新たな可能性を広げている点も評価された。評価の高かったひとつがサウンドデザインのオリジナル性である。この製品が示したUIとサウンドの一体感という新しい試みも今後のプロダクトデザインの新しい視座となるであろう。



13G050484

5inch Smart Phone [Galaxy S4]

Samsung Electronics Co., Ltd. (Korea)

概要：The Galaxy S4 is a tool for true communication that connects people and that naturally blends into people's lives. It is designed to deliver an emotional experience and ensure comfort with greater use. We strived to create a form that offers enhanced usability despite the application of a large, 4.99-inch screen. Our goal was to identify a size that allows comfortable use with one hand. An improved finishing technique was applied for a higher degree in perfection in details. Another goal was to deliver an emotional user experience through this finishing technique.

評価：ユーザーが持ち歩くツールとしてのスマートフォンは、様々な厳しい要件をクリアしなければならない。その中でも、快適な操作を実現することは極めて優先順位の高い重要な要件である。この機器は、長年の開発の中で円熟の域に達し、卓越したデザインを実現できているものである。画面のサイズ、片手での操作性、携帯性、など他にも様々な要件があるであろうが、それらが完成度というなかで見事なハーモニーを醸し出している。かつ、均質な製品として世の中に供給している点も評価できる。



13G050517

3D プリンター [Cube Ⅱ]

株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン（U.S.A.）

概要：The Cube is packed with consumer friendly features starting with its sleek, contemporary design and tablet-like touch screen ease of use. Consumer print-ready and compact, this color 3D printer fits into any room in the house and, at under 9 pounds, is exceptionally portable. The EZ Load cartridge offers hours of 3D printing enjoyment for consumers in a rainbow of compelling colors. Unlike other @home 3D printers, the Cube has guaranteed printability each time you print. Cubeは、洗練されたデザインでタッチパネルで使いやすいコンシューマーフレンドリーな機能満載の3Dプリンタです。コンパクトなデザインで本体は5つのカラーより選択でき、ご家庭や教室でのご利用が可能です。材料は、ABS、PLAそれぞれ16色を用意

評価：この3Dプリンタは個人のプロトタイプ製作環境を大きく変化させる画期的な商品である。これまでも3Dプリンタ需要はあったが、高額な製品の為に普及はしてこなかった。しかしこの製品でようやくコンパクトな設計と低価格を両立させることに成功した。操作性も大変シンプルにまとめられており、まさに誰もが使えるクオリティにまとめられている。樹脂の交換がカートリッジ式であり16色の樹脂が使える（一つの造形物には1色のみ）というアイディアも優れている。さらに3Dデータのファイル転送はWi-Fi（もちろんUSB経由もある）という点も、新しい生活スタイルでの用途を意識している点で評価できる。



13G050529

Notebook PC [Asus Zenbook Series]

Asustek Computer Inc. (Taiwan)

概要：ZENBOOK™ perfectly represents the combination of "mechanism, performance, and material." The use of aluminum silicate Corning Gorilla Glass on A part reduces 14% of entire body thickness and even makes it lighter and thinner. Also, this design use less of metallic material enhances its RF efficiency. The faultless process of fluoropolymer nanometer not only brings excellent performance of stain-resistance and anti-fingerprint, but also easy to remove dirt from surface to show absolute pure and timeless quality.

評価：Zenbook系列整體設計完整優秀，延續了Asus在材料上的精益求精和不斷創新，用玻璃上蓋強化耐用性，提升光潔度。機身表面處理相當有質感又非常簡潔，其同心圓的設計即是強烈的視覺衝擊又很好的傳達了其品牌形象。而此款筆電薄至15.5毫米，相較之前市售的Zenbook薄了約14%，更是保持了高水準的設計追求。在同類產品中脫穎而出，令人印象深刻。

2013年度グッドデザイン賞 Best100 (金賞候補)



13G050550

Curved OLED TV [EA9800]

LG Electronics, Inc. (Korea)

概要: Since German Karl Brown's invention in 1897, the CRT display has reigned for 100 years. Then in 1997 with the advent of a flat-screen TV, with just a little difference of only the screen driving principle seems to be natural to people. However such TVs are not considering users fully at all. In April 2013, with the advent of organic light emitting diode (OLED) TV and further the world's first curved OLED TV, we, human beings are finally provided with the best viewing environment with their immersion maximized beyond the mechanical viewing environment.

評価: 新しいテレビを、卓越したデザイン力で表現している。まさに視聴するためのテレビであり、テレビのあるべき姿の一つの答えを出している。特に、画面下部のスタンドを透明にすることで、画面そのものを忌避たせるとともに、そこにスピーカを内蔵しており、映像だけでなく、音も最先端技術を利用している。「すばらしい」一言で片付けることができないほど技術をデザインで包み込んだ美しい機器である。背面も美しいCFRPにより成り立っている。全面手を抜くことなくデザインしていることも賞賛に値する。それにしてもすばらしい完成度に魅了される。



13G050552

UHD Television [UN85S9]

Samsung Electronics Co., Ltd. (Korea)

概要: Timeless Gallery S9, which is the world's largest UHD TV, showcases understated simplicity, thus making the user's living room look like a gallery. It is a TV that offers timeless class. It adopts an innovative structure where a high-resolution screen looks like it is keeping afloat inside a sound frame, thus presenting a prototype for large TVs.

評価: この圧倒的な存在感は何からくるのかを説明することが難しい。デザインの構成自体は非常に単純なフレームを利用したものであるが、存在感はそれだけのものではなく、計算されたバランスの上に成り立っている。全く新しい異次元のテレビのデザインを実現しており、それが圧倒的な存在感として表現されているのであろう。新しいアイデンティティを確立したデザインであり、今後の展開を期待したいデザインである。この世界最大のUHDの存在感とデザインの完成度に敬意を表したい。



13G050554

OLED Smart Television [UN55S9C]

Samsung Electronics Co., Ltd. (Korea)

概要: "World's first curved OLED TV" The S9C is the world's first mass-produced 55" curved OLED TV. It was created with the aim of featuring an immersive experience through lifelike picture, surround sound system, and circumferential form. This product goes beyond general TV functions, thus delivering new value and experience to consumers.

評価: カーブOLED TVとしての新しさをうまく表現しているデザインである。両サイドに張り出しているフレームは、カーブをスマートに強調しているが決して過度ではない点が評価できる。「湾曲させたパネルを床においてある」という簡単そうで極めて難しデザインを実現していることを賞賛したい。これも新たなテレビを表現する一つの回答である。新しさをうまく表現できているデザインであり、評価できるデザインである。



13G060558

自転車コンポーネント [シマノ アルフィーネ Di2 シリーズ]

株式会社シマノ (大阪府)

概要: アーバンサイクリングを手軽にファッションブルに楽しみたい人のために、シンプル・ストレスフリー・メンテナンスレスをコンセプトにデザインされた内装変速の電気変速コンポーネント“ALFINE Di2”。軽く素早い変速でストレスのない快適な乗り心地を実現すると同時に、従来の剥き出しで複雑なメカではなく、スポーツタイプの内装変速機を採用することで、シングルバイクのようなシンプルな外観と高性能な変速システムを持ち合わせたバイクのデザインを可能にした。鮮やかで視認性の高い有機ELディスプレイでライダーに変速状況を知らせ、どんな人にも分かりやすく、ストレスのないライディングを実現する次世代コンポーネント。

評価: いままで競技用高性能自転車の技術とされてきた電動変速を、一般向け自転車のハブ内装ギアと組み合わせ、プレミアムな変速システムに仕立てた点を評価したい。日本のものづくり技術を高付加価値に結び付けた好例であり、実戦で鍛えた技術の民生用への展開というプロセスは乗り物好きの心に響く。しかも電動変速はシフトケーブルを電気式に転換しているのでケーブルの伸び縮みや錆の心配がなく、内装ギアも雨や泥による錆や作動不良から開放される。つまりメンテナンス低減で有利な機構の合体でもある。もちろんスイッチ操作によるストレスフリーの変速、内装ギアによる静かな走行や衣服の汚れ防止などの利点もある。無駄な装飾がなく、機能をストレートに造形に反映した外観も好印象。インジケーターもコンパクトにまとめつつ表示が整理しており、グラフィックやカラーを含めて見やすく仕上がっている。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G060566

スマートフォン向けアプリ【全国タクシー配車】

株式会社日交データサービス（東京都）

概要：「全国タクシー配車」は、全国101グループのタクシー会社（タクシー車両約2万台）と提携（2013年9月現在）し、タクシーの迎え先を地図上で簡単に指定し注文できる日本初のアプリです。スマートフォンならではの直感的な操作とGPS機能で今いる場所の説明が不要になり会話する必要がありません。また、日時を指定する予約機能や出発地と目的地を設定して概算料金を調べる料金検索機能、クレジットカードを事前登録することで降車時に支払手続きが不要になる機能など、タクシーをもっと便利に利用できるアプリです。

評価：タクシーを利用したい人と、近くを走るタクシーの空車を、最短距離で結びつける通信システムがあれば、ユーザーとサービス側双方の利便や利益を最大化できるのみならず、道路の混雑緩和に一定の効果を発揮することが出来るはずである。このアプリは、タクシー会社一社の提案であるが、やがては、あらゆるタクシーサービスが、この種のアプリケーションによって連繋していく事が予想される。その先鞭を付けるシステム開発を高く評価したい。ただし、先行事例だけに、ユーザーインターフェイスのデザインの品質や美しさ、使いやすさの充実に一層の完成度を期待したい。



13G060579

自転車【ノイズ カーゴ】

株式会社NOIS（東京都）

概要：マウンテンバイク等と同等の26インチフレームサイズに、20インチタイヤを採用する事により、窮屈さを感じさせないポジションと走行性、荷物積載時の低重心化を実現させたミニベロカーゴ。積載のためのオリジナル大型リアキャリアとフレームを一体化させたデザインは、太いパイプを使ったデザインでありながら、直線的なフレームワークで軽快さをアピール。ワークバイク（働く自転車、実用車）として使用出来る強度と普段使い出来る快適性を両立させた。

評価：荷物の運搬性能が高く重心の低い自転車である。機能を吟味しながら、愛着の持てるていねいな設計で、自転車の多様性の裾野を説得力をもって押し広げている。自転車が垂直に立つスタンドの型式も、荷を取り扱いやすい自転車の角度を想定したもので、乗ったままでも操作できる操作性も含めて高く評価できる。斜めに傾くスタンド型だとハンドルも傾斜方向に傾ぎ、自転車の駐輪効率を微妙に妨げる。運搬性能と同時にこのような自転車本来の使いやすさを見直す視点をも評価したい。



13G060586

超小型2人乗り電気自動車【TOYOTA i-ROAD】

トヨタ自動車株式会社（愛知県）

概要：世界の人人に、近未来への期待と驚き、そしてかつて無い楽しさを提供する新ジャンルパーソナルモビリティ。トヨタが一貫して開発を続けているパーソナルモビリティとして「安全、軽快、コンパクト、繋がる、楽しい」をコンセプトに具現化を目指し、渋滞や駐車スペースなど都市における交通問題の緩和と低炭素社会の実現に貢献する超小型2人乗り電気自動車。取り回しの良いコンパクトな車体と、緻密に電子制御されるアクティブグリーン機構により、誰もが安全に爽快感な走りを堪能できる。

評価：トヨタ自動車が10年以上前から開発研究を続けた「パーソナル・ビークル」のひとつの回答である。コンパクトカーの未来が「高度な車椅子」ではないことを示してくれたこのプロトタイプに、多に救われた。後輪は1輪、これがステア（舵取）する。駆動輪となる前輪は2輪だがステアしない代わりに、左右が互い違いに上下スライドする。これによってオートバイのようにリーン（傾斜走行）できる。この機構は前例がない。オートジャイロ機構を備え、ドライバーの体重や走行速度、ハンドルの切り角を瞬時に計算する。ここに、高度電子制御技術なくしてはなし得なかった、ドライビングを楽しむ「能動的モビリティ」が誕生した。まるでモーターボートを操るかのような新感覚だ。前輪が2輪でありながらステアしないためフロント形状はコンパクトでユニークだ。絞られた後輪に重心を置くスタイルも新鮮である。日本で生まれた、モビリティ・デザインの新種に拍手を送りたい。



13G060587

軽自動車【ダイハツ タント】

ダイハツ工業株式会社（大阪府）

概要：「驚きの広々空間」で家族みんなの楽しさを追求し、「ママワゴン」として新しいジャンルを切り開いたダイハツタント。子育てファミリーをはじめとする多くの人々がより快活に三代目タントを使っていただけのように思いを込めてデザインコンセプトは「家族・みんなの元気空間」とし、安全・燃費・走りといった基本性能の進化はもちろん、より大きなキャビン、助手席側ミラクルオープンドア+運転席側スライドドア、みんなが楽しく使える沢山のユーティリティといったアイテムを加えることによりタントDNAである「広さ」と「使いやすさ」を更に進化させました。

評価：三代目タントは、室内への開口を確保するセンタビラーレスとスライドドアによる抜群の乗降性と室内空間の拡大による使い勝手のよさを追求し、より高い次元で生活の中心にある「軽」のスタンダードモデルを提案している。樹脂パーツの採用による軽量化と空力への配慮による高い燃費性能の達成やスマートアシストの実装による安全性の確保。従前、欧州車のデザインで重視されてきた「走り」、「快適性」、「美しさ」といった価値尺度に対して、日本で生まれた軽というカテゴリーに三代目タントは「横のデザイン」という価値を堂々と体現している。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G060590

乗用車 【新型乗用車 フィット】

本田技研工業株式会社（東京都）

概要：The World Best世界中のお客様に愛される四輪界のスーパーカブとなることを志し、世界で最も機能的で環境負荷の小さい次世代コンパクトカーのベンチマークを目指して開発した。・10年先でも通用するプラットフォームやパワートレインを目指して、すべての部品を刷新。新しいハイブリッドシステムは高い燃費性能とFUNな走りを両立するため新開発。・パッケージングは、MM思想のもとセンタータンクレイアウトを中心に数ミリ単位でメカ部分を小さくし、人のための空間を拡大するために考え抜いた。

評価：四輪のスーパーカブというコンセプトで作り込まれたフィットは、センタータンクレイアウトによる広い室内空間や使い勝手の良さを踏襲しながらも、同時に世界最高水準の燃費を3つの走行モードを組み合わせた独自のハイブリッド技術で実現するデザイン、日本のハイブリッド技術の中心の一つとなる提案を含んでいる。



13G060592

自動車 【フォルクスワーゲン ゴルフ】

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社（東京都）

概要：今回7世代目となる新型「ゴルフ」は、フォルクスワーゲンの新しいモジュール戦略「MQB」※のもと開発された初めてのフォルクスワーゲンとなります。先代で高い評価を得たTSIエンジンや高剛性ボディ、サスペンションだけでなく、エアコンやインフォテインメントシステムにいたるまで新世代モジュールとしてゼロから開発され、機能と性能を格段に向上しながら、プレミアムカーに匹敵する内外装品質、クラス最高の安全装備、大幅な軽量化と燃費の向上に成功しています。

評価：水平基調のフロント／リア回り、引き絞った弓を思わせるCピラー形状など、7代目となる新型も一目でゴルフと分かる。ブランドとしてのアイデンティティにブレがない。そのうえで新型ならではの進化も実感できる。プレスラインやパーツの分割線など、個々の線や面を極限まで追い込んであり、一切の妥協がない。同社で初採用となる、「MQB」と名付けたモジュラー設計の車台（プラットフォーム）も特筆に値する。自動車の価値の60%が集まる前輪からアクセルペダルまでの構造を共通化し、それ以外の部分を柔軟に変更可能とすることで、コンパクトカーからミニバンまで、横置きエンジン全車種の車台の共通化を可能とした。その結果、開発コストの大幅な低減に成功しており、その分を前述したデザインなど、商品性の向上に振り向けている。ものづくりの原点にまで立ち戻って改革を目指した設計思想は、各方面に影響を与える可能性が大きい。



13G060595

トラック 【キャリイ】

スズキ株式会社（静岡県）

概要：軽トラックは、日本の生活、社会、産業にとって無くてはならない存在となっている。今回のモデルチェンジは、1961年の初代「スズライトキャリイ」から12代目であり、前回の1999年以来14年ぶりとなる。更なる居住性・乗降性の改善を行うと同時に、クラストップの荷台寸法も確保。また働くクルマに相応しい豊富な室内収納スペースを設定。燃費の向上やエンジン性能改善も実施、クラス唯一オフセット衝突法規にも対応した。多様な使用場面にも対応し、長く使っていただけるデザインを目指した。

評価：日本の「軽トラック」は小回りや取り回しの良さで、大変優れた運搬車両である。量やビールケース、リンゴ箱など、運搬する対象物を想定した荷室のモジュールも精緻に出来上がっており「軽トラ」そのものが、合理性を追求しつつ進化の度を深めていく世界のモビリティ・シーンの中で今後注目される潜在力を持っていると判断されるため、改めて評価の対照となった。スズキキャリイは、ホイールベースを短くすると同時に、フロントガラスを広げ、運転席からの視界を拡張することで、操作性の良さに一層の磨きをかけている。また、空力特性も改善するなど、このカテゴリーの継続的な改善への意欲が評価の対象となった。



13G060600

鉄道車両用台車 【efWING】

川崎重工業株式会社（兵庫県）

概要：鉄道車両の台車フレームの一部をCFRPで製作。更に、コイルバネのサスペンションの役割をCFRP製フレームに持たせ、2つの機能を1つに集約した。航空機で使われる未来の材料カーボンファイバーを、世界に先駆け鉄道車両用台車のCFRP化に成功。その材料特性から大幅な軽量化を達成。それによりエネルギーコストの削減を可能にし、地球が微笑むものづくりを追い求めます。この新型台車efWINGが、日本だけでなく世界の鉄道車両の進化を大きく加速させます。

評価：鉄道車両の次世代型台車である。近年、航空機や自動車に採用されている新素材CFRP（炭素繊維強化プラスチック）を、世界に先駆け鉄道車両台車枠に採用した。フレームの一部と、さらに弓状バネとして構造化することによってサスペンション機能を確保、従来のコイルバネを省略している。これによって安定性能の向上はもとより大幅な軽量化を実現した。一両あたり900kgの軽減は画期的である。CFRPの性能を生かした弓状バネは、視覚的にも新しい台車スタイリングを導いた。一般に鉄道車両は「車体と台車」からなる。これまで、デザインの視点はほとんどが車体にあった。ひとの目に触れにくいとはいえ、足下が鉄道車両の重要部分であることに変わりはない。日本が誇る新素材技術と構造開発によって、高性能で機能的な美しさをもった台車が生まれたことを高く評価したい。この台車が、世界の鉄道車両の足になるならば、鉄道の風景も一気に加速するであろう。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G060604

ロケット【イブシロン】

独立行政法人宇宙航空研究開発機構（東京都）

概要：イブシロンロケットは高性能と低コストの両立を目指す新時代の固体燃料ロケット。1段目にはH-IIAロケットの補助ブースタを活用、2・3段目は世界最高性能と謳われたM-Vロケットの上段を改良。日本が世界に誇る固体ロケット技術の集大成であり、この半世紀に蓄積された知恵と技術の全てが込められている。革新技術と既存技術を組み合わせることで信頼性向上・性能向上を同時に実現。組み立てや点検などの運用が効率的なため、頻繁な打ち上げが可能となる。ロケットの打ち上げをもっと手軽なものにし宇宙への敷居を下げる、それがイブシロンロケットの最大の目的である。

評価：ひとを運ぶ乗り物ではない。観測衛星や機器を宇宙空間へ運ぶロケットである。日本には優れた固体燃料ロケット技術があるが、このイブシロン・ロケットの技術開発の目的は明快である。高性能、小型軽量コンパクト、低価格、組み立て、発射準備から解体のプロセスも徹底的に凝縮させることに徹した。ロケットの打上が特別な大仕事でなく「日常の出来事」のようにすることにあった。この観点は、インダストリアルデザインの目途と合致する。この点を多に評価したい。ロケット本体は極めてシンプルである。「宇宙への敷居を下げる（JAXA）」という姿勢は、外観意匠においてさらなる象徴性を必要とするだろう。ならばグラフィックデザインの今後の可能性に期待したい。このイブシロン・ロケットが、モビリティ部門に相応しいかどうか疑問ではあったが、宇宙に「夢」を運ぶ移動具と解せば、ど真ん中なのかもしれない。世界を市場に堂々と戦って欲しい。



13G070638

基板実装機／検査機／印刷機【SAXES】

ソニーイーエムシーエス株式会社（東京都）

概要：プリント基板への表面実装を行う実装機だけでなく、印刷機、検査機を含めた、ライントータルでの高品質・高スループットを実現した実装ラインアップです。共通デザインとして、人間工学を基に扱いやすさを追求した独自のラウンドフォルムを採用。ソニー製品の製造現場でのノウハウを活かした設計で、初心者にも使いやすく、実装ラインの効率化にも貢献します。

評価：今後、更なる発展が見込まれる、プリント基板実装のための、表面実装、印刷機、検査機を、統合的にとらえた実装機器である。必要作業、品質、作業者の効率、扱いやすさ等の機能性を追求するとともに、美しくクリーンな印象をもたらす造形により、工場の風景、労働環境を変える力をもつデザインを提供している。人を中心とした製品の在り方をテーマに、工場機器に必要な、人間工学的な設計や、初心者を想定した驚くほどシンプルでわかりやすい秀逸なUI設計により、作業者を機能的、身体的にサポートしている。さらには、工場機器とは思えない、機能美、造形美を有するインパクトをもつフォルムにより、作業者たちが、誇りをもってものづくりに関わることが期待できる、工場機器としての新たな可能性を感じるデザインとして評価した。



13G070641

ペーパレスレコーダ【SMARTDAC+ シリーズ（GX10, GX20, GP10, GP20）】

横河電機株式会社（東京都）

概要：データ収集制御システム「SMARTDAC+シリーズ」のペーパレスレコーダ「GXシリーズ（パネル取り付け型）」「GPシリーズ（ポータブル型）」は、さまざまな産業の生産現場や開発現場等で、温度、電圧、電流、流量、圧力などのデータ収集・表示・記録するレコーダである。従来からの基本機能に加え、携帯情報端末のような優れた操作性とシステム構築の柔軟性と拡張性を兼ね備えている。直感的な操作感のユーザインタフェースを採用した使いやすさと、自由度と拡張性の高いアーキテクチャを採用したユーザ視点での機能性、豊富なネットワーク機能とソフトウェアによるシームレスな情報伝達環境の構築が可能。

評価：本製品は、従来は記録紙で行っていた温度、電圧、電流、流量、圧力などのデータの記録、閲覧を、電子的に行なう機器である。本製品では、画面上のスライド操作により記録紙を引き出すように表示箇所を移動したり、紙にメモを書きこむように画面上で手書き入力ができる、直接的、直感的なユーザインタフェースが実現されている。ハードウェアとしても、表示画面を囲むフレームを薄くシンプルに仕上げ、通常操作においてはボタンなどがパネルで隠蔽された状態であるため、機器の表示部でありながら紙のイメージをうまく出せている。紙媒体を電子媒体に代替するアプローチにおいては、電子媒体の長所を活かすことに加えて、紙媒体の長所、紙媒体について蓄積されたノウハウの重要なものも継承することが望ましいが、本製品のデザインはその好例であると言える。



13G070655

X線自由電子レーザー【サクラ】

理化学研究所 放射光科学総合研究センター（兵庫県）

概要：SACLARAは2013年現在、世界に2基しかないX線自由電子レーザー施設の一つ。高エネルギー電子線形加速器からの電子をアンジュレータという発光装置に導き、X線レーザー光を発生させる。この光は原子レベルの世界の形や動きを見て研究するのに適したものであり、様々な物質が原子レベルでどう動くかを明らかにする。世界一コンパクトにデザインされた施設で、世界一短い波長（0.063ナノメートル）を実現し、世界で最も小さいものを観察できるX線とも言える。日本の独自技術を結集した「国家基幹技術」として整備され、2012年から共用に供されている。

評価：世界一短い波長によるX線自由電子レーザー発生を実現し、世界一小さなものを観察することを可能にし、類似の他施設では3kmから4kmという巨大なサイズになるのに対して、700メートルという飛躍的にコンパクトな設計において実現された観測施設である。さまざまな日本のモノづくり、観測技術を結集し、原子レベルによる物質の動きの観察を可能にしたことで、世界のとらえ方を更新し、様々な分野における産業やプロダクトの在り方自体を劇的に変化させる可能性を生み出している。また、巨大化する観測装置・施設の分野において、ミニマルな設計、施工を実現できたことにより、建設費用、運用におけるコストやエネルギーの削減にもつながり、継続的な研究活動に大きく貢献している。人類の知的活動の発展を担う、デザインという範囲を超えた、未来を担うプロジェクトであると評価する。



13G070677

医療機器【GGアブソーテック】

川本産業株式会社（大阪府）

概要：「GGアブソーテック」は内視鏡外科手術用ガーゼです。近年、患者への負担が少ない内視鏡外科手術が急激に増加しています。光学装置の進歩によりカメラを通して映し出される画像は、より鮮明で細部まで見ることが可能になりましたが、手術中に白色の被写体が画像内に入ると画像処理機能により周囲が一気に暗くなるため、術者から突然視野を奪うという問題点がありました。「GGアブソーテック」は従来の「ガーゼ＝白色」という固定概念を排除し、緑色にすることでその影響を最小限にすることに成功しました。また、血液を吸液後の臓器との判別性、三角形にすることによる操作性の向上などの工夫を施し、安全な手術をサポートします。

評価：コロンブスの卵的な発想で開発された内視鏡外科手術用ガーゼである。従来の内視鏡外科手術では、白色のガーゼが使用されてきたが、内視鏡外科手術で用いられるカメラの特性として、白色の被写体が画像内に入ると、白色の被写体に自動的に露出が合うため、手術中の臓器の画像が一気に暗くなってしまうという問題があった。当内視鏡外科手術用ガーゼは、ガーゼを血液と補色の緑色に染色することによってその問題を解決している。応募者へのヒアリングにて使用シーンの映像を見たが、白色ガーゼと緑色のガーゼを挿入した場合の画像の差は歴然だった。これまでガーゼの色を変えるアプローチがなかった理由は、ガーゼは「純綿糸を平織りした原布を脱脂し漂白したもの」と薬事法で決められているからということもわかった。そのため当内視鏡外科手術用ガーゼは、ガーゼではなく血液吸収目的のスポンジと位置づけることによって緑色の染色を実現したという。緑色のガーゼは血液を吸収すると黒色になるため、血液を吸収すると赤色に変色し臓器との見分けが付かなくなる白色ガーゼのもう一つの欠点も解決している。内径12mm以上のトロカールからの挿入・抜去を容易にするために、形状を三角形にする工夫もある。年々高度化する内視鏡手術だが、ハイテク機器の欠点を大掛かりな開発ではなく知恵を使って解決した当内視鏡外科手術用ガーゼのデザインの取り組みから医療機器の開発現場が学ぶことは多いだろう。



13G070691

浮体式潮流・風力ハイブリッド発電【SKWID（スクイッド）】

三井海洋開発株式会社（東京都）

概要：やむことない潮の流れと強く安定した海風の力。2つの無尽蔵な海洋エネルギーを組み合わせ効率的に電気に変える、世界初の潮流・風力ハイブリッド発電システムです。発電機を下に配置できるため安定性のよい大型ダリウス風車を、世界初の洋上向け風車として開発。水車には巻貝型のサボニウス水車を採用。これらが上下に連なる機構部は、海中の水車がおもりとなって「起き上がりこぼし」となる設計です。機構部が貫通するドーナツ型の船体は、波の揺れを機構部に伝えないよう、防振ゴムを介して機構部を支えます。低回転の風車と潮流と同じスピードでしか回らない水車は、生態系を脅かさず、見た目にも優しく発電を続けます。

評価：自然エネルギーを用いた発電力の向上は世界の関心事である。当応募対象は、世界初の潮流・風力ハイブリッド発電システムである。本体下部にサボニウス水車、上部に大型ダリウス風車という構成。水中の水車が重りとなって「起き上がりこぼし」となる設計になっている。風車が回転するとコマの要領で安定感が増すため、理にかなった構造と言える。また、機構部が貫通するドーナツ型の船体は、波の揺れを機構部に伝えないよう防振ゴムを介して機構部を支えている。波が高く船体が大きく揺れても風車が全く揺れていない実験映像は非常に説得力があった。発電機を含む全ての稼働部は船体中心部にレイアウトされているため、メンテナンスの際に高所作業や潜水作業などの危険な作業を回避する工夫もある。一般的な陸上型風車は、発電機をモーターとして使って起動するために多くの外部電力を必要とするが、当応募対象は潮流発電で風力発電の起動を行うため、スタンドアロンでの発電が可能である。この特性を活かして漁業との共存を図っている点に最も惹かれた。当発電システム一基で約100世帯の電力を賄えることから、漁業組合で発電システムを保有し、漁村で使用する電力を生産する。余剰電力を発電した場合は電力会社に売電する。発電システムは浮体は舟を係留したりレスキュー拠点として使用したりすることも可能な上、水車は潮流と同スピードでしか回転しないため魚を驚かすことなくむしる魚礁としての効果も期待できるなど、漁業との共存方法を具体的に考慮している。当発電システムが効率の良い発電だけを目的としているのではなく、町づくりを視野に入れてデザインされている点が新しい。自然エネルギーを用いた発電システムでは、発電能力の向上のみに主眼を置いた取り組みが多いが、発電以外の活用方法までを視野に入れ社会への浸透を模索している当浮体式潮流・風力ハイブリッド発電SKWIDのデザインは、今後の自然エネルギーを用いた発電システムの開発を成功に導くヒントを満載した取り組みであると高く評価した。



13G070693

電波望遠鏡【アルマ望遠鏡モリタレイ】

自然科学研究機構国立天文台（東京都）

概要：アルマ望遠鏡は、日本を含む20の国と地域が共同で開発・運用する革新的な電波望遠鏡である。パラボラアンテナ66台を南米チリの標高5000m地帯に並べ、山手線と同規模の電波望遠鏡として機能する。その中で日本が開発したモリタレイは、超高精度パラボラアンテナ16台、超伝導受信機と専用高速計算機からなり、史上最高画質の電波天体写真の撮影を可能にし、銀河や惑星の誕生などの宇宙の謎に迫る。高地の砂漠という過酷な環境で100億光年もの彼方からやってくる微弱な電波を検出するため、高い天体追尾性能と鏡面精度を追求したアンテナ、極限まで高効率化した受信機、そして世界最高レベルの演算性能を持つ計算機を開発した。

評価：20の国と地域が共同で開発・運用する電波望遠鏡として、人類史上最高レベルの観測能力を可能にした。標高5000mという過酷な高地において、100億光年もの彼方からやってくる微弱な電波を検出するという課題に、天体追尾性を可能にする鏡面精度を持つアンテナ、高効率化された受信機、高い演算性能をもつ計算機を統合し、全ての開発において、厳しい精度を追求し実現させている。開発にあたっては、日本の研究者、メーカーらの技術の粋を結集し、日本らしい総合的なデザイン、精度の高いものづくりの力が、世界レベルによる人類の知の探求の営みに大きく貢献することを力強く示している。研究機器の開発、デザインという次元を超えて、地球と宇宙の関係を解き明かすことで「私たちはどこからきて、どこへいくのか」という人類の根源的な問いに挑戦する、人類の文化活動の歴史に刻まれるべき、価値の高い開発プロジェクトであると評価する。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G080728

デジタル複合機 [RICOH MP C8002SP/C6502SP, RICOH Pro C5110S/C5100S]

株式会社リコー（東京都）

概要：■オフィスのセンターマシンとして、かつプロニーズの商用印刷機として、生産性と使いやすさを進化させ、業務効率向上/クラウド連携/環境負荷低減も実現したハイエンドカラー複合機シリーズ。■自社カラー複合機最速のA4ヨコ毎分80枚出力、毎分220枚読み取り。■コピー書き込み時1200dpi×4800dpiの高画質。■紙詰まりしにくい用紙搬送経路と引き出しユニットの採用、用紙除去手順が判りやすい誘導LED。

評価：紙つまり処理やトナー交換などのため、内部をあけて処理することがダイレクトオープン引き出しユニットの導入により改善され、この機構が、アニメーションガイダンスにより、より効果的になっている点が評価された。使用時のトナー交換、紙の補給、紙送り経路の改善による紙づまり低減、などなど、操作、維持管理にわたって、デジタル複合機の専門的な使用の立場からの改善が図られている。



13G080768

刈り払い機用回転刃 [トミタディスク]

株式会社富田刃物（新潟県）

概要：生活様式の変化とともに、道路及び、地面に硬質石材を敷設してある状況（コンクリート・アスファルト・石畳など）が増えている。そこには経年により、汚泥や苔が溜まり雑草が生え、景観の美観を損なうとともに生活での危険性（交通安全面での見通しの阻害等）や敷設箇所の破壊（雑草の根の張り等）など、実害の発生している問題でもある。本商品は、そこに生える雑草の除草及び、汚泥や苔などの除去を可能とする汎用刈り払い機用刃である。

評価：草刈りなどに用いる刈り払い機に装着することで、固いコンクリート面にはびこる雑草や汚泥、苔などの除去ができる回転刃。いままで人の手でおこなっていた清掃作業を効率化することができた。同一用途のナイロンワイヤーを用いた刈り払い機とは異なり、小石などの飛び跳ねが少ないため、軽装で作業ができる。特筆すべきは刃の素材と独特の波形構造であり、摩耗しても連続的に波刃が現れ、使うほどに性能が研ぎすまされていく。前例のない大きさの極薄ステンレスパネのプレス加工、車部品の金型技術を転用した中心の保持板と刃物部の接合など、まさにこの燕地域の技術を結集した画期的な製品である。



13G080772

踏切警報灯/列車進行方向指示器 [踏切警報灯 (eco1シリーズ) /列車進行方向指示器 (eco1シリーズ)]

東邦電機工業株式会社（東京都）

概要：本製品は鉄道の踏切に設置し、光で列車の接近を知らせる踏切警報灯の一種です。一般的な踏切警報灯は懐中電灯のように一方に狭い視野角でしか発光できず、設備の増大化や死角による危険性がありましたが、本製品は表・裏両面を発光させることができ、また広い視野角（当社比約2倍）により、簡素な設備で踏切の視認性向上を実現することができます。さらに、一般的な踏切警報灯と同程度の消費電流であることから、従来製品を背中合わせで4灯必要としていた踏切においては、本製品2灯で実現できるため大幅な省エネ効果が見込めます。なお、「eco1シリーズ」の名称で、同じコンセプトの列車進行方向指示器を含めシリーズ展開をしています。

評価：過去にも数回、踏切で使用する警報灯の審査に携わったが、この警報灯は今までにはない斬新なデザインとなっている。従来の古いイメージからの飛躍的な進歩が見られ、その中で表示の大きさや視野角の改善により安全性や視認性も向上している。街の中で共存する公共機器は様々な環境にマッチする事が重要なファクターとなるが、このようなデザインに対する新しい試みは、次世代に勇気を与えるであろう。



13G080773

非常用圧縮毛布 [非常用圧縮毛布 【EB-201】]

足立織物株式会社（兵庫県）

概要：東日本震災により、首都圏では515万人を超える多くの帰宅困難者が溢れました。最低気温2、9度という寒さの中、辛く不安な思いをしました。毛布が足りず、人々の手に行き渡らなかったのです。そこで私達は、今後の災害に備え、各自が保管出来る毛布が必要だと考えました。独自の真空圧縮技術を応用し、「省スペースで収納可能なA4サイズの毛布」を開発しました。開封するとふわふわで肌触りの良い毛布が、机の引き出しや本棚等に保管出来ます。各自で備蓄する事により、いざという時はすぐに使用できます。毛布は寒さをしのぎ、更に緊急用の担架としても使えます。又、目立つオレンジ色の毛布は、救助サインとしても使えます。

評価：非常にコンパクトであり、形状的にもコントロールされているところが備蓄用として秀逸なデザインである。毛布の質感も上質で、災害時には安心感や信頼性を感じることができる。本棚に入る大きさで製品が考えられているところなど、手軽でパーソナルに備えられるようにデザインが機能している。



13G080775

小型水力発電機 [Cappa+++]

株式会社茨城製作所（茨城県）

概要：成人2名で持ち運べ、川や水路に入れるだけで発電開始。茨城県でモーターを中心に開発・製造する当社は、東日本大震災の被災を契機に技術者集団として今後のサステイナブルなエネルギーのあり方を模索、earth milk projectを立ち上げた。その第一歩は、昔ながらの水車の原理を現代の流体力学により高効率さを実現した軽水力発電機 Cappa。成人2名で運搬可能なうえ、川や水路などの水流にそのまま入れるだけで発電開始。簡単に設置できるので、災害時のみならず、既存の電力インフラに頼らないパーソナルかつシンプルな地産地消の独立電源として、また環境学習など、多くの場で稼働可能。

評価：商品の発想とそれを実現したことに驚きと共感を感じた。機能に対してカタチに無駄がなく、実現したいことに向けて真摯に取り組んでいる様子がうかがえる。小型でシンプルなデザインなので、エネルギー問題をより身近なこととしてパーソナルに捉えるきっかけにもなるところが、実用性だけでなく教育など人々の意識の変革にも役立ちそうだと感じた。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）

13G090779

制震ダンパー [YUNO]

株式会社欧倫ホーム（愛知県）

概要：既築および新築の木造建築物を対象とした制震ダンパーです。日本の伝統木構造の技術を取り入れ、木の性質を最大限ひきだす形状を開発しました。柱・梁などの木構造が表に見える古建築でも美しく補強することができます。

評価：伝統的な木造軸組構造においては、柱梁の接合部に方杖が多用されてきた。方杖は単純明解で、取付が容易であり、視覚的にも魅力的な構法だったからである。この方杖システムの強度と取付法を改良し、小型化することによってデザイン面を高め、建物全体の耐力を高める簡便な制振ダンパーとして再生させたのが本システムである。二つ木材部品を仕口によって一体化し、柱梁に接合金物によって横から取り付けるシステムなので、ボルトによって固定する従来の方杖よりも、既存の柱梁に容易に取り付けることができる。しかも単純明解な形態に小型化されているので、そのまま露出して使用することもできる。さらに方杖のように柱梁に点で接合するのではなく面で接合するため、柱梁と一体化して局部応力を分散する効果も期待できるだろう。実際にどの程度の制振性が達成されるのかという定量化と、少々無骨な接合金物のデザイン面での洗練が今後の課題だと思われる。日本の伝統的な木造構法を現代化した優れた制振構法とってよいだろう。



13G090780

オリジナル高耐久湿式通気外壁工法 [BSウォール工法]

三井ホーム株式会社（東京都）

概要：この工法は、日本の伝統的な左官技術と現代の最新技術を融合し、3つの独自開発部材により実現した画期的なオリジナル湿式外壁工法である。画一的・工業的ではない、一邸一邸で本物の味わいを引き出す「継ぎ目の無い」外壁は凹凸や曲面美を容易に表現でき、顧客ニーズや地域環境に合わせたデザイン提案が可能である。又、呼吸する壁として、外部からの湿気を遮断し、壁内の湿気を拡散・抽出することで、建物の耐久性を向上した。特殊樹脂を配合した専用下地により、吸水性を抑制し、収縮比も自社比で約1/3とし、クラックやひび割れの発生を従来の工法に比べ半減できた。又、60分準耐火構造の認定も取得し、高い耐火性能を確保した。

評価：湿式の外壁構法に独自の工業的な技術を加味して、従来職人芸的に獲得されていた「遮断しつつ空気を通す」という塗り壁の良さを、技術的に完成させた点が特筆に値する。従来の塗り壁のデザインの幅を大きく広げている。専用の下地によって吸水性を抑えて、塗り壁の最大の弱点となる収縮によるクラックやひび割れの発生を飛躍的に減少させた点も、今後の活用の広がり大いに寄与するものと考えられる。



13G090789

木造ラーメン構法 [木箱212構法]

葛西潔建築設計事務所（東京都）

概要：規格部材の2×12材を柱・梁に用い、仕口には市販品のラグスクリューを用いた木造一方向ラーメン構法。2×12材で組んだ門型フレームをトンネル状に並べ、架構を形成する。内部に構造要素がないため柱や壁のない一室居住空間が実現し、空間の可変性も確保できる。間口は自由に開口を設けることができ、採光・通風など自然エネルギーが有効利用できる。柱の間に棚板を渡し一面を収納壁とした。簡易構法のため、材木の輸入、構法の開発、設計、施工すべて1個人設計事務所で行うことができる。設計者が各工程で中心となって関わり、設計内容が確実に実現できる。同じ職人グループが施工することで品質も安定する。新しい家づくりの提案である。

評価：一般にデザイナーによる個別の住宅作品は、グッドデザイン賞の趣旨に必ずしもそぐわないものであるが、この提案による梁・柱といった住宅の主たる構造体のほとんどに同一の規格部材を用い、ニュートラルなワンルームを生み出す構法は汎用性があり、また、住宅メーカーのようにある部材を大量生産するスケールメリットがなくても、一個人事務所がそれを汎用的に生産できるという面においても、賞にふさわしいと考える。



13G090796

工業化住宅 [GENIUS GATE]

ミサワホーム株式会社（東京都）

概要：「人口減少」「少子高齢化」が進み、サービス機能低下時代に対応した社会モデル構築が求められています。「単身・夫婦のみ世帯」「共働き世帯」は増加し、さらに「家族形態は多様化」しつつあります。また、近隣関係の希薄化が進む「無縁化社会」とも呼ばれる中、住宅の役割を考えます。都市近郊の住宅街を想定とした、内と外をつなげ、日常的に地域に開き、近隣とつながり合う事で見守り支え合う【住み開く暮らし】。地域に根付き、住まい手が変わってもコミュニティを受け継ぎ、地縁を育む【住み継ぐ住まい】。をコンセプトに、これからの日本の社会に求められる「多世代・地域交流型住宅」を提案します。

評価：住戸のプライバシーをいかに保持するかが、戦後住宅の一貫したテーマであった一方で、地域とのつながりをいかに回復するかも、近年では同様に重要なテーマとなっている。少人数化した家族の再編と地域の連携は今や住宅を計画するものにとって必須のテーマである。GENIUS GATEの提案は、多世代での暮らしが、単に住戸内のプランニングにとどまらず、地域とのつながりとしても提案されている。コモニリビングは各個室をつなぎ、その室内の開かれた空間に連動して、コミュニティポーチは地域と住戸内のバッファーになるように段階的に計画されている。「住み開く」暮らしというコンセプトが無理なく、かつ豊かな空間としてデザインされている。住宅が家族を建築の中に閉じ込めず、いかに家族と社会をつなぐメディアになることができるのか、そうした試みとして多に評価されるべきプロジェクトである。また、このプランには、必ずしも血縁によらない居住者の組み合わせの可能性も感じさせる。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G090825

古民家再生・黒谷プロジェクト【旧黒谷家住宅改修工事】

渋谷達郎＋アーキテクチャランドスケープ級建築士事務所（山形県）

概要：旧黒谷家住宅は愛知県新城市門谷の鳳来寺山表参道沿いに建つ古民家である。自然豊かな地域であり、秋には鳳来寺山への参拝に訪れる観光客で賑わう。家屋は築180年以上の歴史を持つが、増改築が重なり文化財としての評価が困難な状況にある。約20年前に所有者が変わり、主に都会の子ども達とその親向けの田舎暮らし体験の場として利用されてきた。一方、長年の風雨による損傷のほか、湿気や通風、採光などの問題があり、子ども達が健康的に過ごすための対策と今後の利活用を見据えた設えが急務となっていた。今回、ソーシャルネットワークを介して、管理者や地域の方々との交流が生まれ、学生と共にセルフビルドによる改修工事に取組んだ。

評価：築150年以上の歴史を持つ古民家の再生プロジェクトである。このプロジェクトの面白いところは、この再生の話がソーシャルネットワークを介して始まったところにある。ソーシャルネットワークによって、管理者や地域の人々との間に交流が生まれ、学生と共にセルフビルドによる改修工事が始まったというのは非常に現代的である。そして改修工事自体が学生や子供達の為の教材となり、更なる人間関係を育むきっかけとなっている点も評価できる。この民家は今回再生される以前から、都会の子供達とその親向けの田舎暮らし体験の場として利用されてきた。今回の改修で、新しい命が吹き込まれ更に使われ続けることで、子供達や学生、地域住民のコミュニティが広がっていくことであろう。この古民家のように文化財としての評価は困難であるが、景観ストックとして活用されるべき古民家の再生法の道筋のひとつをこのプロジェクトは示していると言える。



13G090826

住宅【コアハウス－牡鹿半島のための地域再生最小限住宅 板倉の家－】

アーキエイド半島支援勉強会コアハウスワーキンググループ（宮城県）

概要：漁業を生業とする牡鹿半島の浜では東日本大震災の津波によって大きな被害を受けた。住民との対話から、復興において当初漁業に多くの資金を要する事から、最初は小さく建てて徐々に増築するコアハウスを開発し提案した。設計では伝統的な漁師住宅の間取りを踏襲し、外から入れる浴室、魚を直接運べる勝手口、冬でも洗濯物を干せるサンルーム、縁側、土庇空間など、漁村の暮らしを取り入れることに留意した。2012年8月の住民意向調査時に計画を発表し、その後建設協力のための募金や協賛を募り、12月モデルハウスが石巻市桃浦に竣工した。現在は現地見学会、地域工務店との勉強会を継続し、高台移転完成後の建設に向け協議を進めている。

評価：東日本大震災から2年以上が経過した現在では、震災からの復興は、仮設住宅から本格的な住宅の建設へ移行する段階に差し掛かっている。しかしながら、震災があまりにも甚大で広い範囲に広がっているため、本格的な復興住宅の建設は始まったばかりである。そのなかでいち早く建設されたのが牡鹿半島の漁村、桃浦に復興住宅のモデルハウスとして建設された「コアハウス」である。この計画と設計を担ったのは、主に大学関係の建築家によって構成されるネットワーク組織「アーキエイド」である。まず伝統的な漁師住宅の研究から始め、必要最小限の間取りを「コアハウス」として建設し、それを徐々に拡大していくという時系列の計画を行っている。建設の容易な木構法を採用し、シェルターには十分な性能を持たせている。建設には地域の工務店の協力を得ながらボランティアが参加し、建設費は募金と協賛によって賄われた。行政が担うべき復興住宅の建設を、いち早く建築家が先導した点において、社会的意義はきわめて高いといえるだろう。



13G090827

佐世保の実験住宅【ハウステンボススマートハウス】

東京大学 生産技術研究所 野城研究室（東京都）＋東京大学 生産技術研究所 川添研究室（東京都）＋東京大学 生産技術研究所 馬郡研究室（東京都）＋ハウステンボス・技術センター株式会社（長崎県）＋吉田重機工業株式会社（長崎県）

概要：ハウステンボスにつくられた、省エネルギー化が実現する新しい暮らし方を検証していくための実験住宅。躯体をつくってから設備を入れるという通常の思考によらない建築である。20x50mmの鋼管は建物の構造であり、かつその中を流れる熱媒によって温熱環境をコントロールするデバイスとなる。窓際に設置した放射柱によって、大村湾を抜ける自然のそよ風が、温度を調整されつつ室内に入り込む。その心地よい微風の状態こそが目指す空間の質である。放射柱は、佐世保の風景の原点ともいえる造船技術によってつくられた。地域の動的な風景の中で建築をつくること、それがこのプロジェクトの目指すところである。

評価：ハウステンボスに作られた省エネルギー化の実現と環境制御機器の検証のための実験住宅。窓際に設置された実に細い鋼管が、構造として働きながら、かつ温熱環境をコントロールするためのデバイスとなっているところが非常にユニークである。鋼管の中を熱媒が通ることで放射柱として働き、海からのそよ風が温度調節されて室内環境をコントロールするという。通常の空気を掻き回す方式によらない温熱環境の制御が実現されていて心地良さそうである。この鋼管の製造には地元佐世保の造船技術が生かされているという。このプロジェクトはハウステンボス全体のスマート化、省エネルギー化の為の実験の場であるが、地元の産業の活性化に繋がる点も評価したい。住宅の空間自体は、細い鋼管を通して室内外が連続する、日本的な住まいが実現されている。今や人が技術に合わせるのではなく、技術が人に合わせる時代。本来あるべき快適な環境作りのための実験の場として大いに評価したい。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G090839

高齢者と障害者の共同住宅【いやし空間「ほ・だあちゃ」】

森内建設株式会社（青森県）

概要： 小さな自宅を開放し、知的障害者をサポートする活動を行っていたが、障害を持つ自身の2人の子供達の将来を思い、今までの自身の財産を投げ打ってNPO法人を立ち上げた。協力してくれるスタッフとともに、高齢者と障害者がともに人間らしく心豊かに暮らす皆の家を持ちたいと願い、市や国の補助金を利用すべく、奔走しながら考え、この春やっと希望の家が完成した。代表者の佐藤智子さんご夫妻の願いは、自分たちに財産はいらないけれど、将来、障害を持った自身の子供達が自由に楽しく、心豊かに暮らして欲しいという事。そんな夢に描いていた、自分たちのカフェを持ったアートギャラリーのような家を実現し、スタートを切った。

評価： 今後ますます進行するであろう少子高齢化社会に備えて、高齢者や障害者が互に助け合いながら一緒に住むことができる空間づくりをめざしたシェアハウスである。当初は、クライアント夫婦の自宅を開放して知的障害者をサポートする活動から始まったが、さらに活動を広げるために、NPO法人を設立し、行政の補助を受けながらも、民間の力によって、本施設の実現に至った。通常の福祉施設は行政のトップダウンによって計画されることが多いが、この施設は、そのようなトップダウンではなく、民間のボトムアップによる、新しいタイプの小規模社会福祉施設である。住宅のスケールを保ちながら、自主的に運営されている点において、これからの福祉施設のあり方を先取りした意義のある試みだといえよう。



13G090849

子供たちに故郷をつくる住宅ソリューション【かやぶきの里プロジェクト】

野村不動産株式会社（東京都）＋筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会（茨城県）＋株式会社里山建築研究所（茨城県）

概要： 本プロジェクトは野村不動産、筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会、地元NPO法人、つくば市、筑波大学により、都市と農村のサステイナブルな相互扶助関係をつくる産民官学共同プロジェクトです。都会暮らしで故郷を持たない子どもたちと、過疎化や少子高齢化で荒廃が進む農村を繋げ、日本が抱える社会課題を解くモデルケースを目指します。住宅ソリューションとして、分譲住宅入居者を筑波山麓へ招き、豊かな自然の中で田植えや稲刈りなど里山体験イベントを実施します。また都市農村交流の拠点と里山文化継承の象徴として、築150年の古民家を住宅入居者、野村不動産社員、地元住民などとセルフビルドで移築再生しました。

評価： 分譲住宅に住む都会の子供達を筑波山麓に招いて里山体験イベントを行うという産民官学共同プロジェクトである。都会の子供達と荒廃が進む農村を繋げ、農村を再生させる仕組み作りにまで踏み込んでいる点は大いに評価したい。里山マルシェという新しい産業を興し、将来的には特産品のブランディングをすることも視野に入れていて、持続的な農村再生の活動にしようとしている点も評価できる。「エコ田んぼ」という減農薬農法を取り入れた田んぼでの田植えや稲刈りなどの活動も都会の子供達にとってはかけがえのないものになるであろうし、家族の絆を育む有効な機会となっているであろう。築150年の茅葺の古民家の移築再生は、その活動の一環として、学生や地元住民、分譲住宅入居者や社員、多くの人を巻き込んで行われた。里山の原風景を次世代に伝えていくためのハードとしての役割を担うものである。農村再生のためのハード、ソフト両面からの取り組みは、今後のモデルケースとなることであろう。



13G100908

冷凍倉庫・冷蔵倉庫【マスカー】

女川魚市場買受人協同組合（宮城県）＋大成建設株式会社（東京都）

概要： 計画地である女川町は、宮城県北東部に位置し、北上山地と太平洋が交わるリアス式海岸に囲まれた自然豊かな港町である。女川港は古くから天然の良港として栄え、さんま漁では日本有数の水揚げ量を誇った。しかし、2011年3月に発生した東日本大震災により、町は甚大な被害を受け、かつて賑わいを見せていた多くの水産施設もまた、深刻な被害を受けた。クライアントは、女川魚市場買受人協同組合。水揚げされた水産物を保存するための冷凍冷蔵施設である。「2012年秋、女川にさんまの水揚げを」を合言葉に、水産の町の復興のシンボルとして計画された。

評価： 震災復興がまだまだ遅々として進まない中で生まれた冷凍冷蔵施設。力強くシンプルな造形、津波の力を受け流す断面構成、充分な省エネルギー計画など、実に真っ当で実直な計画である。復興には様々な支援が必要であるが、このように漁業を支える施設が沿岸の低平地に、カタールからの支援によって、しかも極めて素早く実現できたことの意義は大きい。今後の地域の心の拠り所にもなるであろう。



13G100911

木質構造【FWS】

ミサワホーム株式会社（東京都）＋株式会社ミサワホーム総合研究所（東京都）

概要： 近年、大規模建築を木質構造で実現したいという社会的要望がある。FWSは、ミサワホームが45年にわたり戸建住宅で培ってきた、独自の木質接着パネルと、集成材を組み合わせ、梁・柱を構成することで、木質構造ながら長辺約9mの2方向ラーメン構造を可能とした。従来、木造の大架構を実現するには、大断面の集成材に依存するしかなかった。しかし本構法は、木質系パネルを使用することにより、柱・梁を中空形状とすることで、軽量化、材料削減を実現し、安価でかつ強固な構造を実現した。また、各地の戸建住宅用生産拠点を有効活用することで、高い品質を確保し、生産、輸送に起因するCO2排出量も削減することを可能とした。

評価： 近年大規模木造への社会的要請が高まるなか、長年培ってきた技術を応用・総合化し提案された工法。木質系パネルと集成材を組み合わせた中空形状断面の柱梁材と接合部金物を開発、壁のない軽く強い架構を実現したこと、またその完成度と将来性が高く評価された。構造体はそのままでも十分美しい。構法の新しさが普及のブレーキとならないよう実践と発信を重ねていただきたい。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G100916

幼稚園【あさひ幼稚園】

株式会社手塚建築研究所（東京都）

概要：東日本大震災の津波で立ち枯れした巨大な杉並木を使って建設した幼稚園である。再利用というリサイクルと結び付けられがちだがもっと遥かに大きな意味を含んでいる。南三陸の人々は海と共に生きてきており津波との縁を切ることはできない。建築で津波を防ぐことはできないが建築は言い伝えを残すことができる。この幼稚園は2尺角の柱から床板手すりに至るまで南三陸の津波の歴史と共に生きた杉でできている。元々材木ではないので板の幅も不揃いでキツツキの巣もそのまま残っているが全て南三陸の歴史である。想定寿命は長い。次の津波が来るであろう400年後まで生きながらえ語り部として津波の記憶を子孫に伝えて貰いたいと願っている。

評価：東日本大震災の津波を被って立ち枯れした杉木立が、幼稚園へと姿を変えて蘇った計画である。樹が様々なかたちに加工され、それらが積み重なるようにして生まれた空間は素朴で力強い。その一つ一つの部材は、杉木立を愛していた地域の人たちひとりひとりの想いを象徴するようでもあり、心打たれる。建築の価値は、できあがった空間の善し悪しだけではなく、むしろその背後に脈々と流れる壮大な物語にこそあるということ、を、改めて思い知らされる。



13G100937

文化交流施設【コンゴ民主共和国日本文化センター】

慶應義塾大学 松原弘典研究室（神奈川県）＋エーエスアソシエイツ（東京都）

概要：コンゴ民主共和国日本文化センターは、コンゴ民主共和国キンシャサ市の中心部、ゴンベ教員大学の敷地内に、日本国外務省の草の根無償援助資金で建設された建築である。建物は一辺が約19メートルの正方形平面の平屋で、角度の違う屋根が雨樋を兼ねた通し梁によって支えられ、その下には道場・教室・事務室・茶室などが配置されている。建物内を貫通するように十字平面の半外部の廊下が通り、内外の空間が近接しながら配置されている。現在はこの建物で日本語クラスが開講され、日本の慶應義塾大学とゴンベ教員大学の学生が交流するなど、日本の文化をコンゴで普及啓発する重要な拠点として整備されつつある。

評価：コンゴ民主共和国において、地元の素材や技術を活用しながらも、日本の知恵を導入して生まれた日本文化センター。現地の伝統的な構法である日干しレンガで壁をつくり、屋根は日本で考案した構法でつくっている。現地の施工精度を受容し、現地の人たちを巻き込み、また自分たちでできることを一緒にやる。こうした活動そのものが、新しい建築を生み、地域に愛され、そして新しい交流を育んでいる。建築を通じてできる文化的交流の原点を見る、勇気づけられるプロジェクトである。



13G100942

美術館【五島美術館 改修】

公益財団法人五島美術館（東京都）＋清水建設株式会社（東京都）＋株式会社堀越英嗣 ARCHITECT 5（東京都）

概要：緑豊かな庭園に佇む吉田五十八設計の五島美術館。国宝「源氏物語絵巻」など日本有数の東洋古美術コレクションを誇る。開館から約半世紀を経て、今回、吉田建築の伝承と再構築をベースに、時代に即した展示機能の拡充と館全体の機能更新をテーマとしてリノベーションを行った。既存展示室は展示機能を刷新。新展示室は寝殿造の中庭を望む開放的な既存集会室の特徴を生かし、自然光を入れることも可能な新たな伝統美術の展示空間としてコンバージョンした。

評価：緑豊かな庭園に佇む巨匠吉田五十八設計の五島美術館の改修である。原建築が名作であればあるほど改修は難しいのであるが、ここではオリジナルの意匠を尊重し、既存のデザインから逸脱しないよう注意深く設計しており、自然な風景として新旧の建築が融合している。一方、展示室の窓回りは、既存サッシ、遮光スクリーン、障子、シャッターの4枚のレイヤーを駆使した自然採光を可能とした高度な技術も取り入れている。既存デザインに「寄り添った」改修は、建築文化の継承であり、その意味においても高く評価された。



13G110951

ジャンクション【大橋ジャンクション】

首都高速道路株式会社（東京都）＋東京都（東京都）＋目黒区（東京都）

概要：大橋ジャンクションはトンネルと高架を接続する高低差約70mの2回転ループ構造で、大気や騒音等、周辺環境への影響を低減するためループ部を覆う「覆蓋」を施しており、外観はローマのコロッセオを模した疑似窓やスリットを入れて、圧迫感を軽減する工夫をしている。ジャンクション建設は東京都施行の再開発事業との協働事業により一体的に行われ、2棟の再開発ビルや区画道路・広場、また、ジャンクション屋上には回遊式の和風庭園が整備された。このジャンクションの地下では中央環状品川線と接続する工事が行われており、2本のシールドトンネルを地下で接続して一つの断面とし、鋼製セグメントで一体化する世界初の工法が採用されている。

評価：地下から地上に向けて、困難と言われた東京の大動脈の分合流を山岳土木技術を駆使して実現すると共に、いきいきとした子供たちの居場所スペースが地域の足元にトータルデザインとして着地している。ローマのコロッセオと同スケールの構造体は、緊急時には避難スペースを、天空では気持ちのいい東京の新しい視点場を生み出すことに成功、高さを変えるたび様々な機能と眺めが展開される新たな「東京のアーバンデザイン」といえよう。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G110957

地域づくり、コミュニケーション活動【ワインツーリズムやまなし】

LOCAL STANDARD株式会社（山梨県）

概要：ワインツーリズムとは、第一次産業、第二次産業でつくられるワインという地場産業を、デザインとしくみを使ってイメージを発信しながら、より広く地域に根ざした文化とするための第三次産業化を促し、地域の人々とともに産地を形成していく取り組み。ワインを核としながら地域の人、サービス、モノを緩やかに連携させ、「ワインツーリズムやまなし」という産地をめぐるイベントを行い、その消費力と発信力を利用しながら地場産業をブランディングすることで、産地に人の流れとお金の流れを生みだす。さらに、地域内でワインを飲む文化をつくり出し、ワインという地場産業を核としたプラットフォームをつくり、次世代へ地域をつないでいく取り組み。

評価：ぶどうの生産からワインづくり、レストラン、観光サービスまで地域連環による6次化を促進しているイベント。ワインという魅力ある特産品を活用し、2005年から定期的な活動として続けている事で確実に定着した実績を残している。また、一貫した質の高いデザイン管理によってその活動のイメージを高め、地域のブランディングにも繋がっている。これにより、地域の人の意識が高まり、より良いものづくりや地域づくりへと良質な循環をつくり出せる可能性を秘めていると感じる。



13G110958

地域雇用創造推進事業【淡路はたらくカタチ研究島】

淡路地域雇用創造推進協議会（兵庫県）

概要：兵庫県の淡路島において、雇用の受け皿の少ない地域の雇用創出を、島の豊かな地域資産を生かした家業・生業レベルの起業のサポートからめざすプロジェクト。それらを実現する主たる方法論として、デザインワークを中心に据えた。雇用創出基盤の充実には、その前段たる継続的な商売繁盛の仕組みをかたちづくる必要があった。それには、潜在的な地域資源をいかに有効に活かすかにかかっているが、本事業では、参加者が持ち込む多様な与件で、商品開発、情報発信、空間整備を同時に考える、いわゆる総合デザインによって具現化しようとしている。

評価：特に目立つ何か、があるわけではない。しかし地域をじっくり見渡すと実は魅力的な素材、人材、技術というものが存在している。それらをもう一度目に見える形で再構築し、一次産業を中心に新たな雇用創出を行うプロジェクトである。ただ地域住民だけではなかなかその魅力を発信することは難しい。そこで本事業では外部のデザイナーを取り入れ、地域の潜在能力を発掘し、新たな価値をデザインによって具現化することに成功している。



13G110960

歴史的登り窯の再生【三津谷煉瓦窯再生プロジェクト】

NPO法人まちづくり喜多方（福島県）＋喜多方煉瓦會（福島県）

概要：喜多方に現存する、地域独特の景観形成に寄与している瓦や煉瓦を生み出して来た、明治中期開業の登り窯が、時代の淘汰に会い、風前の灯火となっていたところを、市民有志の手で、活きた産業遺産として再起を図っているプロジェクト。小学生から90代の高齢者まで、男女を問わず誰でも参加でき、協働によって高度な作業を行いながら、街の中で実際に使用される、質の高い煉瓦を生み出している。フラットなコミュニティでの事業の推進を重視し、五感を駆使した身体機能の回復や、伝統技術の習得と非日常の体験を融合した、教育や観光的視点を持った、市民主導型の地域づくりプロジェクト。

評価：かつて地域独特の景観形成の中心的存在であった登り窯が経済の衰退と共に忘れられようとしていた。有志が集まりもう一度この登り窯と共に地域を元気にしようという運動が起きる。自分たちで苦労して技術を習得しながら、もの作りの難しさ楽しさを習得する。やがてそれを販売し、活動の糧とするまでになる。地域の魅力は地域ならではの素材と技であり、その継続が歴史をつくる。忘れかけた本質を改めて思い起こさせてくれた取り組みである。



13G110969

持続可能なライフスタイルデザイン手法【90歳ヒアリングを生かした街づくり：90歳ヒアリングについて】

NPOサステナブルソリューションズ（宮城県）

概要：現在の90歳は「連綿と日本に受け継がれてきた、自然と共に生きる暮らしを覚えている世代」です。つまり環境負荷が現在の半分以下だった戦前に成人しました。この90歳前後の高齢者に当時の暮らしについて聞き、ライフスタイルのヒントを得ます。過去の生活にあり今の暮らしにないものに着目。経済発展の過程で失われたものや失われつつあるものを探し出し現代版に焼き直し、新しいライフスタイルを創り出します。昔に戻るのではなく、何気ない昔話に隠された生活のヒントを掘り起こし、先人から伝承されてきた知恵、地域の文化や暮らし方から、現代の社会でも受け入れられる新しいライフスタイルや被災地を含めたまちづくりをデザインします。

評価：戦前の日本の暮らしの知恵をアーカイブし未来の生活文化向上に活かそうというプロジェクト。利便性や生産性を追求しがちな世の中で、日本の“もったいない文化”や、必然として受け継がれていたサステナブルな考えを過去の産物に止めず、大切な日本の財産としてとらえ、継続的な仕組みとして活かそうとするアイデアは魅力的。集められた情報は出版やWEB上でのデータベースに留まらず、そのアウトプットとして未来との関わりを増やし続けてほしい。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G120990

ウェブサイト [Perfume "Global Site Project"]

株式会社ライゾマティクス（東京都）＋株式会社アミューズ（東京都）＋ユニバーサル ミュージック合同会社（東京都）

概要：Perfumeの世界デビューを記念し、ファンとクリエイターの手によって世界へ羽ばたくという一貫したコンセプトのもと、ティザーサイト、オープンソースプロジェクト、そしてPerfumeメンバー本人たちによるライブパフォーマンスまでを包括した大プロジェクト。本企画用のオリジナル楽曲データと3人のモーションキャプチャデータ、そしてデータを扱うための機能拡張、エグザンプルのコードをフリーで配布し二次創作を促した。Perfumeのアイドル的な要素ではなく音楽や振付けの面白さをPerfumeを支えるクリエイターやファンがビジュアライズし、世界各国からヴァリエーションに富む600以上のプロジェクトが生まれた。

評価：Perfumeはこれまでもメディアアートの技術と表現の融合において先駆的だったが、Perfumeが世界デビューするにあたり、Perfumeの踊りのモーションキャプチャデータを自由に使っていいライセンスで一般に公開した。これによって、さまざまなユーザが自分独自の表現による動画を公開するようになった。この多彩で多様な表現はあまりに魅力的であり、ダンスパフォーマンスの3D CGによる再現という表現の世界が一夜にして誕生したに等しい。ユーザーコミュニティの形成が時代を超える表現へとつながった事例であり、高く評価したい。



13G120995

ウェブサイト [Airbnb（エアビーアンドビー）]

エアビーアンドビー（海外）

概要：Airbnb（エアビーアンドビー）は、現在は世界192カ国34,000都市で、アパート・別荘・お城・島などのユニークなスペースを簡単に貸出登録／宿泊予約できるウェブサイト＆モバイルアプリです。Airbnbが予約および支払プロセスをお手伝いすることで、ホストは簡単かつ安全に空部屋を収益化でき、ゲストは「暮らすように旅をしよう」をモットーに普通のホテルとは一味違った宿泊体験ができます。ユーザー間のレビュー評価制度・ID認証・SNSコネクト・ホスト保証制度等により、ユーザーは安全・安心にサービスを利用することが出来ます。

評価：Airbnbは、余っている部屋のマッチングサービスである。自分がどこかに旅行するときAirbnbに登録されている部屋に宿泊すると、通常よりも安い値段で宿泊できるし、場合によってはその宿のホストと交流できる。また逆に、自分の家に余っている部屋があって誰か泊めてあげてもいい場合には、このAirbnbに登録してホストになれる。このようなシステムだとトラブルがないかが不安になるが、宿泊する側・提供する側が互いに評価する仕組みとなっており、トラブルも起こりにくい。世界中で利用されてきたAirbnbが日本で本格展開するとのことで、今後の展開を期待している。



13G121003

タブレット端末向け手書きアプリケーション [東芝 REGZA Tablet AT703/TruNote（アプリ名称）]

株式会社東芝（東京都）

概要：机に広げたノートに書くように、直感的な操作でノートが取れる画面構成。手書き入力時は、ペンモードと手入力モードを頻繁に切り替えることなく、それぞれの入力特性に配慮し、各入力に最適化したUser Experienceを提供。書き心地とデジタル化の利便性を両立させ、アイデアをすぐ形にできる。ノートを超越する手書きデバイス+サービス。

評価：既存のペンインタフェースのデバイスとは一線を画す書き心地の良さは特筆すべき。ペンセンシングや描画のアルゴリズムなどが最適化されており、その基本性能の良さが全体のユーザビリティを向上させている。



13G121005

家計簿アプリ [Zaim]

株式会社Zaim（東京都）

概要：家計簿 Zaim は、革新的なデザインで分かりやすく続けやすい無料・簡単なオンライン家計簿アプリの決定版。テレビや新聞、雑誌に多数掲載。節約に役立ち、ひとりでも皆でも楽しく使える家計簿で、予算も設定でき貯金管理もかんたん。よく行くお店の特売情報をお知らせする機能など、お金を節約できる工夫がたくさんあります。レシートをカメラで撮影して家計簿へ自動的に読み取る機能も無料でついています。自分と似た人と家計簿の統計データと自分の家計簿を比べられるなど、ほかにはないユニークな機能も満載。

評価：カメラでレシートを自動認識する機構が秀逸。NFC対応など最近のスマートフォンの機能をいち早く取り込んでおり先端的である一方、ユーザインタフェースも細かなところまで気が配られており精度が高い。スマートフォンによる家計簿管理アプリとして完成度が高い。



13G121007

Google マップ [Google マップ]

グーグル株式会社（東京都）

概要：世界中の多くの国を網羅した豊富で正確な情報と、シンプルなUIを新しく採用することで、店舗・場所の検索、車、公共交通機関、徒歩を統合した経路検索、そして目的地へのナビゲーションを行う総合モバイル地図アプリケーションです。世界中どこでも利用できることを目標にグローバルな視点で設計されたUIは、店舗情報等をまとめた情報シートに電話番号、レビュー、ストリートビューや写真を一覧で表示し、ユーザーが行きたい場所を見つけ、そこへ辿り着くまでの経路をサポートします。現在、世界40カ国以上、29の言語に対応。公開後48時間以内に1000万ダウンロードを記録し、ユーザーの日々の活動を支えています。

評価：広く普及している地図アプリケーションであるが、ナビゲーションや検索のユーザインタフェースが大幅に改善されるなど着実に進化している。携帯電話の画面という限られた領域を効果的に使うための工夫が成されており、地図と情報を同時にみる際などの利便性が向上している。国ごとのこまやかなカスタマイズがなされている。細部までよく吟味されユーザ視点に立った優れたインタラクションデザインである。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G121023

Smart TV Interface [NetCast 4.0]

LG Electronics, Inc. (Korea)

概要：This Smart TV Interface was designed to facilitate users to use smart functions as conveniently as possible. Users not good at using the menu can operate TV by talking to TV through the detection of natural voice. This is a smart function that anybody can easily use. By using the magic remote-controller, the screen can be controlled fast like using a computer mouse. A lot of contents can be searched fast and conveniently with the use of wheel of the remote-controller. Home Dashboard, the core screen of Smart TV, is in a Card Type, which enables users to understand the structure at a glance.

評価：スマートTVで目的のコンテンツに到達するには、複数のサーチ方法が用意されているとありがたい。しかしながら、それらのデザイン的一貫性は容易ではない。このインタラクションデザインは、馴染み深いリモコンを使いながら、それをジェスチャーや音声認識インタフェースなどのためのツールとして扱っており、違和感なく操作が行える。シンプルで明解な画面メニューデザインとも相まって、スマートTVというやや難解な印象を与えがちな新しい機器への距離感を、デザインの力で縮めている。



13G121053

電子楽器 [回路図公開によるオープンなコミュニティ形成]

株式会社コルグ（東京都）

概要：アナログ・シンセサイザー製品の回路図を公式ウェブサイト上で公開。単に楽器として演奏するだけでなく、ユーザー自身が内部を研究したり、自分好みに改造できる環境を作りました。それによって、シンセサイザーの楽しさや喜びをより深くユーザーに感じ取ってもらい、またユーザー間でオリジナルの改造品を発表・共有しあうというコミュニケーションの場を提供。オープンなコミュニティ形成につながりました。

評価：ものづくりの世界で、自作楽器は根強い人気がある。またパーソナルファブリケーションの潮流の中、独自のものづくりをする人が増えている。そんな中、コルグ社はこれまでに市販品として発売してきた自社のアナログ・シンセサイザー製品の回路図を公式ウェブサイト上で一般に公開した。これにより電子回路を作れる人であれば、商品と同じ楽器を自分で組み立てられることになる。自分独自の改良を加えて公開できるため、楽器を中心としたオープンなユーザーコミュニティを形成されつつある。企業を出発点としたユーザー間のコミュニケーションの場を提供する先駆的な事例といえる。



13G121058

官民協働によるコミュニティガーデン活動 [官民協働によるコミュニティガーデン活動]

伊藤忠都市開発株式会社（東京都）

概要：江東区の「シティ・イン・ザ・グリーン」理念の下、伊藤忠都市開発株式会社と株式会社コスモスイニシアがマンション建設に伴う地域貢献、都市緑化推進及び新旧住民交流・コミュニティ形成を目的に、建設地隣接の江東区立亀戸七丁目南公園において『コミュニティガーデン活動』を推進。公園を管理する江東区了承の下、公園美化を目的とした近隣住民参加のワークショップを開催し、ワークショップ内容に基づく改修工事を実施。工事完了後、区民団体による公園維持管理活動（総勢約177名参加）を約一年に亘りサポートし、平成24年12月「コミュニティガーデン」が結成。東京都で初の官民協働による「コミュニティガーデンづくり」となった。

評価：緑化を重要視する開発は、現代において頻繁に見られる。緑化の本質的な目的とは、より良い地域生活の創造であり、そのプロセスにも利用価値を見いだすことができる。公園の緑化を庭作りとして設定。マンションの新規住民と近隣住民が協力して創り上げることによって、地域のコミュニケーションを促進する。『コミュニティガーデン』活動はその着眼点を現実化するために様々なアプローチを行った。長期的な緑化推進理念を持つ江東区との協議を重ねることで、推進体制を確立することに成功。そして主役となる住民に活動のコンセプトが正確に伝わるよう、ワークショップを複数回開催した。結果『自ら創り上げていく』という当事者意識が喚起され、官民協働による『コミュニティガーデンづくり』は現実のものとなった。行政と住民の間にあった隔たりを解消するノウハウ、地域に貢献するプログラムの先駆けとして高く評価する。



13G121060

レストラン [NARISAWA]

有限会社レ・クレアション・ド・ナリサワ（東京都）

概要：日本には、草花のたたずまい、鳥のさえずり、風の行方、月の満ち欠けなどに移りゆく時を感じ取り、また時の流れに身を任すように、四季の喜びをいとおしむ習慣があります。自然の中に身を置くことで、そこにある「兆（きざ）し」や「盛（さか）り」そして「名残（なご）り」を見つけるのです。どの瞬間も美しく、そして美しさの中に切なさを持ち合わせた、日本の四季。万物に神が宿ると信じる、日本人の心を以って、素材の生み出す背景を、真の心で護らなくてはならない。そしてこの自然の風景を、人の為に人の手によって絶たれた生命を、もう一度お皿の上に蘇らせる、これがNARISAWAのスタイルです。

評価：独創的かつ斬新な料理群である。しかし決して奇をてらっているわけではなく、見た目の美しさや演出と料理本来の美味しさを高い次元でバランスさせている。むしろ日本の田舎を訪れたときの郷愁を感じる。国内のすぐれた食材を探求し提供する仕組みを構築している点も素晴らしい。料理を「デザイン」として考える際の今後の規範となりえる。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G131063

Digital Font [Arphic Infinity Font-UDJingXiHei] [Arphic Infinity Font- AR UDJingXiHei]
Arphic Technology (Taiwan)

概要：AR UDJingXiHei is the first member of Arphic Infinity Font, based on universal design principles, it encompasses English/European, Japanese, Traditional Chinese and Simplified Chinese fonts. Thai, Arabic and Hindi fonts will also be added. There will be an AR UDJingXiHei Global Font in the future. AR UDJingXiHei applies to the text display and meets high-quality reading demands in print. AR UDJingXiHei includes a font family with 15 different weights from medium to heavy. It accommodates screen displays under different resolutions and brightness.

評価：Arphic Infinity Fontは一個字體系統的設計。它通過字體自帶Font Engine 的形式，開創了一種全新的模式。而這個獨創的Engine技術，只需要一組字型資料，透過調整字型筆劃粗細值，可產出256*256=65536種不同粗細變化的字型。且只需一個設置，就可以令不同語言種類的文字以同樣的粗細顯示。由於它資料量小，可以應用於各類移動電子產品上。使用起來十分便利。不侷限於既有框架，回歸問題本質的溯源設計，更有很好的延展性，未來發展前途無限。



13G131068

楽天スマートペイ [楽天スマートペイ]

楽天株式会社（東京都）

概要：2012年12月にローンチした、スマホのイヤホンジャックに小さな端末を挿入することでスマートフォンがクレジットカードリーダーとなるサービス。カードリーダーを無料で提供するキャンペーンを実施中であり(安い)、申込みから3営業日での利用開始(早い)、入金サイクルも翌日(便利)の3拍子がそろった、革新的サービス。これまでクレジットカード決済未導入の中小規模の事業者のニーズに応え、事業も順調に成長中。

評価：楽天スマートペイはスマートフォンでのクレジットカード決済を可能とするプロダクト・サービスプラットフォームだ。これまでクレジットカード端末を置くことができず、現金決済しか提供できていなかった小規模店舗や個人事業主にクレジット決済の道を開いた。スマートフォンのイヤホンジャックに小型のカード読取機を挿入することで使用可能となるハードウェアの仕組みも、現代のネットワーク時代ならではの構成である。この分野ではSquare, PayPal Here, Coineyといった競合サービスがひしめくが、仮想店舗ビジネスとの連動なども含め、リアル・バーチャルの両面から小規模ビジネスの現場における決済インフラを根底から変えてしまう可能性を秘めたサービスとして高く評価したい。



13G131071

POS用スキャナシステム [スマート マルチ イメージャー/IS-910T]

東芝テック株式会社（東京都）

概要：店舗の食品フロアにおける会計カウンターに設置される決済用商品登録スキャナ。従来のバーコードだけを読む『レーザ光学式バーコードスキャナ』とは異なり、カメラにより青果等の色や模様を認識し読取る『画像処理式スキャナ』。商品をかざすだけで認識して読取るため、初心者のお店員でも迷わず登録作業が可能。また、値引きラベルやクーポンなども読み取り可能。さらに今までは不可能だった複数バーコードの同時読取りも可能となり、決済スピードの大幅UPを実現。決済作業店員の作業負荷軽減と、お客の待ち時間短縮、O2Oサービスへの応用など、店舗側・買い物客側双方にメリットのある決済を実現するスキャニングシステム。

評価：バーコードを用いずに、商品の画像を学習させることで、その色や模様を認識して価格などの情報とリンクさせることができるスキャナシステムである。登録作業もシンプルで、従来のバーコードとの併用だけでなく、値引きラベルや携帯クーポンなどとの連動も可能なハイブリッドな柔軟性を有している。将来はパッケージレスの商品の可能性や、ラッピングなどが不要になることによる環境負荷の低減、商品だけでなくユーザーも認識することによるパーソナル・マーケティング、読取装置の自由な配置による新たな店舗演出など、単なる会計決済システムの枠を越えた可能性がある。そのためにも、認識機能や学習機能の向上といった技術的な洗練だけでなく、従来のレジ機器の概念を越えたインパクトを生み出すことができる、トータルシステムとしての製品デザインを求めたい。



13G131075

ストアーズ・ドット・ジェービー [ストアーズ・ドット・ジェービー]

株式会社ブラケット（東京都）

概要：『STORES.jp (ストアーズ・ドット・ジェービー)』は、ウェブサイト制作の知識を全くお持ちでない方でも、簡単にオンラインストアをつくることのできるサービスです。新規登録から開業までに要する時間は最短2分。デザインテンプレートを活用して、オリジナリティあふれるストアデザインが可能で、誰でも気軽に世界でひとつだけのオンラインストアをオープンできます。開設・運営に必要なオーダー受付の仕組みや決済機能などは既に実装済みで、専門知識も予算も一切ありません。リリースから1年経過した現在、ストアの総数は5万店を超えており、多くのお客様にご活用いただいております。

評価：STORES.jpは誰でも簡単にWEB上にオンラインストアを立ち上げることができるサービスだ。よく整理されたインタフェースに沿って入力していくだけで、簡単に商品の出品を行うことができる。ストアサイトのデザインについても手軽なカスタマイズが可能となっている。クオリティの高いテンプレートを多数備え、それらの自由に組み合わせによって、オリジナリティのあるサイトに仕立てることができるのだ。STORES.jpは、これまで専門知識やノウハウが必要であったオンラインストアの開設を、手軽なものへと変えてしまった。ストアの総数も5万店を超えており、普及度という観点でも評価できる。オンラインコマースという新しいマーケットエリアの裾野の拡大に大きく寄与することが期待できる。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G131078

リマーケティングビジネス [モノ：ファクトリー]

株式会社ナカダイ（東京都）

概要：搬入量50 t/日超、リサイクル率95%を超す廃棄物処分業者です。2011年、“発想はモノから生まれる”をコンセプトに、“モノ：ファクトリー”をオープンしました。廃棄物を丁寧に分別し、元は何だったかという“マテリアルプロフィール”を表示して種類ごとに並べた“マテリアルライブラリー”と、自由に選んで工作したり、パソコンなどを解体できるワークショップスペース、様々なジャンルの作品を販売するショップを併設しています。多様な“使い方”を創造、提示することで、人々の“捨て方”そのものをデザインし、“モノ”の新しい価値と流れを生み出す“リマーケティングビジネス”を展開しています。

評価：東京大学元総長の吉川弘之は、今から20年前に、廃棄物から資源を生産する工学的手段としての「逆工場（インバース・マニファクチャリング）」という概念を提唱した。この概念を、1日50トンを超える廃棄物の丁寧な分別作業と、ユーザーのエモーションに訴えるデザイン力によって、はからずも実現させてしまったのが、産廃業者ナカダイの「モノ：ファクトリー」である。製品が廃棄されることでジャンルの壁が瓦解し、展示販売されるマテリアルの領域横断性が、ユーザーのクリエイティビティを刺激する。マテリアルの履歴を表示しライブラリ化することで、機能や形態だけでなく、「物語」に根差したデザインが可能になることにも着目したい。ワークショップなど、社会に開かれた活動を積極的に行っており、従来の産廃業者のイメージを一変させた、業界のイノベーターとしての役割も高く評価する。



13G131079

次世代産業用ロボット [NEXTAGE（ネクステージ）]

川田工業株式会社（東京都）

概要：NEXTAGEは、ヒトと共存する環境で作業することを目標にデザインされた次世代の汎用のヒト型ロボットです。全15の可動軸を80W以下の省出力にしているため、ヒトが近くにいるような環境でも適切なリスクアセスメントにより作業が可能です。頭部と手先に備えたカメラを利用して周囲の環境や作業対象の位置決めをしながら作業することにより、変種変量生産で課題となる工程の変更や工程間の移動などに柔軟に対応することができます。NEXTAGEの導入により、ヒトは単純な繰り返し作業から解放され、より高度な作業だけでなく工程管理やカイゼン活動など付加価値を生み出す創造力の必要な分野に力を注げるようになります。

評価：製造現場に導入されているロボットといえば、流れ作業のライン上に配置されたロボットアームが主流だが、NEXTAGEは流れ作業ではなくセル方式の生産現場に適応するために考案された新しいコンセプトのロボットだ。NEXTAGEは人間を模した上半身の構造を備え、本来、人間が立って作業をするセルの中に設置される。ヒューマノイドロボットのデザインにおいては、「それがなぜヒト型である必要があるのか」という部分が常に問われるが、NEXTAGEにおいてはその理由が非常に明快である。セルのサイズや部品配置などは人間の体の寸法に合わせて作られているから、それに適応するためにはヒト型の形状が都合がよいのだ。NEXTAGEは、変種変量生産における効率化という製造業が避けることのできない課題を、ヒト型ロボットというアプローチで解決している。



13G131099

ネスカフェ アンバサダー [ネスカフェ アンバサダー]

ネスレ日本株式会社（兵庫県）

概要：

評価：アンバサダー（大使）に応募した人のオフィスに、インスタントコーヒーに手間をかける逆転の発想のマシン「ネスカフェバリスタ」を無償で提供することで、職場のコミュニケーションを活性化させるサービスを提供する。コーヒーで人が集まっている様子をネットに投稿したり、送られてくるアンケートに答えることで、より大きなコミュニティの中にいることを、最初に実感させてくれる。バリスタが無償であることより、アンバサダーという役割をつくることで、チームの継続に不可欠なリーダーを明確にしているところがポイントだ。コーヒー一杯あたりの価格表とさりげなく代金を徴収できる貯金箱が一緒に送られてくることや、電話や郵便によるコンタクト、利用が停滞した時のアドバイザーを用意していることなど、細やかな日本の配慮がメンバー心をくすぐる、価格や利便性を越えたユニークなビジネスモデルである。



13G131100

IMF/世界銀行総会日本開催フォント [国際通貨基金（IMF）/世界銀行 総会 日本開催会議運営フォントシステム]

株式会社電通（東京都）

概要：IMF/世銀総会は、188カ国から1万人以上が参加する世界最大級の国際会議。2012年は予定地エジプトから急遽変更され、48年ぶりに日本開催となった。日本サイドの運営コンセプトを「New solidarity, new start. 一世界の絆を結び、世界経済の再出発の会議を、絆の国日本で。」とし、「①円滑に会議を運営すること」「②日本独自の精神や震災から復興する姿を参加者や世界へ伝えること」を通じて、日本のレビュテーションを上げることが課題となった。その解決の中心として、日本古来の折り形（おりがた）をアレンジした日本独自の会議用フォントシステムを開発。会議全体をデザインし、成功へ導いた。

評価：1万人規模の国際会議のコミュニケーションデザインとして優れている。日本古来からの折り形を現代的にアレンジし、統一的なデザインシステムとしてあらゆるツールやサイン・演出に展開することで、日本の文化性、東日本大震災から復興しようとする日本の姿など、様々な意味性を伝えることに成功している。ややもすると会議の運営の中で、このようなデザインの整備や演出は二の次になることが多いが、真摯に取り組み、実現しているところが素晴らしい。“紙を折る”のは日本の文化の代表的なものだが、折り紙ではなく平安時代から贈りもののカタチとして続いてきた折り形をコアのアイデアにしたところにオリジナリティーがある。折り形の持つ融和や相手を思う心が、海外の方々へのおもてなしの心につながっている。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G131101

キャラクターを活用した地域プロモーション【くまモン】

熊本県（熊本県）

概要：「くまモン」は、九州新幹線前線開業を契機に身近にある驚くべき魅力を再発見し、伝えていこうという「くまもとサプライズ」キャンペーンのキャラクターとして生まれました。くまモン隊を組織し、全国各地でプロモーションを展開。さらには海外でも熊本をPRしています。また、イラストを多くの民間企業の方々に無償で利用してもらうことで、全国で関連商品が販売され、熊本のPRに繋がりました。これからくまモンが「幸せの象徴」として末永く愛されるよう「くまもとサプライズ」を基本にプロモーションを展開していきます。

評価：国民的な人気を博しているくまモンであるが、まず使用希望の企業に対して、使用ガイドラインのハードルを下げ、ライセンス料を徴収しないというフリーカルチャーとも通じるオープンな仕組みを評価したい。そしてくまモン自体も、ゆるキャラという範疇には収まらないキャラクターの高い完成度、その背景にあるストーリーの周到な紡ぎ方、展開における全体のクオリティ管理、地域振興でありながら、熊本を全面に出し過ぎないという考え方など、多くの優れたアイデアやデザインの集積がある。これらのブランディングの結果、関連グッズの売上も300億近いという大きな経済効果と熊本県の観光や地域振興の促進においても大きな成果を生み、キャラクターを中心とした地域の取り組みとして革新的なモデルとなっている。



13G131103

燕三条「畑の朝カフェ」【燕三条「畑の朝カフェ」】

一般財団法人燕三条地場産業振興センター（新潟県）

概要：燕三条「畑の朝カフェ」は、田畑のロケーションを活用した農園体験型カフェ。地域の果樹園、畑、ハーブ園などを会場に農園まるごとの魅力を感じてもらおうと生産者自らが企画を練り、採れたて野菜や果樹を使った食事や畑仕事のミニ体験など会場ごとのメニューを提供する。今まで10回の開催に3000名以上の応募があるが、生産者とのふれあいを大切にしたいという思いから定員制とし、全国からその約1割が参加。参加者の満足度は高く、人気は回を重ねるたびに広がりを見せる。また、朝カフェを応援したいとの声でサポータークラブ「朝カフェ倶楽部」も立ち上がった。会員中心に魅力の発信の連鎖が広がり、地域の活性化にも繋がっている。

評価：燕三条の魅力ある農・商・工の異業種が連携した地域活性化プロジェクト。県外からもこのために足を運ぶ人が多く、単なる観光ではなく参加者が体験しに来るという点が今日的で新鮮である。また、カフェ開催場所はぶどう畑やそば畑など毎回変化のあるところも、リピーターを集める魅力であろう。場の潜在力を活かした、これまでにない文化的な農業へのビジネスモデル転換の可能性が感じられる。



13G141115

医療用3D臓器シミュレーター【心臓シミュレーター・プロジェクト】

株式会社クロスエフェクト（京都府）

概要：CTデータを用いた、医療・教育機関向け3D精密臓器モデル群。教育訓練用スタンダードモデルと冠動脈吻合トレーニング用の拍動型心臓シミュレーター及び患者個体ごとのオーダーメイド心臓シミュレーター。心臓内腔の再現性は世界トップクラスのクオリティを誇る。外科手術の現場では、短時間に手術を完了する必要があり、難易度の高さと相まって熟練執刀医に施術が集中する傾向にあります。よって精度の高い心臓シミュレーターの開発は、若手人材育成の面からも求められつつあり、より再現性の高いモデルで模擬手術を繰り返す事で若手医師により多くの成長の場を提供出来ると考えています。

評価：CTスキャンのデータから1週間で精緻な複製モデルを仕上げ、外科手術のシミュレーションを可能にする医療向けサービス。心臓内腔の再現性が高く、一人ひとりの臓器の大きさや形状を正確に把握できる。また鼓動を再現する「拍動型心臓シミュレーター」と連動させることで、本物の心臓が縮んだり膨らんだりする動きが再現されるため、模擬手術に用いるなど新しい外科手術のトレーニング手法として活用が期待される。医療というやり直しが効かない領域での、貴重なイノベーションである。



13G141118

医薬品【錠剤への印字技術】[IDTAB技術：OD錠を含めたすべての錠剤への直接印字を可能にした技術]

大塚製薬株式会社（東京都）

概要：IDTAB技術は、これまで困難であった口腔内崩壊錠（OD錠）への印字を可能にした世界で初めての技術です。これにより、ほぼすべての錠剤への直接印字が可能となりました。直接印字された錠剤は、包装から取り出し後も高い識別性があり、医療現場や薬局における錠剤の取り間違い防止や監査ミスの改善に大きく貢献しています。また、錠剤に直接製品名を印字することで、患者や家族が服薬する薬を自身で認識できることで、アドヒアランスを改善し、治療への積極的な参加を支援しています。

評価：シンプルだが極めて有効な問題解決である。錠剤の取り間違いによる事故発生は大きな問題。これまで、コーティングしていない錠剤（特に口腔内崩壊錠：OD錠）には印字が困難であり、錠剤へ直接印字ができず、そのために錠剤の識別性が確保できなかった。この問題に対して、非接触のインクジェット印刷技術を開発して、錠剤への薬剤名の直接印字を可能にしたことは画期的である。この錠剤印字技術が世界標準となり、医薬品業界全体に広く普及することが期待される。

2013年度グッドデザイン賞 Best100（金賞候補）



13G141130

こどものためのワークショップ博覧会【ワークショップコレクション】

NPO法人CANVAS（東京都）

概要：ワークショップコレクションは、こども向けのクリエイティブ・ワークショップの全国普及と発展を目的とし、全国に点在する子どもたちの創造的な学びの場としての「ワークショップ」を一同に集め、一般へ広く紹介するプラットフォームであり、大規模な博覧会です。ワークショップコレクションは、こども向け「ワークショップ」の“祭典”として、全国各地でこども向けワークショップを実施している方々の発表／交流の場所となり、それらワークショップに参加／体験をすることもたちの集まる場所となります。

評価：ワークショップは教育界だけでなく幅広い世界での時代のキーワードだ。本企画は、「ワークショップ」という存在を広く世間に認知させ、更には、日本の「ワークショップ」のクオリティを上げる効果もあるものとなっている。わが国のこども教育の新しい流れとしてこのワークショップコレクションという仕組みを高く評価した。



13G141146

デジタルアーカイブ【東日本大震災アーカイブ】

首都大学東京 渡邊英徳研究室（東京都）＋宮城大学 中田千彦研究室（宮城県）

概要：「東日本大震災アーカイブ」は、震災の被害状況を可視化し、災害の実相を世界につたえる多元的デジタルアーカイブズです。被災地の写真、被災者証言、ツイートなどを一元化し、デジタル地球儀上で俯瞰することができます。またスマートフォン用ARアプリによって、過去の被災状況を現実空間に重ねてみることができます。さらに、震災後に蓄積されたビッグデータを活用し、当時の状況を可視化する試みも行なっています。まず、福島原発事故における放射性ヨウ素の拡散状況を、複数のシミュレーションデータを重畳することで可視化するプロジェクト。そして、東日本大震災発生後24時間の間における報道空白域を可視化するプロジェクトです。

評価：ネット社会に多く分散して存在する様々な震災の記録。その記録を記憶するために必要なアーカイブ。それは次世代へ災害からの教訓を伝えるために必要なものである。本企画は、震災アーカイブとして多くのデータを集め、そして多くの人々に見せるシステムとして表現力、技術力を持ち、同時に世界に類のない先進性を有し、評価された。



13G141148

新興国向け小型浄水装置【ヤマハクリーンウォーターシステム】

ヤマハ発動機株式会社（静岡県）

概要：飲用水不足に悩む新興国の人々への、緩速ろ過という自然界の水浄化機能をベースに現代に適合させた浄水システム。1日8千ℓのWHO基準をみたく浄水が可能。水の移動に重力を利用することで電力消費は低く抑え（4kWh/日）、従来の浄水設備では必須のフィルター交換や専門技術者によるメンテナンスを無くし、新興国の住民自ら運営ができるシンプルな構造と、清潔感や信頼感を感じてもらえるような色使いとした。きれいに浄水された水が人々の衛生概念を向上させ、下痢や発熱など病気が大幅に減少。水汲み労働から解放され生産・学習活動へ転換、水配達や洗浄・製氷などの新ビジネスによる村落開発など、暮らしに様々な変化が起こっている。

評価：生活に欠かすことのできない「安全な水」を新興国において確保する取り組みであり、日本企業の国際貢献活動の模範として高く評価した。特に評価できたことは、電力を極力使わず重力を利用した原理的な濾過システムであり、現地の人によるメンテナンスを可能としている点は、新興国の事情を理解したシステムデザインとして秀逸である。また衛生面の維持に貢献しながらも、女性や子どもたちを労働から解放する点などは、技術先進国の生活的価値を提供する支援であり、日本のデザインの未来を示す取り組みである。



13G141163

図書館【武雄市図書館・歴史資料館】

武雄市（佐賀県）＋カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（東京都）

概要：武雄市図書館は、“図書館を中心とした市民生活の提案”という市民の新たなライフスタイルをデザインする「新・図書館構想」を実現した。資料収蔵や図書貸出の場といった従来の図書館像にしばられず、図書館、書店、カフェが一体的に融合することで、コーヒーを味わいながら館内の本を自由に読み、勉強も仕事も会話もできるなど、様々なライフスタイル・ステージの市民にとって居心地の良い場と新たなコミュニティを創出している。また、それらは、従来の行政主導や民間企業お任せではなく、官と民が本質的に連携し、企画段階から本の搬出・搬入などの開館準備、市民への説明、オープン後の現在に至るまでのプロセスを共有することで実現した。

評価：公共サービスは所詮このレベルである、という常識をひっくり返す事例が生まれた。それが佐賀県武雄市とカルチュア・コンビニエンス・クラブの連携で実現した「武雄市図書館」である。図書館という伝統的で保守的な領域において、本の面白さを伝えるという原点に立ち返り、探しやすさ、読みやすさ、利用しやすさを官民連携で徹底的に追及している。その結果、2013年4月1日のリニューアルオープン以来、来館者数は前年比4倍増、図書貸出冊数も倍増という成果をあげている。本離れが進んでいる現代において、地域の文化度を高める大切な役割を担っており、公共と民間の連携に大きな可能性を感じさせる。

2013年度グッドデザイン賞 グッドデザイン金賞



13G010045

防災用折り畳み式ヘルメット [No100 ブルーム]

東洋物産工業株式会社（兵庫県）

概要：災害発生の避難時に使用する防災用折りたたみヘルメットです。通常は折りたたんでコンパクトなスペースで収納出来、使用時にはヒモを引くだけでヘルメットの形状に組み立てることが出来ます。災害発生に備えた緊急避難用品の一つとしてヘルメットは欠かせないアイテムになっています。しかし、通常のヘルメットサイズでは家庭、オフィス、各企業、学校等で保管する際に大きなスペースを必要とします。この折りたたみヘルメットはコンパクトなサイズに折りたためるのでコンパクトなスペースで収納が可能です。そして、使用時には通常のヘルメットと同じ様な球体形状に組み立てる事が出来るので、装着感も抜群です。

評価：防災用ヘルメットの収納スペースという課題に対し、現時においてベストな設計がされている。折りたたみ式ヘルメットのアイディア自体は先行する製品があるが、それを踏まえてもこの完成度は十分に評価に値する。組み立てはヒモを引っ張るだけというシンプルさで使いやすく、通常のヘルメットに近い形状で装着感も良く、安全性も高い。



13G010096

松葉杖 [ドライカーボン松葉杖]

株式会社メディカルチャープラス（東京都）

概要：ドライカーボン（CFRP）を使用した世界最軽量の松葉杖。オートクレーブ成形したことにより、約310gと驚異的な軽量化と高強度を実現することで、体への負担を軽減し、より快適な暮らしを可能とした。今まで規定されたデザイン、色、素材しか市場に出回っていなかった松葉杖の固定概念を崩し、仕方なく使う歩行補助器具ではなく、従来置き去りにされてきたユーザーの所有欲を満たし、佇まいが美しく見えるプロダクトを目指した。アルミ部分は、アルマイト加工により、利用者の選択する色彩にレディメードでカスタマイズすることができる。またユーザーの身長に合わせて、脇下から手までの長さ、全長をカスタマイズする事が可能。

評価：ドライカーボンの特徴を巧みに使用して、スタイリッシュでミニマルな佇まいを実現している。一般的な松葉杖は、使用期間が短期であることが多く、病院等で貸し出す状況が多いため、アジャスト機構が不可欠で形状を複雑に見せているが、この松葉杖は個人所有を想定し、質の高いデザイン性で所有する喜びとQOLの向上に繋がるとしている。デザイン性が乏しい医療補助用具の中で新しい視点に立った積極的なアプローチを評価した。



13G010139

サイレントプラス [サイレントプラス SB7X / SB5X / SB3X]

ヤマハ株式会社（静岡県）

概要：場所や時間を選ばずに練習や演奏を可能にする、ピックアップミュート™（消音器）とパーソナルスタジオ™（電源と信号処理）からなる金管楽器用消音システム。消音性能はもちろん、ヘッドフォンやPAで聴く際は、独自の信号処理技術により臨場感を高め、心地よい響きを実現する。ユニークな形状のピックアップミュート™は、演奏音をささやき声程度に軽減し、また、トランペット・フリューゲルホルン・トロンボーン・ホルン用の4種類が揃い、多くの金管楽器演奏者が活用できる。

評価：日本の特殊な住環境での需要から生まれた「サイレントプラスシステム」は、ヤマハが独自に開発した、無音・弱音システム。機能や構造に重点が置かれがちな分野でありながら、デザインにもきっちりと取り組んだ姿勢に評価が集まった。花のような波形の形状にもつかみやさへの工夫がある。また、ヘッドフォンで聞く際の音響の精度を高める独自の信号処理技術への取り組みは、今後の開発の広がりが楽しみである。



13G020264

化粧品 [P.G.C.D. ロシオン エクラ]

株式会社ペー・ジェー・サー・デー・ジャパン（東京都）

概要：西洋的な合理性ではなく、日本的合理性を追求したデザイン。「P.G.C.D. ロシオン エクラ」は3ヶ月サイズの化粧品である。近年PET樹脂が多い化粧品。美しいボトルも使い終わるとゴミになり捨てられるという固定概念があるからだ。わたし達は、使い切るリフィルというアイデアで、サステナブルなガラスボトルをデザインした。壊れず、簡単・便利なデザインは時として人を怠けさせ、本来日本人が大事にしている、「手間」「ひま（時間）」というプロセスの重要性を見失わせる。このデザインの目的は、スキンケアに手間ひまをかけ、美しくなる習慣を手に入れてもらうこと。そのために愛着の湧く使い続けられるボトルをデザインした。

評価：化粧品容器のリフィルという課題には、高額品においても取り組みがなされてきている昨今であるが、衛生上、中身の詰め替えに適さない分野であるだけに、これといった解決策が見られないのが現実であった。ところが、この「P.G.C.D. ロシオン エクラ」は、ボトルをはじめとする容器をすべて残し、中身入りの薄い袋のみを交換するという画期的なシステムで解決にあたっている。ガラスボトルに中の袋をびったり収めるために底蓋を考案したところも出色で、メーカーとデザイナーの強い意志が感じられる。化粧品容器におけるサステナブルなパッケージづくりという課題に対する優れた答えがここにあり、高い評価に値する。

2013年度グッドデザイン賞 グッドデザイン金賞



13G040324

照明器具【陰翳 IN-EI ISSEY MIYAKE】

株式会社三宅デザイン事務所（東京都）

概要：三宅一生が率いるReality Lab.が着想・開発し、アルテミデ社から製品化された「陰翳IN-EI ISSEY MIYAKE」。未来を見据え、環境や資源の問題を始めとする社会の課題に向き合いながらものづくりに取り組むReality Lab.が、「再生素材をいかに魅力的なものとして生かせるか」をテーマの一つに掲げたプロジェクトです。ペットボトル再生繊維から成る不織布に独自の改良を加えてシェードに使用。折りを生かしたシェードは精緻な手仕事で形づくられています。谷崎潤一郎の『陰翳礼讃』にも記される陰翳の濃淡や明かりのニュアンスを大切に、現代の生活空間を照らす光の質を探索しました。

評価：世界の照明デザインの歴史に新たな概念を刻むような現代照明のエポックの製品となっている。日本の伝統文化を背景として生み出された伝統照明の存在を継承し、さらに高度な設計と加工技術によって生み出された製品としての完成度の高さにおいても、服飾の立体造形の設計技術と経験を駆使し、複雑な造形を精度の高い手仕事によって可能とし、彫刻のような美しい光の造形作品として完成させている。また、谷口潤一郎の陰翳礼賛と言う文学的文脈の光と影による陰翳と言う繊細な光のニュアンスを意識して製品の存在に内包するような光の質を探った照明器具として、また単体としての光の美術作品としても高い完成度を実現している。そのような様々な意味で、世界の照明の歴史に新しい照明の在り方の概念を提示した製品となっている。素材は和紙の表情のような再生ポリエステル繊維に改良を加えた生地を開発を行い、表情は柔らかいが、立体にした際の形状保持ができるように適度な固さと和紙のような透明感を備えている。また、立体造形の数理を生かした立体造形の折りたたみ手法によって、竹ヒゴなどの構造体をもつことなくシェードが自立し、フラットに折りたためることやマグネットで灯具とシェードの取り付けも簡単にできるようになる配慮もなされている。そのような点も含めて、照明製品としてだけでなく、服飾デザインの立体造形の美意識や光と影の陰翳が作り出す彫刻作品としての美しさ、そして谷崎文学的文脈になぞらえた詩的な光のニュアンスなど深い思考と様々な方向からのアプローチによるプロセスは、日本の目指すべき物作りを示唆するものとなっている。



13G040327

椅子【HIROSHIMA フォールディングチェア】

株式会社マルニ木工（広島県）

概要：従来の木製家具製品に合わせて使える木製折りたたみ椅子。座り心地が良く、使わない時でも美しい。金具を最小限に抑え、木材の木目、色を揃えて選定し、全体のバランスを大切にした。

評価：必要な時にすぐ使えて、座り心地が良く、立てかけておいても美しく、場所をとらない、強度と耐久性を求められる折りたたみ椅子は従来はスチールパイプなどの金属で作られてきた。木製品によってそのような高い強度や耐久性を克服する製品化へのハードルの高さはメーカーの開発力と製造力、そしてデザイナーの高い設計力が問われる製品開発となる。椅子の使用時と折りたたみ時の背板と座板の構造上の治まりの関係性と意匠上の美しい治まりと強度を保ちながら両立させることは構造と強度確保の上で高い壁であったことが同える。折りたたみ椅子の持つ軽快感を表現する為に計算された各部材の太さと強度の限界を探り、見い出された各部材の限界値とバランスによって強度と美しさがバランス良く担保されている。また、木製で折りたたみ椅子を作る為に必要な強度を確保する為と美しさを実現する為の金属パーツを開発することによって独自の機構と意匠性を実現している。また、椅子としての座り心地としては、3次元成形した背板と座面の適正なサイズと角度の関係性により、折りたたみ椅子とは思えないような快適な座り心地を実現している点も特筆すべき点である。また、左右の脚は木目、色を揃えて選定されており、突板をブックマッチで貼り合わせた背板、座板と組み合わせたときの全体の表情のバランスに細やかに配慮されている。また、折りたたむと厚みは13cmになりコンパクトに収納、保管できる点は、製品の使用範囲を広げ、木製折りたたみ椅子の可能性を示唆している。木製折りたたみ椅子と言う新たな概念の創出に加えて、椅子としての座り心地の高さと強度、耐久性を確保した上で実現された意匠性の高さは今後の日本の木工製品の方向性を示唆するものである。



13G050448

フルサイズイメージセンサー搭載カメラ群【デジタルスチルカメラ DSC-RX1、レンズ交換式デジタルカメラ α99、レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダー NEX-VG900】

ソニー株式会社（東京都）

概要：圧倒的な高画質を実現する35mmフルサイズCMOSイメージセンサーと高速画像処理エンジンの組み合わせで、被写体の持つ魅力を最大限に表現するカメラ商品群です。RX1は、ボディと大口径単焦点レンズを一体型で設計し大幅に小型化し、フルサイズ画質カメラの機動性を飛躍的に高めたコンパクトデジタルカメラです。A99は、被写体を3次元的に捉える世界初のデュアルAFセンサーを搭載し、これまで捉えにくかった瞬間をも身近にして作品の幅を広げるデジタル一眼カメラです。VG900は、レンズ交換による表現力の拡張に加え、フルサイズ画質化により動画の魅力を裏打ちする実力を持つデジタルビデオカメラです。

評価：映像の高付加価値戦略を位置づけた本製品シリーズは、フルサイズCMOSセンサーや画像処理エンジンデバイス、さらに独自のレンズ光学技術によって大変コンパクトなボディ設計を実現し、独創的な存在感を出す事に成功している。3製品とも独自の機能性を発揮させたデザインとして終始完結しているが、全体的に「黒に印象的な赤いライン」が入っている事で共通コンセプトの製品である事が伝わる。この赤いラインはUIデザインにも活かされており、デザインによる統一感が生かされている。3製品を同時に評価する事は大変難しかったが、このような「高品質撮影という目的は同じだが機能の違う製品を総合的にコンセプトデザインとして統一する」というチャレンジは評価に値する。

2013年度グッドデザイン賞 グッドデザイン金賞



13G050554

OLED Smart Television [UN55S9C]

Samsung Electronics Co., Ltd. (Korea)

概要："World's first curved OLED TV" The S9C is the world's first mass-produced 55" curved OLED TV. It was created with the aim of featuring an immersive experience through lifelike picture, surround sound system, and circumferential form. This product goes beyond general TV functions, thus delivering new value and experience to consumers.

評価：カーブOLED TVとしての新しさをうまく表現しているデザインである。両サイドに張り出しているフレームは、カーブをスマートに強調しているが決して過度ではない点が評価できる。「湾曲させたパネルを床においてある」という簡単そうで極めて難しデザインを実現していることを賞賛したい。これも新たなテレビを表現する一つの回答である。新しさをうまく表現できているデザインであり、評価できるデザインである。



13G060586

超小型2人乗り電気自動車 [TOYOTA i-ROAD]

トヨタ自動車株式会社 (愛知県)

概要：世界の人々に、近未来への期待と驚き、そしてかつて無い楽しさを提供する新ジャンルパーソナルモビリティ。トヨタが一貫して開発を続けているパーソナルモビリティとして「安全、軽快、コンパクト、繋がる、楽しい」をコンセプトに具現化を目指し、渋滞や駐車スペースなど都市における交通問題の緩和と低炭素社会の実現に貢献する超小型2人乗り電気自動車。取り回しの良いコンパクトな車体と、緻密に電子制御されるアクティブリーニング機構により、誰もが安全に爽快な走りを堪能できる。

評価：トヨタ自動車が10年以上前から開発研究を続けた「パーソナル・ビークル」のひとつの回答である。コンパクトカーの未来が「高度な車椅子」ではないことを示してくれたこのプロトタイプに、多に救われた。後輪は1輪、これがステア（舵取）する。駆動輪となる前輪は2輪だがステアしない代わりに、左右が互い違いに上下スライドする。これによってオートバイのようにリーン（傾斜走行）できる。この機構は前例がない。オートジャイロ機構を備え、ドライバーの体重や走行速度、ハンドルの切り角を瞬時に計算する。ここに、高度電子制御技術なくしてはなし得なかった、ドライビングを楽しむ「能動的モビリティ」が誕生した。まるでモーターボートを操るかのような新感覚だ。前輪が2輪でありながらステアしないためフロント形状はコンパクトでユニークだ。絞られた後輪に重心を置くスタイルも新鮮である。日本で生まれた、モビリティ・デザインの新種に拍手を送りたい。



13G060587

軽自動車 [ダイハツ タント]

ダイハツ工業株式会社 (大阪府)

概要：「驚きの広々空間」で家族みんなの楽しさを追求し、「ママワゴン」として新しいジャンルを切り開いたダイハツタント。子育てファミリーをはじめとする多くの人々がより快活に三代目タントを使っていたただけのように思いを込めてデザインコンセプトは「家族・みんなの元気空間」とし、安全・燃費・走りといった基本性能の進化はもちろん、より大きなキャビン、助手席側ミラクルオーブンドア+運転席側スライドドア、みんなが楽しく使える沢山のユーティリティといったアイテムを加えることによりタントDNAである「広さ」と「使いやすさ」を更に進化させました。

評価：三代目タントは、室内への開口を確保するセンタビラーレスとスライドドアによる抜群の乗降性と室内空間の拡大による使い勝手のよさを追求し、より高い次元で生活の中心にある「軽」のスタンダードモデルを提案している。樹脂パーツの採用による軽量化と空力への配慮による高い燃費性能の達成やスマートアシストの実装による安全性の確保。従前、欧州車のデザインで重視されてきた「走り」、「快適性」、「美しさ」といった価値尺度に対して、日本で生まれた軽というカテゴリーに三代目タントは「横のデザイン」という価値を堂々と体現している。



13G060600

鉄道車両用台車 [efWING]

川崎重工業株式会社 (兵庫県)

概要：鉄道車両の台車フレームの一部をCFRPで製作。更に、コイルバネのサスペンションの役割をCFRP製フレームに持たせ、2つの機能を1つに集約した。航空機で使われる未来の材料カーボンファイバーを、世界に先駆け鉄道車両用台車のCFRP化に成功。その材料特性から大幅な軽量化を達成。それによりエネルギーコストの削減を可能にし、地球が微笑むものづくりを追い求めます。この新型台車efWINGが、日本だけでなく世界の鉄道車両の進化を大きく加速させます。

評価：鉄道車両の次世代型台車である。近年、航空機や自動車に採用されている新素材CFRP（炭素繊維強化プラスチック）を、世界に先駆け鉄道車両台車枠に採用した。フレームの一部と、さらに弓状バネとして構造化することによってサスペンション機能を確保、従来のコイルバネを省略している。これによって安定性能の向上はもとより大幅な軽量化を実現した。一両あたり900kgの軽減は画期的である。CFRPの性能を生かした弓状バネは、視覚的にも新しい台車スタイリングを導いた。一般に鉄道車両は「車体と台車」からなる。これまで、デザインの視点はほとんどが車体にあった。ひとの目に触れにくいとはいえ、足下が鉄道車両の重要部分であることに変わりはない。日本が誇る新素材技術と構造開発によって、高性能で機能的な美しさをもった台車が生まれたことを高く評価したい。この台車が、世界の鉄道車両の足になるならば、鉄道の風景も一気に加速するであろう。

2013年度グッドデザイン賞 グッドデザイン金賞



13G060604

ロケット【イブシロン】

独立行政法人宇宙航空研究開発機構（東京都）

概要：イブシロンロケットは高性能と低コストの両立を目指す新時代の固体燃料ロケット。1段目にはH-IIAロケットの補助ブースタを活用、2・3段目は世界最高性能と謳われたM-Vロケットの上段を改良。日本が世界に誇る固体ロケット技術の集大成であり、この半世紀に蓄積された知恵と技術の全てが込められている。革新技術と既存技術を組み合わせることで信頼性向上・性能向上を同時に実現。組み立てや点検などの運用が効率的なため、頻繁な打ち上げが可能となる。ロケットの打ち上げをもっと手軽なものにし宇宙への敷居を下げる、それがイブシロンロケットの最大の目的である。

評価：ひとを運ぶ乗り物ではない。観測衛星や機器を宇宙空間へ運ぶロケットである。日本には優れた固体燃料ロケット技術があるが、このイブシロン・ロケットの技術開発の目的は明快である。高性能、小型軽量コンパクト、低価格、組み立て、発射準備から解体のプロセスも徹底的に凝縮させることに徹した。ロケットの打上が特別な大仕事でなく「日常の出来事」のようにすることにあった。この観点は、インダストリアルデザインの目途と合致する。この点を多に評価したい。ロケット本体は極めてシンプルである。「宇宙への敷居を下げる（JAXA）」という姿勢は、外観意匠においてさらなる象徴性を必要とするだろう。ならばグラフィックデザインの今後の可能性に期待したい。このイブシロン・ロケットが、モビリティ部門に相応しいかどうか疑問ではあったが、宇宙に「夢」を運ぶ移動員と解せば、ど真ん中なのかもしれない。世界を市場に堂々と戦って欲しい。



13G070691

浮体式潮流・風力ハイブリッド発電【SKWID（スクイッド）】

三井海洋開発株式会社（東京都）

概要：やむとこない潮の流れと強く安定した海風の力。2つの無尽蔵な海洋エネルギーを組み合わせ効率的に電気にかえる、世界初の潮流・風力ハイブリッド発電システムです。発電機を下に配置できるため安定性のよい大型ダリウス風車を、世界初の洋上向け風車として開発。水車には巻貝型のサボニウス水車を採用。これらが上下に連なる機構部は、海中の水車がおもりとなって「起き上がりこぼし」となる設計です。機構部が貫通するドーナツ型の船体は、波の揺れを機構部に伝えないよう、防振ゴムを介して機構部を支えます。低回転の風車と潮流と同じスピードでしか回らない水車は、生態系を脅かさず、見た目にも優しく発電を続けます。

評価：自然エネルギーを用いた発電力の向上は世界の関心事である。当応募対象は、世界初の潮流・風力ハイブリッド発電システムである。本体下部にサボニウス水車、上部に大型ダリウス風車という構成。水中の水車が重りとなって「起き上がりこぼし」となる設計になっている。風車が回転するとコマの要領で安定感が増すため、理にかなった構造と言える。また、機構部が貫通するドーナツ型の船体は、波の揺れを機構部に伝えないよう防振ゴムを介して機構部を支えている。波が高く船体が大きく揺れても風車が全く揺れていない実験映像は非常に説得力があった。発電機を含む全ての稼動部は船体中心部にレイアウトされているため、メンテナンスの際に高所作業や潜水作業などの危険な作業を回避する工夫もある。一般的な陸上型風車は、発電機をモーターとして使って起動するために多くの外部電力を必要とするが、当応募対象は潮流発電で風力発電の起動を行うため、スタンドアロンでの発電が可能である。この特性を活かして漁業との共存を図っている点に最も惹かれた。当発電システム一基で約100世帯の電力を賄えることから、漁業組合で発電システムを保有し、漁村で使用する電力を生産する。余剰電力を発電した場合は電力会社に売電する。発電システムの浮体は舟を係留したりレスキュー拠点として使用したりすることも可能な上、水車は潮流と同スピードでしか回転しないため魚を驚かすことなくむしろ魚礁としての効果も期待できるなど、漁業との共存方法を具体的に考慮している。当発電システムが効率の良い発電だけを目的としているのではなく、町づくりを視野に入れてデザインされている点が新しい。自然エネルギーを用いた発電システムでは、発電能力の向上のみに主眼を置いた取り組みが多いが、発電以外の活用方法までを視野に入れ社会への浸透を模索している当浮体式潮流・風力ハイブリッド発電SKWIDのデザインは、今後の自然エネルギーを用いた発電システムの開発を成功に導くヒントを満載した取り組みであると高く評価した。



13G070693

電波望遠鏡【アルマ望遠鏡モリタアレイ】

自然科学研究機構国立天文台（東京都）

概要：アルマ望遠鏡は、日本を含む20の国と地域が共同で開発・運用する革新的な電波望遠鏡である。パラボラアンテナ66台を南米チリの標高5000m地帯に並べ、山手線と同規模の電波望遠鏡として機能する。その中で日本が開発したモリタアレイは、超高精度パラボラアンテナ16台、超伝導受信機と専用高速計算機からなり、史上最高画質の電波天体写真の撮影を可能にし、銀河や惑星の誕生などの宇宙の謎に迫る。高地の砂漠という過酷な環境で100億光年もの彼方からやってくる微弱な電波を検出するため、高い天体追尾性能と鏡面精度を追求したアンテナ、極限まで高効率化した受信機、そして世界最高レベルの演算性能を持つ計算機を開発した。

評価：20の国と地域が共同で開発・運用する電波望遠鏡として、人類史上最高レベルの観測能力を可能にした。標高5000mという過酷な高地において、100億光年もの彼方からやってくる微弱な電波を検出するという課題に、天体追尾性を可能にする鏡面精度を持つアンテナ、高効率化された受信機、高い演算性能をもつ計算機を統合し、全ての開発において、厳しい精度を追求し実現させている。開発にあたっては、日本の研究者、メーカーらの技術の粋を集集し、日本らしい総合的なデザイン、精度の高いものづくりの力が、世界レベルによる人類の知の探求の営みに大きく貢献することを力強く示している。研究機器の開発、デザインという次元を超えて、地球と宇宙の関係を解き明かすことで「私たちはどこからきて、どこへいくのか」という人類の根源的な問いに挑戦する、人類の文化活動の歴史に刻まれるべき、価値の高い開発プロジェクトであると評価する。

2013年度グッドデザイン賞 グッドデザイン金賞



13G090826

住宅【コアハウス - 牡鹿半島のための地域再生最小限住宅 板倉の家-】
アーキエイド半島支援勉強会コアハウスワーキンググループ（宮城県）

概要：漁業を生業とする牡鹿半島の浜では東日本大震災の津波によって大きな被害を受けた。住民との対話から、復興において当初漁業に多くの資金を要する事から、最初は小さく建てて徐々に増築するコアハウスを開発し提案した。設計では伝統的な漁師住宅の間取りを踏襲し、外から入れる浴室、魚を直接運べる勝手口、冬でも洗濯物を干せるサンルーム、縁側、土庇空間など、漁村の暮らしを取り入れることに留意した。2012年8月の住民意向調査時に計画を発表し、その後建設協力のための募金や協賛を募り、12月モデルハウスが石巻市桃浦に竣工した。現在は現地見学会、地域工務店との勉強会を継続し、高台移転完成後の建設に向け協議を進めている。

評価：東日本大震災から2年以上が経過した現在では、震災からの復興は、仮設住宅から本格的な住宅の建設へ移行する段階に差し掛かっている。しかしながら、震災があまりにも甚大で広い範囲に広がっているため、本格的な復興住宅の建設は始まったばかりである。そのなかでいち早く建設されたのが牡鹿半島の漁村、桃浦に復興住宅のモデルハウスとして建設された「コアハウス」である。この計画と設計を担ったのは、主に大学関係の建築家によって構成されるネットワーク組織「アーキエイド」である。まず伝統的な漁師住宅の研究から始め、必要最小限の間取りを「コアハウス」として建設し、それを徐々に拡大していくという時系列の計画を行っている。建設の容易な木構法を採用し、シェルターには十分な性能を持たせている。建設には地域の工務店の協力を得ながらボランティアが参加し、建設費は募金と協賛によって賄われた。行政が担うべき復興住宅の建設を、いち早く建築家が先導した点において、社会的な意義はきわめて高いといえるだろう。



13G100916

幼稚園【あさひ幼稚園】

株式会社手塚建築研究所（東京都）

概要：東日本大震災の津波で立ち枯れした巨大な杉並木を使って建設した幼稚園である。再利用というトリサイクルと結び付けられがちだがもっと遥かに大きな意味を含んでいる。南三陸の人々は海と共に生きてきており津波との縁を切ることとはできない。建築で津波を防ぐことはできないが建築は言い伝えを残すことができる。この幼稚園は2尺角の柱から床板手すりに至るまで南三陸の津波の歴史と共に生きた杉でできている。元々材木ではないので板の幅も不揃いでキツツキの巢もそのまま残っているが全て南三陸の歴史である。想定寿命は長い。次の津波が来るであろう400年後まで生きながらえ語り部として津波の記憶を子孫に伝えて貰いたいと願っている。

評価：東日本大震災の津波を被って立ち枯れした杉木立が、幼稚園へと姿を変えて蘇った計画である。樹が様々なかたち加工され、それらが積み重なるようにして生まれた空間は素朴で力強い。その一つ一つの部材は、杉木立を愛していた地域の人たちひとりひとりの想いを象徴するようでもあり、心打たれる。建築の価値は、できあがった空間の善し悪しだけではなく、むしろその背後に脈々と流れる壮大な物語にこそあるということ、を、改めて思い知らされる。



13G131079

次世代産業用ロボット【NEXTAGE（ネクステージ）】

川田工業株式会社（東京都）

概要：NEXTAGEは、ヒトと共存する環境で作業することを目標にデザインされた次世代の汎用のヒト型ロボットです。全15の可動軸を80W以下の省出力にしているため、ヒトが近くにいるような環境でも適切なリスクアセスメントにより作業が可能です。頭部と手先に備えたカメラを利用して周囲の環境や作業対象の位置決めをしながら作業することにより、変種変量生産で課題となる工程の変更や工程間の移動などに柔軟に対応することができます。NEXTAGEの導入により、ヒトは単純な繰り返し作業から解放され、より高度な作業だけでなく工程管理やカイゼン活動など付加価値を生み出す創造力の必要な分野に力を注げるようになります。

評価：製造現場に導入されているロボットといえば、流れ作業のライン上に配置されたロボットアームが主流だが、NEXTAGEは流れ作業ではなくセル方式の生産現場に適応するために考案された新しいコンセプトのロボットだ。NEXTAGEは人間を模した上半身の構造を備え、本来、人間が立って作業をするセルの中に設置される。ヒューマノイドロボットのデザインにおいては、「それがなぜヒト型である必要があるのか」という部分が常に問われるが、NEXTAGEにおいてはその理由が非常に明快である。セルのサイズや部品配置などは人間の体の寸法に合わせて作られているから、それに適応するためにはヒト型の形状が都合がよいのだ。NEXTAGEは、変種変量生産における効率化という製造業が避けることのできない課題を、ヒト型ロボットというアプローチで解決している。



13G141115

医療用3D臓器シミュレーター【心臓シミュレーター・プロジェクト】

株式会社クロスエフェクト（京都府）

概要：CTデータを用いた、医療・教育機関向け3D精密臓器モデル群。教育訓練用スタンダードモデルと冠動脈吻合トレーニング用の拍動型心臓シミュレーター及び患者個体ごとのオーダーメイド心臓シミュレーター。心臓内腔の再現性は世界トップクラスのクオリティを誇る。外科手術の現場では、短時間に手術を完了する必要があり、難易度の高さと相まって熟練執刀医に施術が集中する傾向にあります。よって精度の高い心臓シミュレーターの開発は、若手人材育成の面からも求められつつあり、より再現性の高いモデルで模擬手術を繰り返す事で若手医師により多くの成長の場を提供出来ると考えています。

評価：CTスキャンのデータから1週間で精緻な複製モデルを仕上げ、外科手術のシミュレーションを可能にする医療向けサービス。心臓内腔の再現性が高く、一人ひとりの臓器の大きさや形状を正確に把握できる。また鼓動を再現する「拍動型心臓シミュレーター」と連動させることで、本物の心臓が縮んだり膨らんだりする動きが再現されるため、模擬手術に用いるなど新しい外科手術のトレーニング手法として活用が期待される。医療というやり直しが効かない領域での、貴重なイノベーションである。

2013年度グッドデザイン賞 グッドデザイン金賞



13G141148

新興国向け小型浄水装置 [ヤマハクリーンウォーターシステム]
ヤマハ発動機株式会社 (静岡県)

概要：飲用水不足に悩む新興国の人々への、緩速ろ過という自然界の水浄化機能をベースに現代に適合させた浄水システム。1日8千ℓのWHO基準をみたす浄水が可能。水の移動に重力を利用することで電力消費は低く抑え(4kWh/日)、従来の浄水設備では必須のフィルター交換や専門技術者によるメンテナンスを無くし、新興国の住民自ら運営ができるシンプルな構造と、清潔感や信頼感を感じてもらえるような色使いとした。きれいに浄水された水が人々の衛生概念を向上させ、下痢や発熱など病気が大幅に減少。水汲み労働から解放され生産・学習活動へ転換、水配達や洗浄・製氷などの新ビジネスによる村落開発など、暮らしに様々な変化が起こっている。

評価：生活に欠かすことのできない「安全な水」を新興国において確保する取り組みであり、日本企業の国際貢献活動の模範として高く評価した。特に評価できたことは、電力を極力使わず重力を利用した原理的な濾過システムであり、現地の人によるメンテナンスを可能としている点は、新興国の事情を理解したシステムデザインとして秀逸である。また衛生面の維持に貢献しながらも、女性や子どもたちを労働から解放する点などは、技術先進国の生活的価値を提供する支援であり、日本のデザインの未来を示す取り組みである。



13G141163

図書館 [武雄市図書館・歴史資料館]

武雄市 (佐賀県) +カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 (東京都)

概要：武雄市図書館は、「図書館を中心とした市民生活の提案」という市民の新たなライフスタイルをデザインする「新・図書館構想」を実現した。資料収蔵や図書貸出の場といった従来の図書館像にしばられず、図書館、書店、カフェが一体的に融合することで、コーヒーを味わいながら館内の本を自由に読め、勉強も仕事も会話もできるなど、様々なライフスタイル・ステージの市民にとって居心地の良い場と新たなコミュニティを創出している。また、それらは、従来の行政主導や民間企業お任せではなく、官と民が本質的に連携し、企画段階から本の搬出・搬入などの開館準備、市民への説明、オープン後の現在に至るまでのプロセスを共有することで実現した。

評価：公共サービスは所詮このレベルである、という常識をひっくり返す事例が生まれた。それが佐賀県武雄市とカルチュア・コンビニエンス・クラブの連携で実現した「武雄市図書館」である。図書館という伝統的で保守的な領域において、本の面白さを伝えるという原点に立ち返り、探しやすさ、読む楽しさ、利用しやすさを官民連携で徹底的に追及している。その結果、2013年4月1日のリニューアルオープン以来、来館者数は前年比4倍増、図書貸出冊数も倍増という成果をあげている。本離れが進んでいる現代において、地域の文化度を高める大切な役割を担っており、公共と民間の連携に大きな可能性を感じさせる。

特賞受賞byEntryId::特別賞決定	award no	対象名	形式	受賞代表者	事業プロデューサー	デザインディレクター	デザイナー
グッドデザイン金賞	13G010045	防災用折り畳み式ヘルメット	№100▲ブルーム	東洋物産工業株式会社▲代表取締役 ▲磯野暁男	東洋物産工業株式会社	東洋物産工業株式会社	株式会社ランドマック
グッドデザイン金賞	13G010096	松葉杖	ドライカーボン松葉杖	株式会社メディカルチャープラス▲山 崎晴太郎	杉原行里(株式会社アールディエス)	山崎晴太郎(株式会社セイトロウデザ イン)	杉原行里(株式会社アールディエス)
グッドデザイン金賞	13G010139	サイレントプラス	サイレントプラス▲SB7X/SB5X/SB3X	ヤマハ株式会社▲代表取締役社長▲ 中田卓也	ヤマハ株式会社▲アコースティック開 発統括部▲管教育楽器開発部▲HMI 開発G▲小野澤直行	ヤマハ株式会社▲デザイン研究所▲ 川田▲学、勝又良宏	ヤマハ株式会社▲デザイン研究所▲ 辰巳恵三
グッドデザイン金賞	13G020264	化粧品	P.G.C.D.▲ロシオン▲エクラ	株式会社ペー・ジェー・サー・デー・ジャ パン▲代表取締役社長▲野田泰平	株式会社ペー・ジェー・サー・デー・ジャ パン▲代表取締役社長▲野田泰平	株式会社佐藤卓デザイン事務所▲佐 藤▲卓	株式会社佐藤卓デザイン事務所▲佐 藤▲卓、日下部昌子、鈴木文女
グッドデザイン金賞	13G040324	照明器具	陰翳▲IN-EI▲ISSEY▲MIYAKE	株式会社▲三宅デザイン事務所▲代 表取締役会長▲三宅一生		三宅一生	三宅一生+リアリティ▲ラボ
グッドデザイン金賞	13G040327	椅子	HIROSHIMA▲フォールディングチェ ア	株式会社マルニ木工▲代表取締役社 長▲山中▲武			有限会社ナオト▲フカサワ▲デザイン ▲深澤▲直人
グッドデザイン金賞	13G050448	フルサイズイメージセンサー搭載カメラ 群	デジタルスチルカメラ▲DSC-RX1★レ ンズ交換式デジタルカメラ▲α99、レ ンズ交換式デジタルHDビデオカメラレ コーダー▲NEX-VG900	ソニー株式会社▲社長▲兼▲CEO▲ 平井一夫	ソニー株式会社▲DI事業本部	ソニー株式会社▲UX・商品戦略・クリ エイティブプラットフォーム▲クリエ イティブセンター★新津塚也、山田良憲	ソニー株式会社▲UX・商品戦略・クリ エイティブプラットフォーム▲クリエ イティブセンター★高木紀明、小幡伸 一、中村貴俊
グッドデザイン金賞	13G050554	OLED▲Smart▲Television	UN55S9C	Samsung▲Electronics▲Co.,Ltd., Vice▲chairman▲&▲CEO▲Oh- hyun▲Kwon	Gye-wook▲Jo,▲Manager,▲TV▲ Product▲Planning▲Part,▲ Samsung▲Electronics▲Co.,Ltd.	Jun-ho▲Yang,▲Vice▲President,▲ VD▲Design▲Group,▲Samsung▲ Electronics▲Co.,Ltd.	Sung-il▲Bang,▲Senior▲Designer, ▲Hae-sung▲Park,▲Designer,▲ VD▲Design▲Group,★Samsung▲ Electronics▲Co.,Ltd
グッドデザイン金賞	13G060586	超小型2人乗り電気自動車	TOYOTA▲I-ROAD	トヨタ自動車株式会社▲専務役員▲デ ザイン本部長▲福市得雄	トヨタ自動車株式会社	トヨタ自動車株式会社▲専務役員▲デ ザイン本部長▲福市得雄	トヨタ自動車株式会社▲デザイン本部 ▲グローバルデザイン企画部
グッドデザイン金賞	13G060587	軽自動車	ダイハツ▲タント	ダイハツ工業株式会社▲代表取締役 社長▲三井正則	ダイハツ工業株式会社▲技術本部▲ 製品企画部▲E・C・E▲片山英則	ダイハツ工業株式会社▲技術本部▲ デザイン部▲部長▲阪口庸介	ダイハツ工業株式会社▲技術本部▲ デザイン部
グッドデザイン金賞	13G060600	鉄道車両用台車	efWING	川崎重工工業株式会社▲西村武宏	川崎重工工業株式会社	川崎重工工業株式会社▲車両カンパ ニー技術本部台車設計部▲西村武宏	車両カンパニー台車設計部台車設計 課▲楠▲武宜、中尾俊一、安藤慎太 郎、奥村泰史、白崎▲潤、森口栄志、 鴻池▲梢★デザイン課▲濱田秀之★ 知的財産部▲井上忠之★株式会社ケ イテック▲企画営業部▲天辰祐介
グッドデザイン金賞	13G060604	ロケット	イプシロン	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 ▲理事長▲奥村直樹	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 ▲宇宙輸送ミッション本部▲イプシロン ロケットプロジェクトチームプロジェクト マネージャ★兼▲宇宙科学研究所▲ 宇宙飛翔工学研究系▲教授★森田泰 弘	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 ▲宇宙輸送ミッション本部▲イプシロン ロケットプロジェクトチーム▲サブマ ネージャ★井元隆行	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 ▲宇宙科学研究所▲宇宙飛翔工学研 究系▲助教★羽生宏人
グッドデザイン金賞	13G070691	浮体式潮流・風力ハイブリッド発電	SKWID(スクイッド)	三井海洋開発株式会社▲代表取締役 社長▲宮崎俊郎	三井海洋開発株式会社▲事業開発部 長▲中村拓樹	三井海洋開発株式会社▲川瀬雅樹、 藤本浩嗣、水向健太郎、川副史隆	三井海洋開発株式会社★中村拓樹、 湯沢典弘、井迫雄次郎、岡安▲優、陶 山由利子、和田真理子
グッドデザイン金賞	13G070693	電波望遠鏡	アルマ望遠鏡モリタアレイ	自然科学研究機構国立天文台▲台長 ▲林▲正彦	自然科学研究機構国立天文台	自然科学研究機構国立天文台	自然科学研究機構国立天文台
グッドデザイン金賞	13G090826	住宅	コアハウスー杜鹿半島のための地域 再生最小限住宅▲板倉の家ー	アーキエイド半島支援勉強会コアハウ スワーキンググループ★一般社団法 人アーキエイド	一般社団法人アーキエイド	一般社団法人アーキエイド	アーキエイド半島支援勉強会コアハウ スワーキンググループ
グッドデザイン金賞	13G100916	幼稚園	あさひ幼稚園	株式会社手塚建築研究所▲代表取締 役▲手塚貴晴、手塚由比★株式会社 TIS&PARTNERS/東京電機大学▲今 川憲英	株式会社手塚建築研究所▲手塚貴 晴、手塚由比★株式会社 TIS&PARTNERS/東京電機大学▲今 川憲英	株式会社手塚建築研究所▲手塚貴 晴、手塚由比★株式会社 TIS&PARTNERS/東京電機大学▲今 川憲英	株式会社手塚建築研究所▲手塚貴 晴、手塚由比★株式会社 TIS&PARTNERS/東京電機大学▲今 川憲英
グッドデザイン金賞	13G131079	次世代産業用ロボット▲NEXTAGE(ネ クステージ)		川田工業株式会社▲代表取締役社長 ▲川田忠裕	川田工業株式会社▲ロボティクス事業 部	川田工業株式会社▲ロボティクス事業 部	園山隆輔(T-D-F)
グッドデザイン金賞	13G141115	医療用3D臓器シミュレーター	心臓シミュレーター・プロジェクト	株式会社クロスエフェクト▲代表取締 役▲竹田正俊	株式会社クロスエフェクト▲代表取締 役▲竹田正俊	株式会社クロスエフェクト▲専務取締 役▲畑中克宣	株式会社クロスエフェクト▲デザイン チームリーダー▲亀川和義
グッドデザイン金賞	13G141148	新興国向け小型浄水装置	ヤマハクリーンウォーターシステム	ヤマハ発動機株式会社▲代表取締役 社長▲柳▲弘之	ヤマハ発動機株式会社	ヤマハ発動機▲海外市場開拓事業部 ▲山際▲智	ヤマハ発動機▲デザイン本部
グッドデザイン金賞	13G141163	図書館	武雄市図書館・歴史資料館	武雄市▲武雄市長▲樋渡啓祐★カル チュア・コンビニエンス・クラブ株式会 社▲代表取締役社長▲増田宗昭	武雄市+カルチュア・コンビニエンス・ クラブ株式会社	武雄市教育委員会+カルチュア・コン ビニエンス・クラブ株式会社▲図書館 カンパニー	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式 会社▲CCCデザイン
グッドデザイン・未来づくりデザイン賞	13G040347	ヒュー		株式会社フィリップス▲エレクトロニク ス▲ジャパン★代表取締役社長▲ダ ニー▲リスバーク	Filip▲jan▲Depauw	Dr.▲Frank▲C▲Penning	Filip▲jan▲Depauw
グッドデザイン・未来づくりデザイン賞	13G070655	X線自由電子レーザー	SACLA	理化学研究所▲放射光科学総合研究 センター▲センター長▲石川哲也	理化学研究所▲放射光科学総合研究 センター	理化学研究所▲放射光科学総合研究 センター	理化学研究所▲放射光科学総合研究 センター
グッドデザイン・未来づくりデザイン賞	13G090827	佐世保の実験住宅	ハウステンボススマートハウス	東京大学▲生産技術研究所▲野城研 究室▲教授▲野城智也★東京大学▲ 生産技術研究所▲川添研究室▲専任 講師▲川添善行★東京大学▲生産技 術研究所▲馬郡研究室▲特任講師▲ 馬郡文平★ハウステンボス・技術セン ター株式会社▲代表取締役▲松尾▲ 貴★吉田重機工業株式会社▲取締役 ▲上田隆造	ハウステンボス株式会社▲野城智也 (東京大学生産技術研究所教授)	川添善行(東京大学生産技術研究所 講師)、馬郡文平(東京大学生産技術 研究所特任講師)	原▲裕介、吉武▲舞、田中雅之、石川 典貴、廣見秀行、廣澤秀真、松繁宏 樹、渡邊攝子(東京大学川添研究 室)、生部雄一郎(ハウステンボス・技 術センター株式会社)

グッドデザイン・未来づくりデザイン賞	13G100911	木質構造	FWS	ミサワホーム株式会社★株式会社ミサワホーム総合研究所	ミサワホーム株式会社★株式会社ミサワホーム総合研究所	株式会社ミサワホーム総合研究所	ミサワホーム株式会社▲FWSプロジェクト
グッドデザイン・未来づくりデザイン賞	13G110951	ジャンクション	大橋ジャンクション	首都高速道路株式会社▲代表取締役社長▲菅原秀夫★東京都▲都知事▲猪瀬直樹★目黒区▲区長▲青木英二	首都高速道路株式会社▲東京建設局長▲遠山雄一+東京都▲都市整備局▲市街地整備部長▲鈴木昭利★+目黒区▲都市整備部長▲島崎忠宏、街づくり推進部長▲幡野▲豊		
グッドデザイン・未来づくりデザイン賞	13G110969	持続可能なライフスタイルデザイン手法	90歳ヒアリングを生かした街づくり:90歳ヒアリングについて	NPOサステナブルソリューションズ▲理事▲佐藤▲哲	東北大学大学院環境科学研究科▲教授▲石田秀輝/准教授▲古川柳蔵	NPOサステナブルソリューションズ▲佐藤▲哲	NPOサステナブルソリューションズ▲佐藤▲哲、岡田宏一、岸上祐子+lotus project▲江種麻乃子、大友▲菜
グッドデザイン・未来づくりデザイン賞	13G120990	ウェブサイト	Perfume▲"Global▲Site▲Project"	株式会社ライノマティクス▲取締役▲真鍋大度★株式会社アミューズ★ユニバーサルミュージック合同会社	真鍋大度 (Rhizomatiks)	MIKIKO (elevenplay)	堀井哲史 (Rhizomatiks)、木村浩康 (Rhizomatiks)
グッドデザイン・未来づくりデザイン賞	13G131078	リマーケティングビジネス	モノ:ファクトリー	株式会社ナカダイ▲代表取締役▲中台正四	株式会社ナカダイ▲取締役▲モリタ▲クトリー▲代表▲ビジネスアーティスト▲中台澄之	株式会社アクシス▲デザインディレクター▲渡辺一人/プランニングディレクター▲岡村祐介★株式会社ナカダイ▲リマーケティング課▲福崎幸乃、河西桃子	株式会社アクシス▲コピーライター▲稲本善則/システムエンジニア▲重信和広★デザイナー▲駒崎智紀、神田雄介、藤江尚美、吉田栄治、目黒大輔、皆川雄一、★フォトグラファー▲谷津田良之

平成 25 年 11 月 7 日

2013 年度グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）20 点が決定しました！

経済産業省では、「クールジャパン」として人気が高い我が国のクリエイティブ産業の海外展開を目指しています。

グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）は、デザインに関する日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度であり、今回で 57 回目を迎えました。

この度、2013 年度のグッドデザイン賞の中から、時代的課題をより高度に解決した質の高いデザインを表彰する「グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）」20 点が決定しました。



1. グッドデザイン賞の概要

グッドデザイン賞は、1957 年創設の我が国産業における優れたデザイン製品を選定し、これを評価・推奨する制度です。我が国産業におけるデザインに対する意識を高め、国際競争力向上に大きく寄与してきました。今年のグッドデザイン賞は、50 年以上の歴史を踏まえ、生活価値と社会・文化的価値の創造という見地から審査を行うことによって、豊かさと持続可能性に満ちた生活、産業、社会の実現を目指しております。

2. 2013 年度グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）

	受賞対象	受賞者	受賞デザイナー
1.	No.100 ブルーム [防災用折り畳み式ヘルメット]	東洋物産工業株式会社 (兵庫県)	-
2.	ドライカーボン松葉杖 [松葉杖]	株式会社メディカルチャー ープラス (東京都)	株式会社アールディエス 杉原行里
3.	サイレントブラス SB7X / SB5X / SB3X [金管楽器用消音機]	ヤマハ株式会社 (静岡県)	ヤマハ株式会社 デザイン研究所 辰巳恵三
4.	P. G. C. D. ロシオン エ クラ [化粧品]	株式会社ペー・ジェー・セ ー・デー・ジャパン (東京都)	株式会社佐藤卓デザイン事務所 佐藤 卓、日下部昌子、鈴木文女
5.	陰翳(いんえい) IN-EI ISSEY MIYAKE [照明器具]	株式会社三宅デザイン事 務所 (東京都)	三宅一生、 リアリティ ラボ

6.	HIROSHIMA フォールディングチェア [椅子]	株式会社マルニ木工 (広島県)	有限会社ナオト フカサワ デザイン 深澤 直人
7.	デジタルスチルカメラ DSC-RX1、 レンズ交換式デジタル カメラ α99、 レンズ交換式デジタル HD ビデオカメラレコーダー EX-VG900 [フルサイズイメージ センサー搭載カメラ 群]	ソニー株式会社 (東京都)	ソニー株式会社 UX・商品戦略・クリエイティブ プラットフォーム クリエイ ティブセンター 高木紀明、小幡伸一、中村貴俊
8.	UN55S9C [テレビ]	Samsung Electronics Co., Ltd. (Korea)	Sung-il Bang Senior Designer, Hae-sung Park Designer, VD Design Group, Samsung Electronics Co., Ltd.
9.	TOYOTA i-ROAD [超小型2人乗り電気 自動車]	トヨタ自動車株式会社 (愛知県)	トヨタ自動車株式会社 デザイン本部 グローバルデザイン企画部
10.	ダイハツ タント [軽自動車]	ダイハツ工業株式会社 (大阪府)	ダイハツ工業株式会社 技術本部、デザイン部
11.	efWING [鉄道車両用台車]	川崎重工業株式会社 (兵庫県)	車両カンパニー台車設計部台車 設計課 楠武宜、中尾俊一、安 藤慎太郎、奥村泰史、白崎潤、 森口栄志、鴻池梢 デザイン課 濱田秀之 知的財産部 井上忠之、 株式会社ケイテック 企画営業部 天辰祐介
12.	イプシロン [ロケット]	独立行政法人宇宙航空研 究開発機構 (東京都)	独立行政法人宇宙航空研究開発 機構 宇宙科学研究所 宇宙飛 翔工学研究系 助教 羽生宏人
13.	SKWID (スクイッド) [浮体式潮流・風力ハ イブリッド発電]	三井海洋開発株式会社 (東京都)	三井海洋開発株式会社 中村拓樹、湯沢典弘、 井迫雄次郎、岡安優、 陶山由利子、和田真理子
14.	アルマ望遠鏡モリタア レイ [電波望遠鏡]	自然科学研究機構国立天 文台 (東京都)	自然科学研究機構国立天文台

15.	コアハウス-牡鹿半島のための地域再生最小限住宅板倉の家- [住宅]	アーキエイド半島支援勉強会コアハウスワーキンググループ (宮城県)	アーキエイド半島支援勉強会 コアハウスワーキンググループ
16.	あさひ幼稚園 [幼稚園]	株式会社手塚建築研究所 (東京都)	株式会社手塚建築研究所 手塚貴晴、手塚由比
17.	NEXTAGE (ネクステージ) [次世代産業用ロボット]	川田工業株式会社 (東京都)	T-D-F 園山隆輔
18.	心臓シミュレーター・プロジェクト [医療用 3D 臓器シミュレーター]	株式会社クロスエフェクト (京都府)	株式会社クロスエフェクト デザインチームリーダー 亀川和義
19.	ヤマハクリーンウォーターシステム [新興国向け小型浄水装置]	ヤマハ発動機株式会社 (静岡県)	ヤマハ発動機 デザイン本部
20.	武雄市図書館・歴史資料館 [図書館]	武雄市(佐賀県)、 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 (東京都)	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 図書館カンパニー

3. 2013 年度のグッドデザイン賞

審査対象件数 : 3, 400 件

受賞件数 : 1, 212 件

※グッドデザイン賞は、グッドデザイン金賞の他、グッドデザイン・未来づくりデザイン賞(経済産業省商務情報政策局長賞)、グッドデザイン・ものづくりデザイン賞(中小企業庁長官賞)などの特別賞がございます。

詳細は別添資料又は下記ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.g-mark.org>

(本発表資料のお問い合わせ先)

商務情報政策局生活文化創造産業課 課長 伊吹

担当者: 諸永、外山

電 話: 03-3501-1511(内線 3651)

03-3501-9259(直通)